

令和元年度
市政全般に関する市民意識調査
集計結果

令和2年5月
安曇野市 政策部 政策経営課

目 次

第1	調査の設計	1
1	アンケート調査の目的	1
2	調査実施概要	1
3	調査内容	1
第2	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	「いきいきと健康に暮らせるまち」について（健康・福祉分野）	6
3	「魅力ある産業を維持・創造するまち」について（観光・農業分野）	27
4	「安全・安心で快適なまち」について（景観・防災・住環境などの分野）	35
5	「学び合い 人と文化を育むまち」について（教育・生涯学習・交流活動などの分野）	45
6	「広報・広聴」について	56
7	「水道水」について	62
8	「自転車活用」について	65
9	「人口減対策」について	67
	巻末資料：調査票	76

第1 調査の設計

1 アンケート調査の目的

本調査は、市民の意見等を把握し、社会情勢の変化や新たなニーズに対応した市政の推進を図ることを目的に実施しました。

2 調査実施概要

(1) 調査対象者

市内在住の18歳以上（令和2年3月1日時点）の市民2,000人（無作為抽出）

(2) 調査方法

郵送調査

(3) 調査期間

令和2年3月24日から同年4月10日まで

(4) 配布数

2,000件

(5) 有効回答者数

817件（回答率40.9%）

3 調査内容

主な調査内容は次のとおりです。

(1) 回答者属性

(2) 「いきいきと健康に暮らせるまち」について（健康・福祉分野）

(3) 「魅力ある産業を維持・創造するまち」について（観光・農業分野）

(4) 「安全・安心で快適なまち」について（景観・防災・住環境などの分野）

(5) 「学び合い 人と文化を育むまち」について（教育・生涯学習・交流活動などの分野）

(6) 「広報・広聴」について

(7) 「水道水」について

(8) 「自転車活用」について

(9) 「人口減対策」について

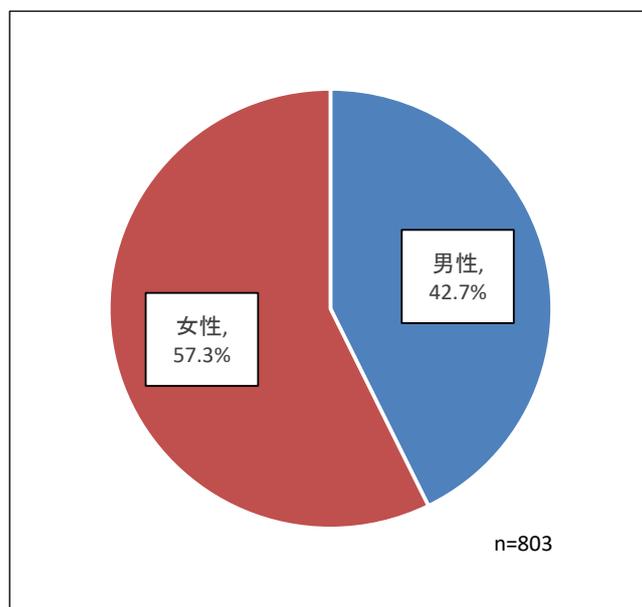
※パーセント数字は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

第2 調査結果

1 回答者属性

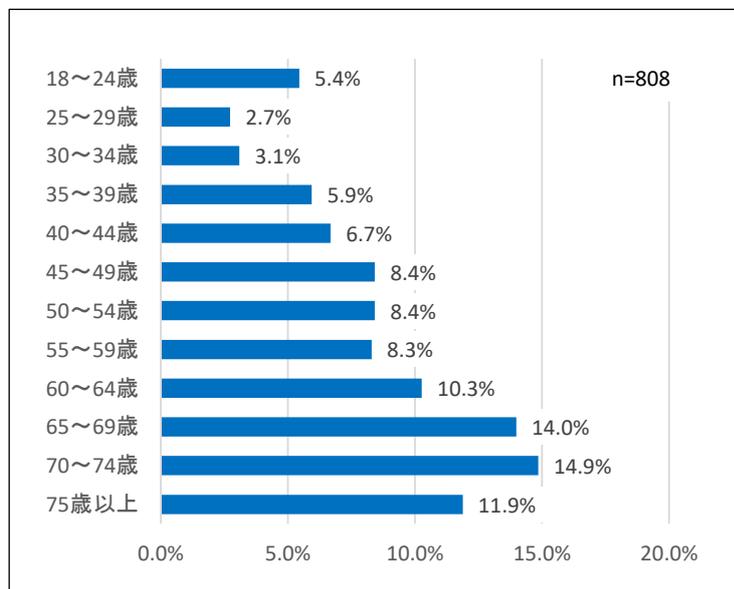
問1-1 あなたの性別をお答えください。

	人数	割合
男性	343	42.7%
女性	460	57.3%
合計	803	100.0%



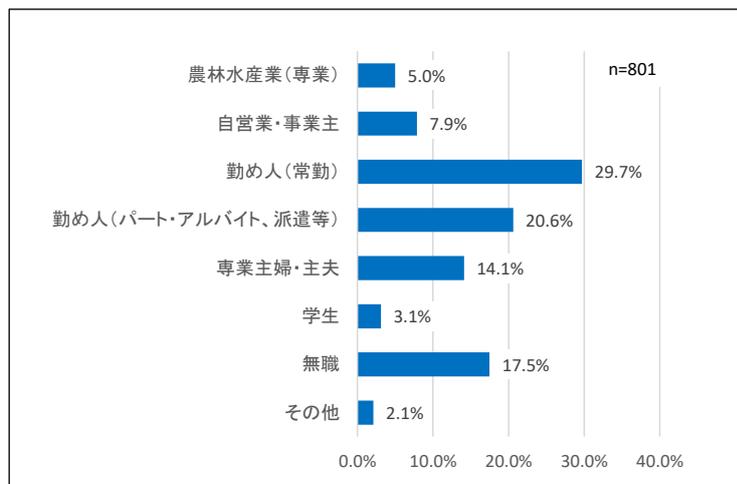
問1-2 あなたの年齢をお答えください。

	人数	割合
18～24歳	44	5.4%
25～29歳	22	2.7%
30～34歳	25	3.1%
35～39歳	48	5.9%
40～44歳	54	6.7%
45～49歳	68	8.4%
50～54歳	68	8.4%
55～59歳	67	8.3%
60～64歳	83	10.3%
65～69歳	113	14.0%
70～74歳	120	14.9%
75歳以上	96	11.9%
合計	808	100.0%



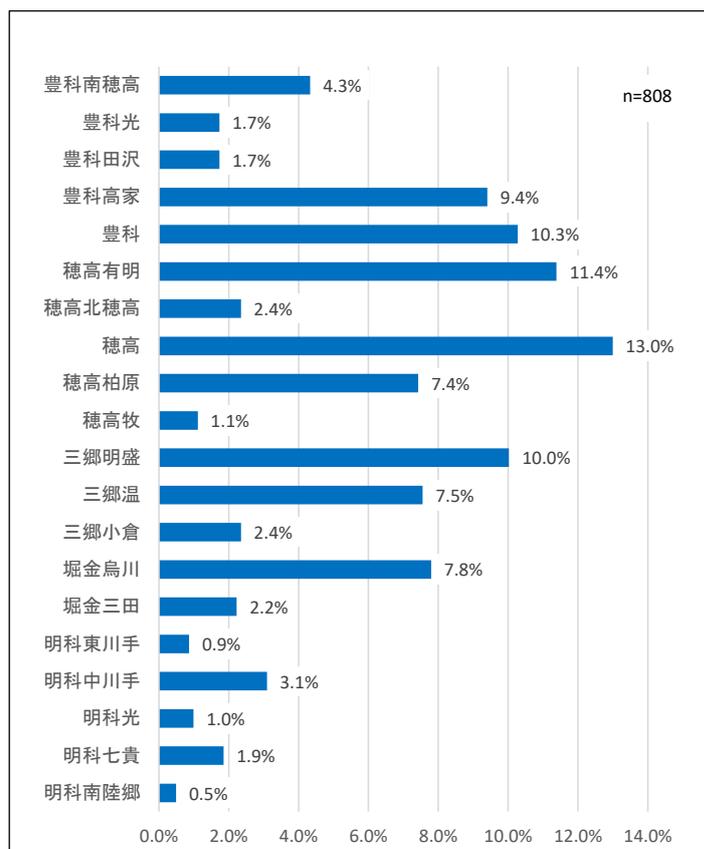
問 1-3 主に従事している職業等をお答えください。

	人数	割合
農林水産業（専業）	40	5.0%
自営業・事業主	63	7.9%
勤め人（常勤）	238	29.7%
勤め人（パート・アルバイト、派遣等）	165	20.6%
専業主婦・主夫	113	14.1%
学生	25	3.1%
無職	140	17.5%
その他	17	2.1%
合計	801	100.0%



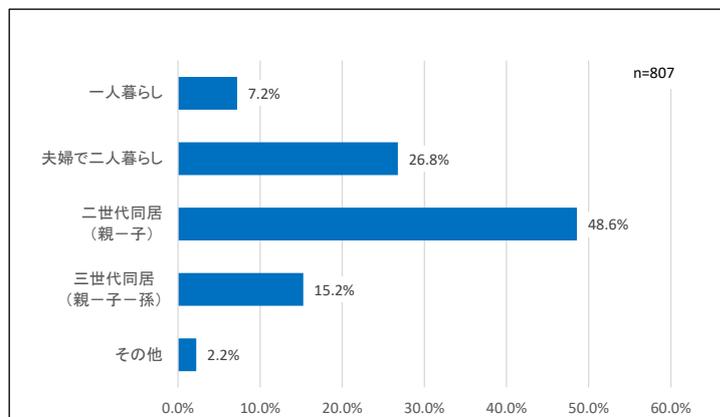
問 1-4 お住まいの地区をお答えください。

	人数	割合
豊科南穂高	35	4.3%
豊科光	14	1.7%
豊科田沢	14	1.7%
豊科高家	76	9.4%
豊科	83	10.3%
穂高有明	92	11.4%
穂高北穂高	19	2.4%
穂高	105	13.0%
穂高柏原	60	7.4%
穂高牧	9	1.1%
三郷明盛	81	10.0%
三郷温	61	7.5%
三郷小倉	19	2.4%
堀金烏川	63	7.8%
堀金三田	18	2.2%
明科東川手	7	0.9%
明科中川手	25	3.1%
明科光	8	1.0%
明科七貴	15	1.9%
明科南陸郷	4	0.5%
合計	808	100.0%



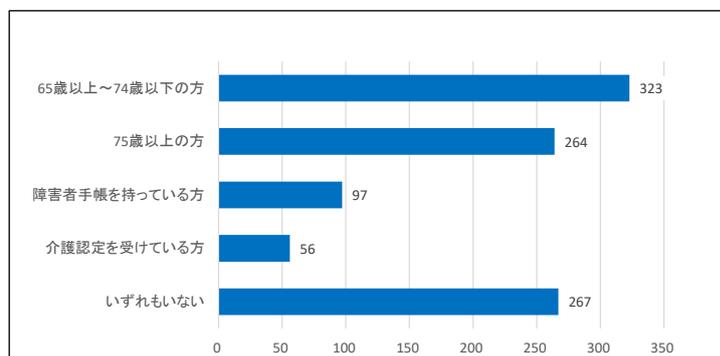
問1-5 世帯の状況をお答えください。

	人数	割合
一人暮らし	58	7.2%
夫婦で二人暮らし	216	26.8%
二世帯同居（親-子）	392	48.6%
三世帯同居（親-子-孫）	123	15.2%
その他	18	2.2%
合計	807	100.0%



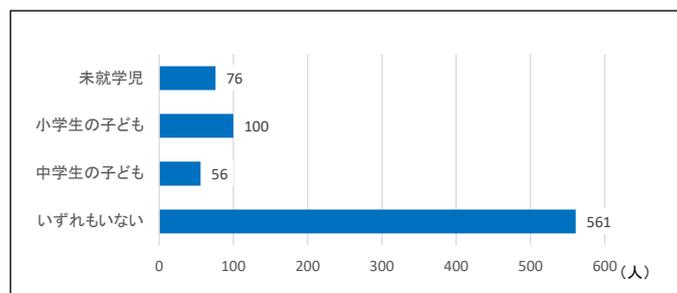
問1-6 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。（複数回答）

	人数
65歳以上～74歳以下の方	323
75歳以上の方	264
障害者手帳を持っている方	97
介護認定を受けている方	56
いずれもない	267



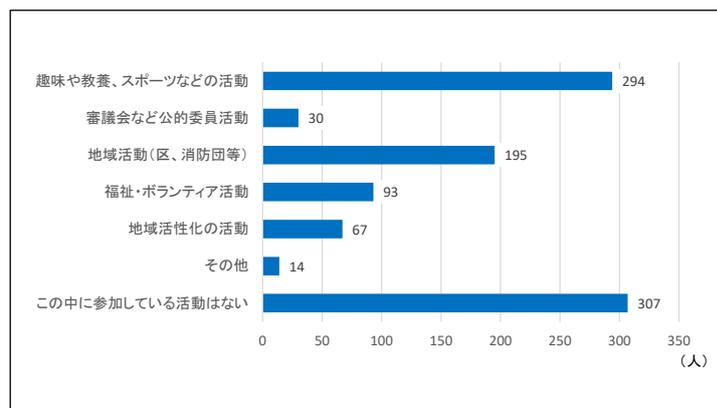
問1-7 令和2年4月1日時点で、同居しているあなたのお子さんに以下の方はおられますか。（複数回答）

	人数
未就学児	76
小学生の子ども	100
中学生の子ども	56
いずれもない	561



問 1－8 あなたは、1年以内に以下の活動へ参加されましたか。(複数回答)

	人数
趣味や教養、スポーツなどの活動	294
審議会など公的委員活動	30
地域活動(区、消防団等)	195
福祉・ボランティア活動	93
地域活性化の活動	67
その他	14
この中に参加している活動はない	307

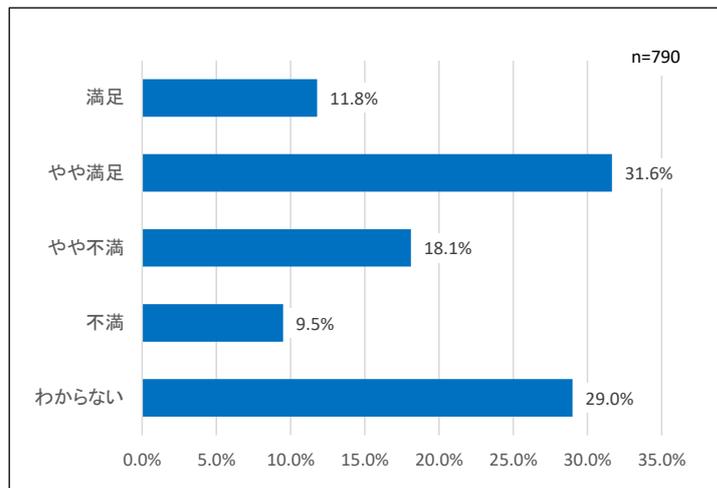


2 「いきいきと健康に暮らせるまち」について（健康・福祉分野）

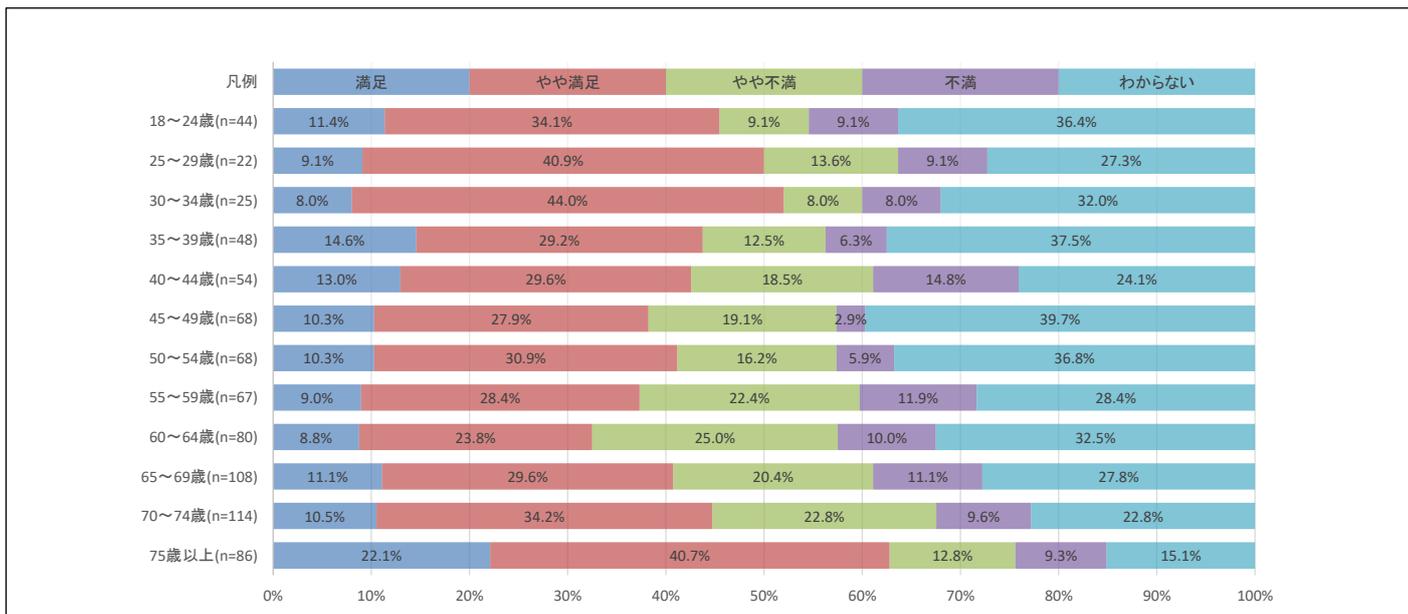
●あなたは、次の市の取組状況について、どのように感じていますか。

設問番号 1 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

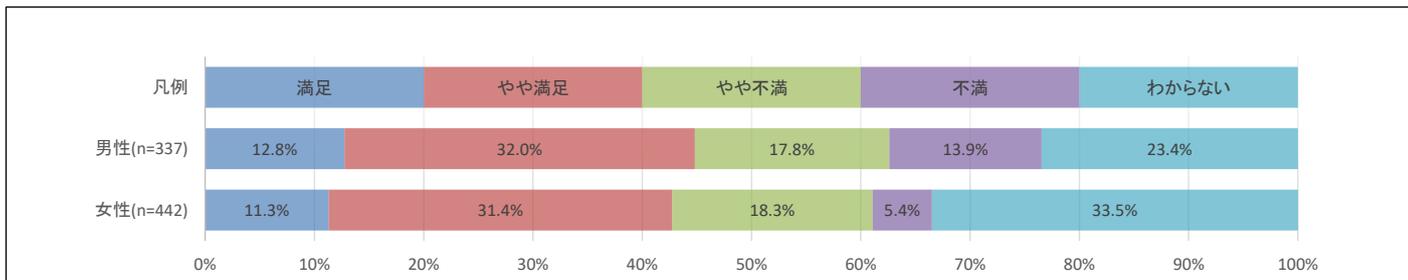
	人数	割合
満足	93	11.8%
やや満足	250	31.6%
やや不満	143	18.1%
不満	75	9.5%
わからない	229	29.0%
合計	790	100.0%



【年代別】

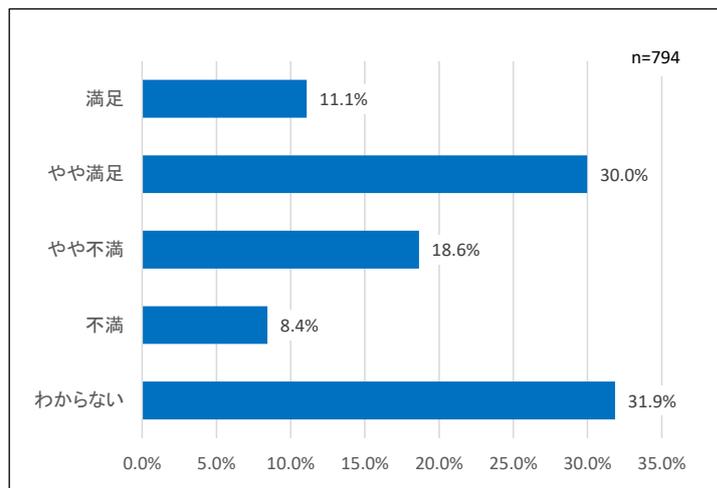


【男女別】



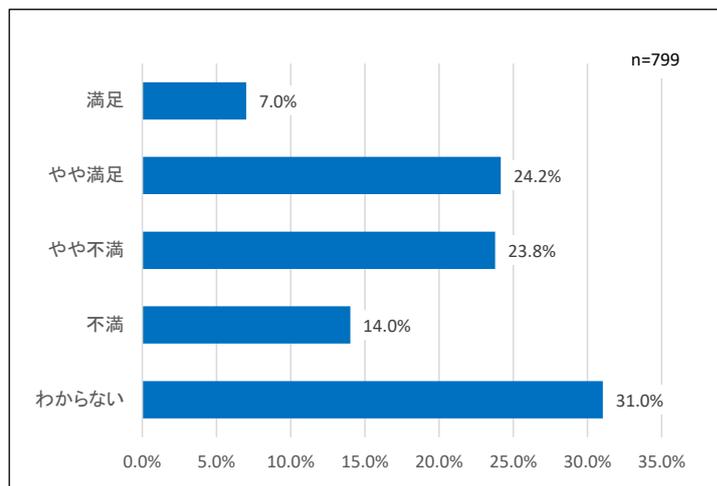
設問番号2 地産地消や家族での食事を推進するなど、食育が行われている

	人数	割合
満足	88	11.1%
やや満足	238	30.0%
やや不満	148	18.6%
不満	67	8.4%
わからない	253	31.9%
合計	794	100.0%

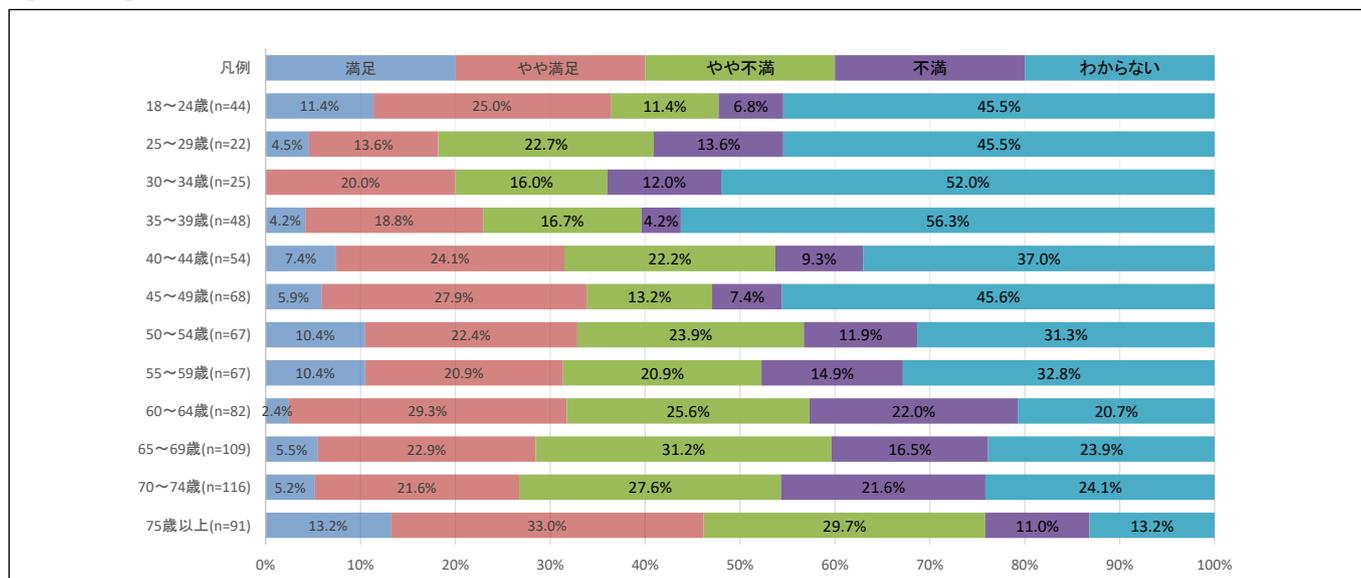


設問番号3 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている

	人数	割合
満足	56	7.0%
やや満足	193	24.2%
やや不満	190	23.8%
不満	112	14.0%
わからない	248	31.0%
合計	799	100.0%

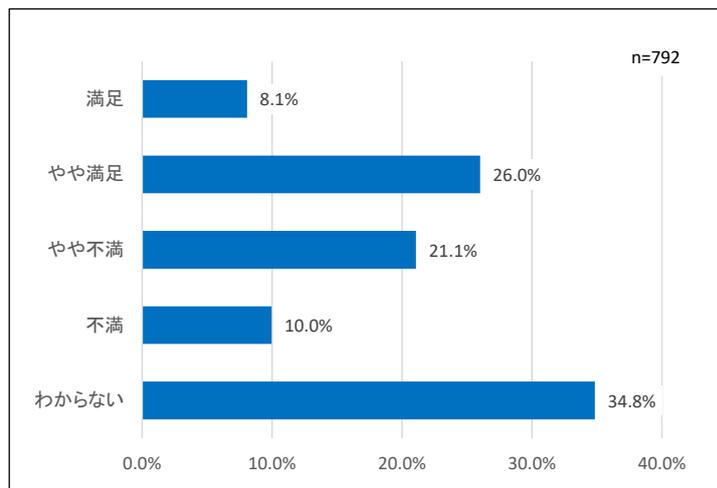


【年代別】



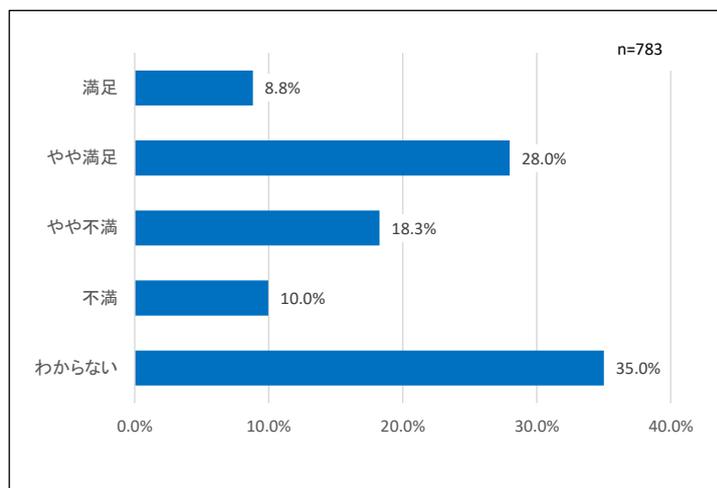
設問番号 4 高齢者が住み慣れた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている

	人数	割合
満足	64	8.1%
やや満足	206	26.0%
やや不満	167	21.1%
不満	79	10.0%
わからない	276	34.8%
合計	792	100.0%

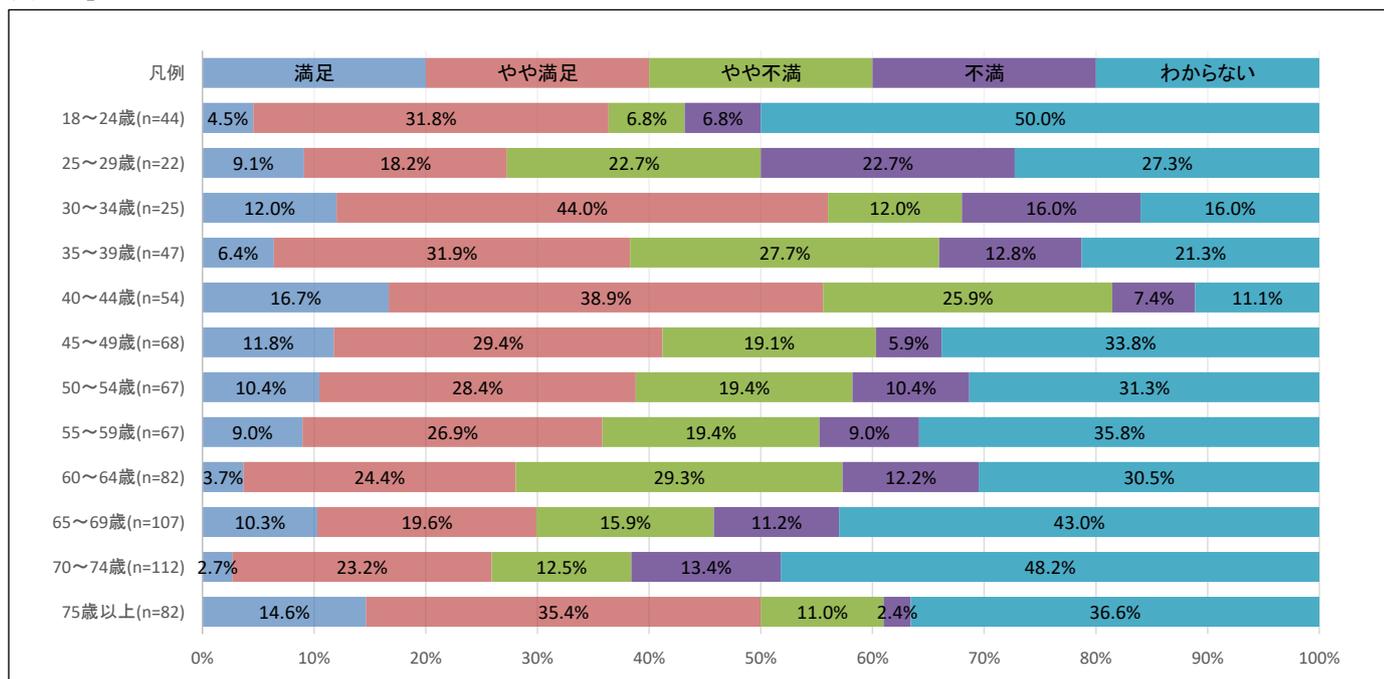


設問番号 5 出産・子育てしやすい地域である

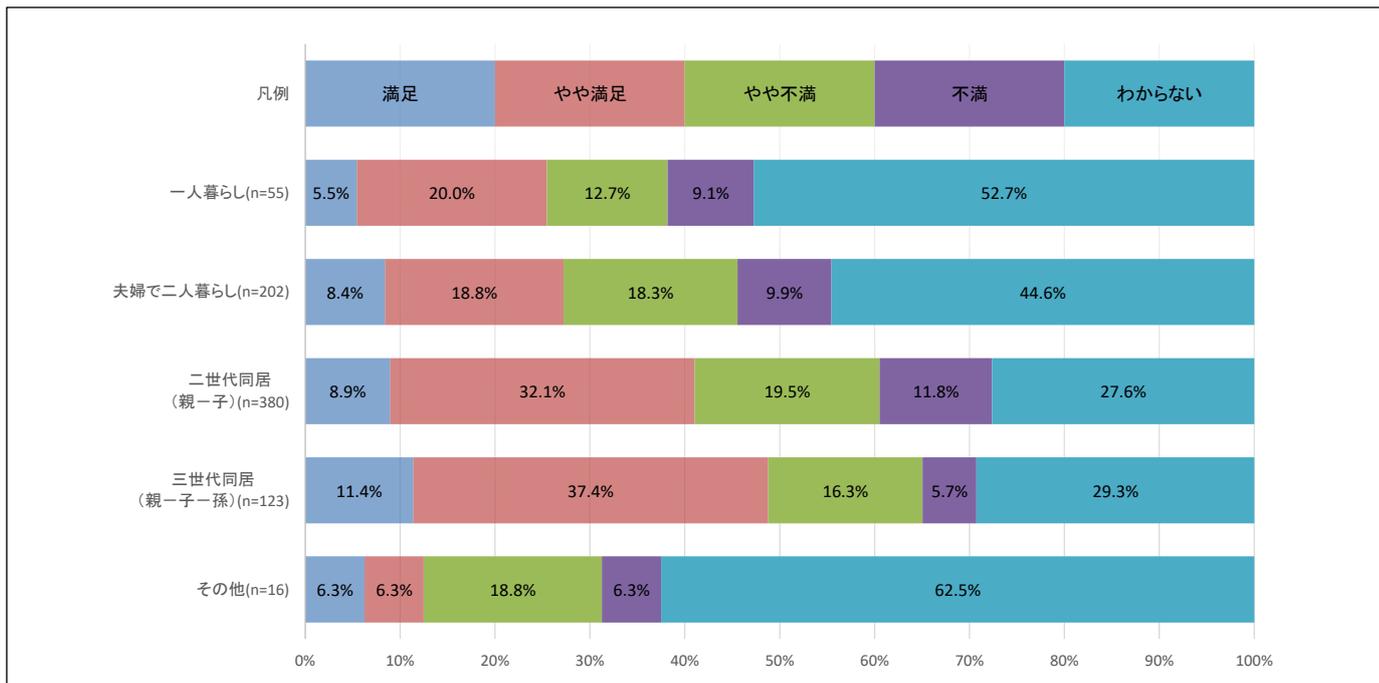
	人数	割合
満足	69	8.8%
やや満足	219	28.0%
やや不満	143	18.3%
不満	78	10.0%
わからない	274	35.0%
合計	783	100.0%



【年代別】



【世帯別】



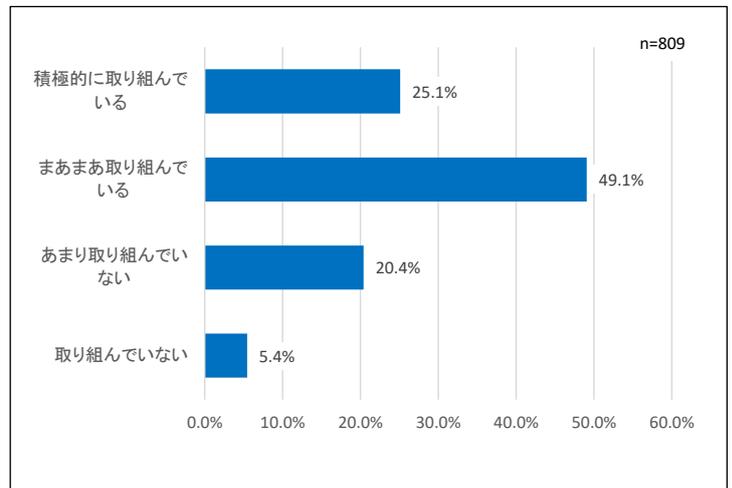
【同居する子どもの状況別】



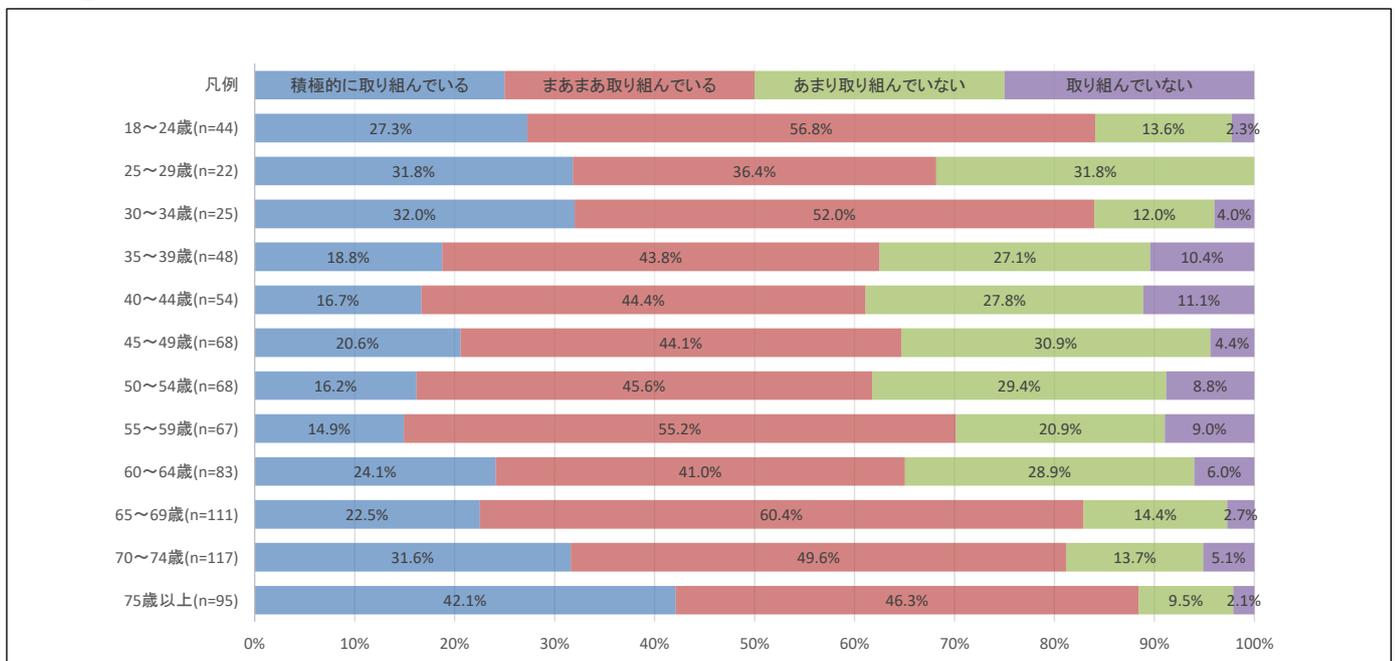
●あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。

設問番号 6 日常的な健康づくりをしている（検診・食事・運動・ストレス解消など）

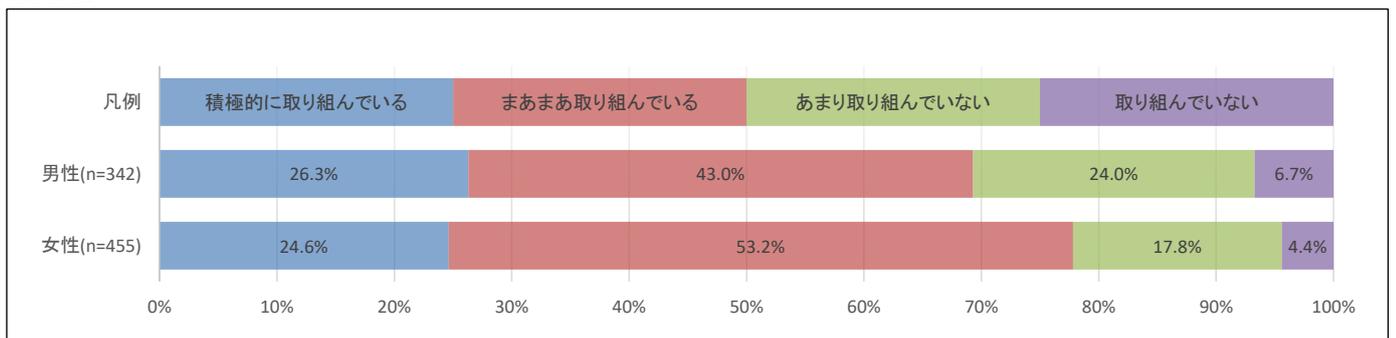
	人数	割合
積極的に取り組んでいる	203	25.1%
まあまあ取り組んでいる	397	49.1%
あまり取り組んでいない	165	20.4%
取り組んでいない	44	5.4%
合計	809	100.0%



【年代別】

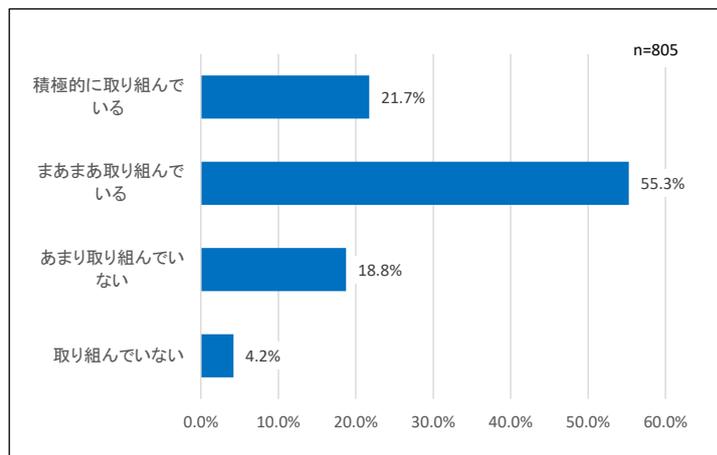


【男女別】



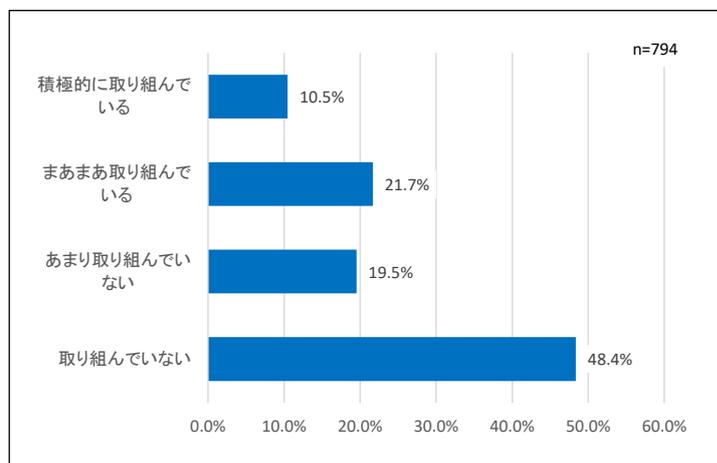
設問番号7 食の大切さを理解し、健全な食を実践したり、地産地消を心がけている

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	175	21.7%
まあまあ取り組んでいる	445	55.3%
あまり取り組んでいない	151	18.8%
取り組んでいない	34	4.2%
合計	805	100.0%

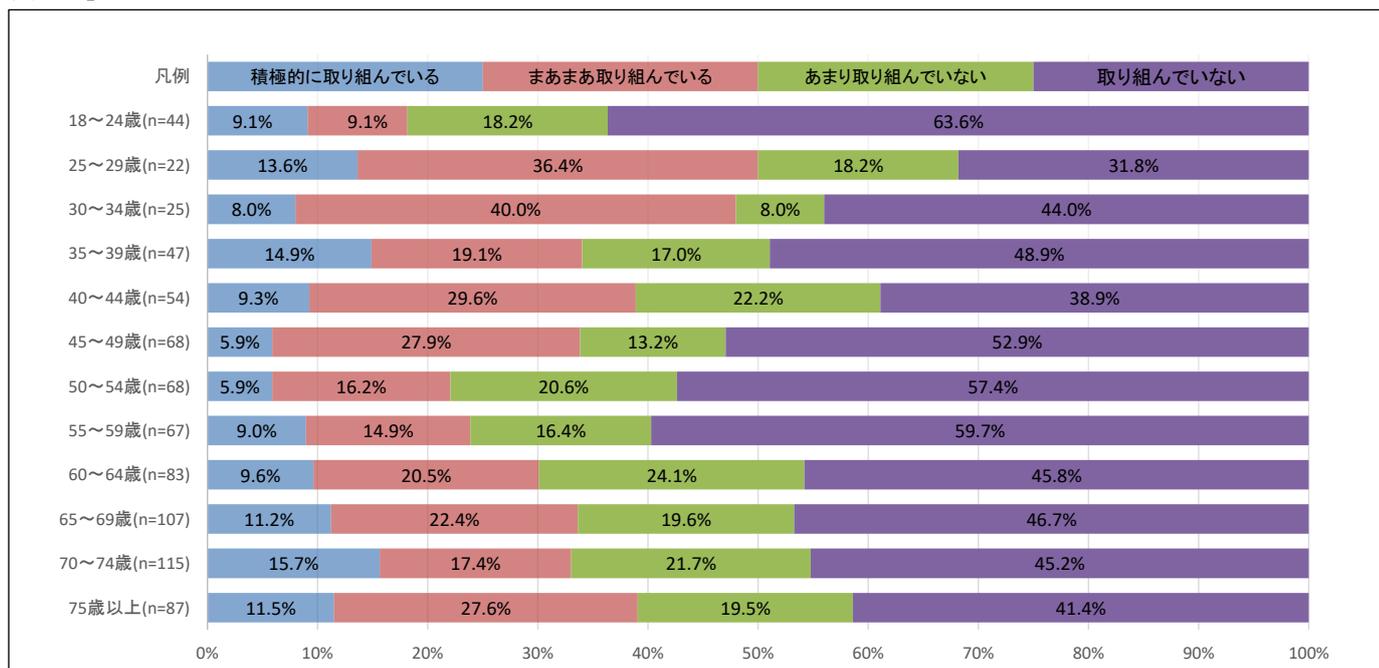


設問番号8 子育て家庭へのサポートをしている

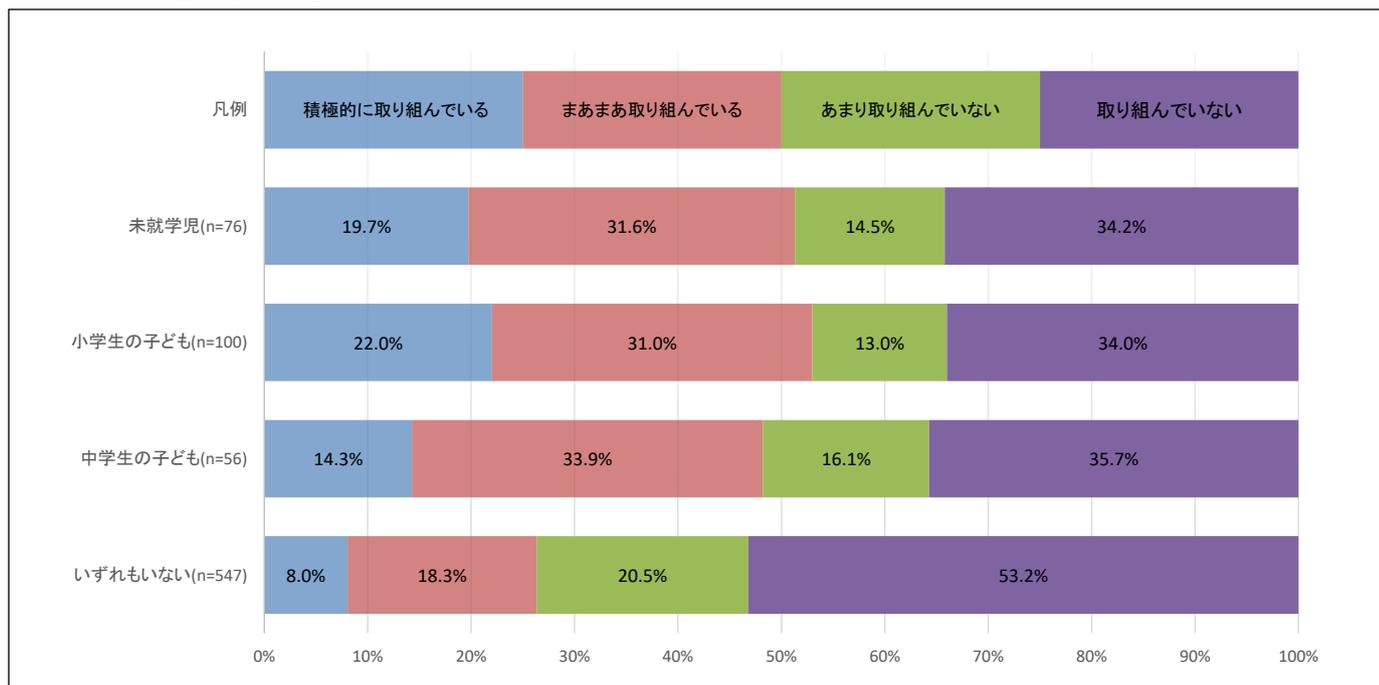
	人数	割合
積極的に取り組んでいる	83	10.5%
まあまあ取り組んでいる	172	21.7%
あまり取り組んでいない	155	19.5%
取り組んでいない	384	48.4%
合計	794	100.0%



【年代別】



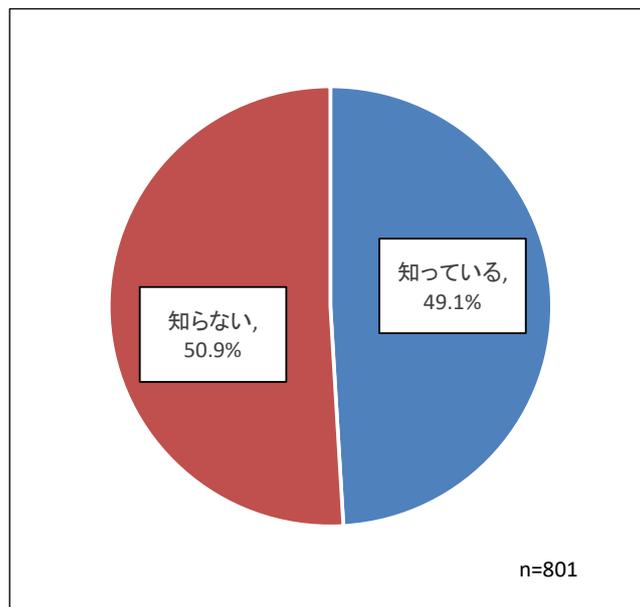
【同居する子どもの状況別】



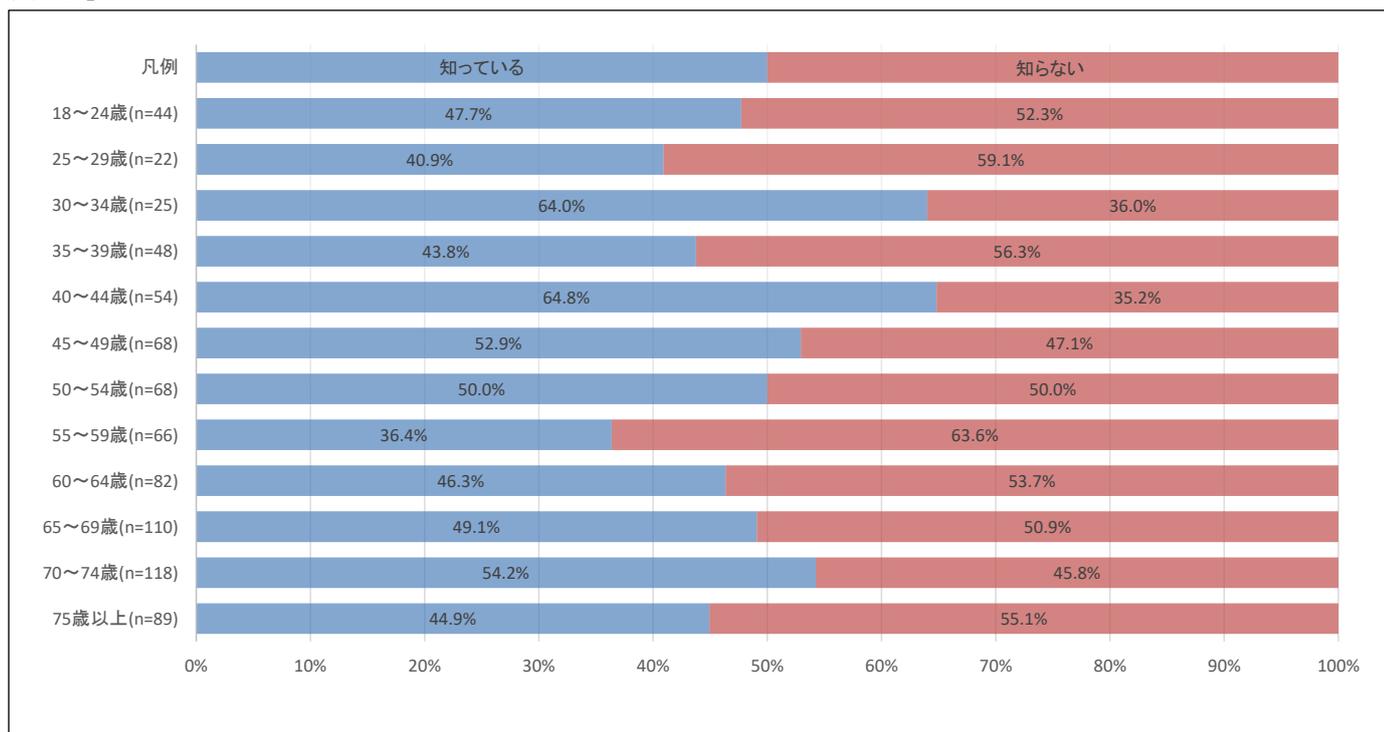
●あなたは、次のことを知っていますか。

設問番号9 ストレスや悩みを抱えたときに市や各種機関で相談ができること

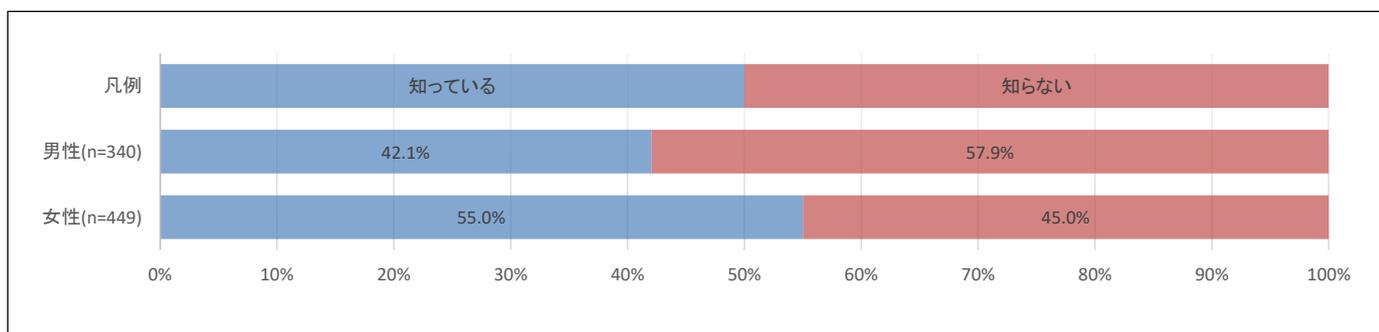
	人数	割合
知っている	393	49.1%
知らない	408	50.9%
合計	801	100.0%



【年代別】

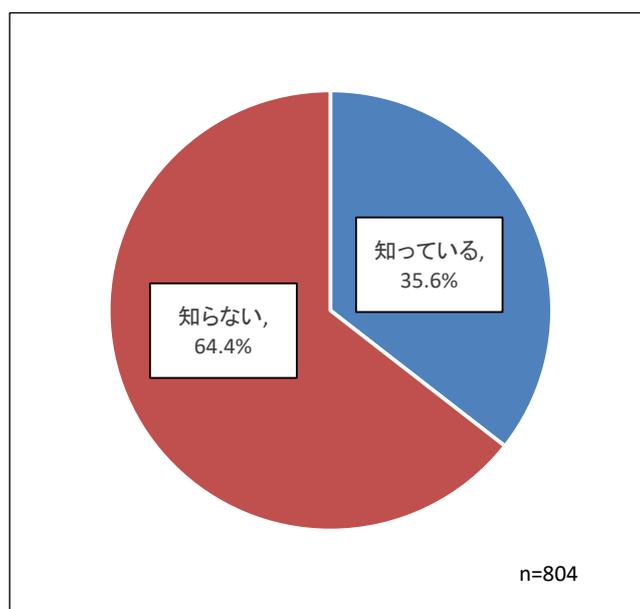


【男女別】



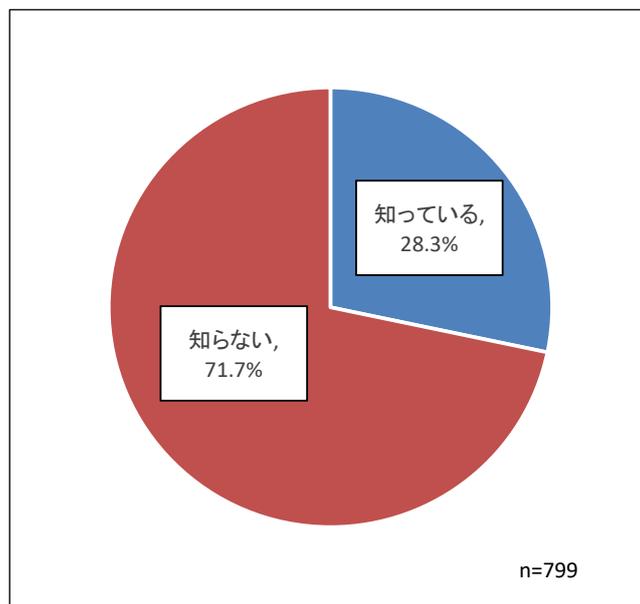
設問番号 10 安曇野市で歯科口腔保健条例を制定し、市民の歯と口腔の健康づくりに取り組んでいること

	人数	割合
知っている	286	35.6%
知らない	518	64.4%
合計	804	100.0%

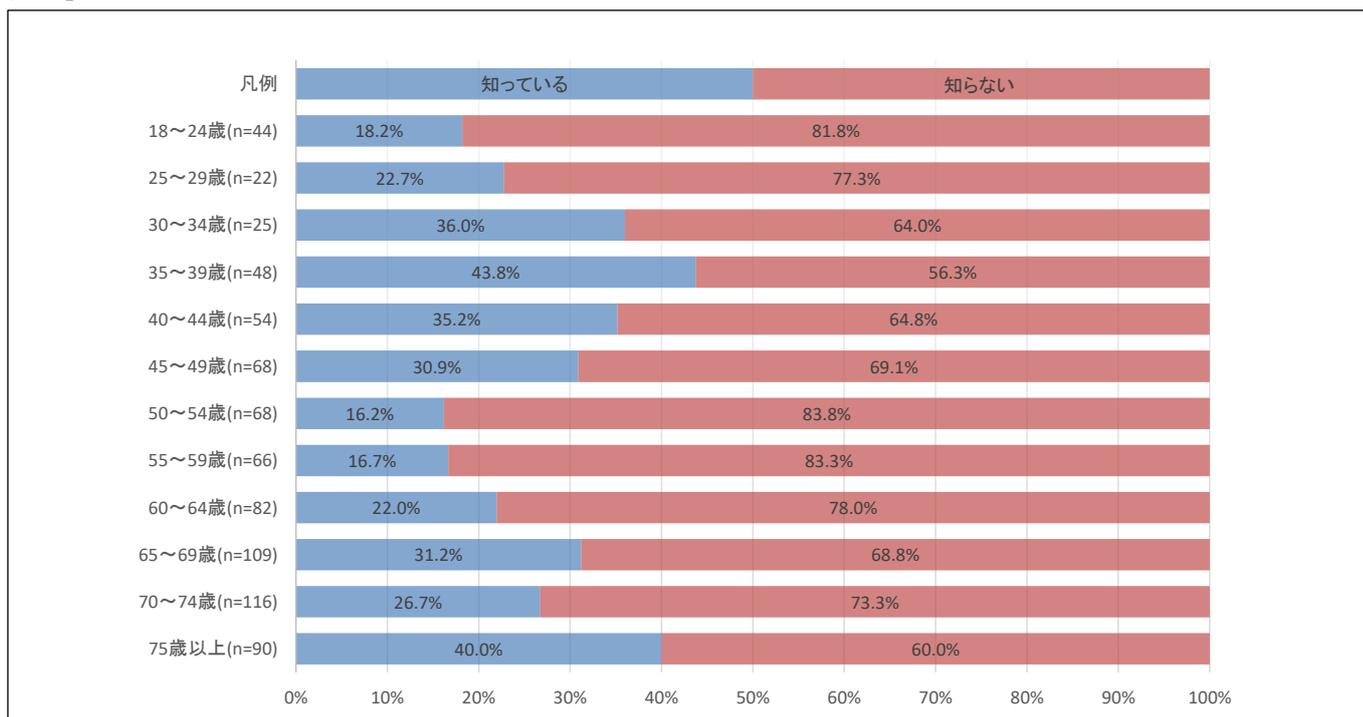


設問番号 11 安曇野市の全公立認定こども園が信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度で認定を受けていること

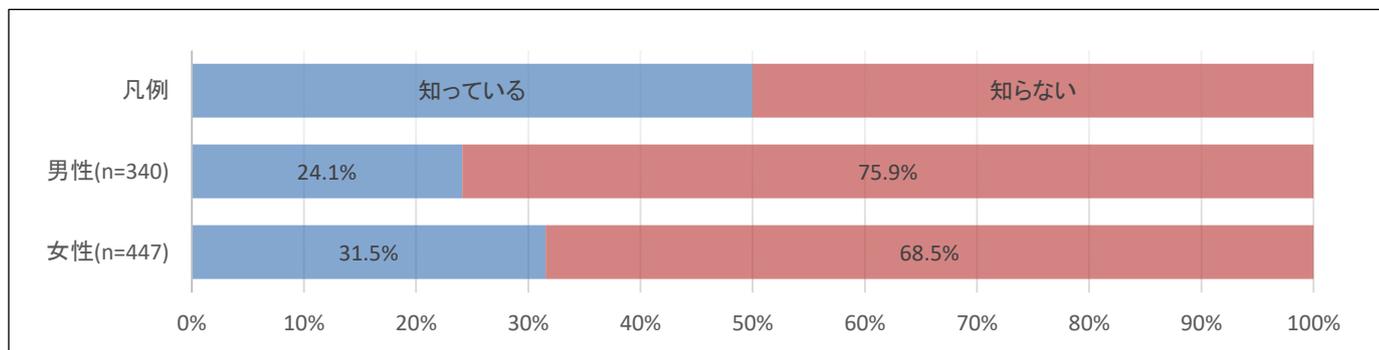
	人数	割合
知っている	226	28.3%
知らない	573	71.7%
合計	799	100.0%



【年代別】

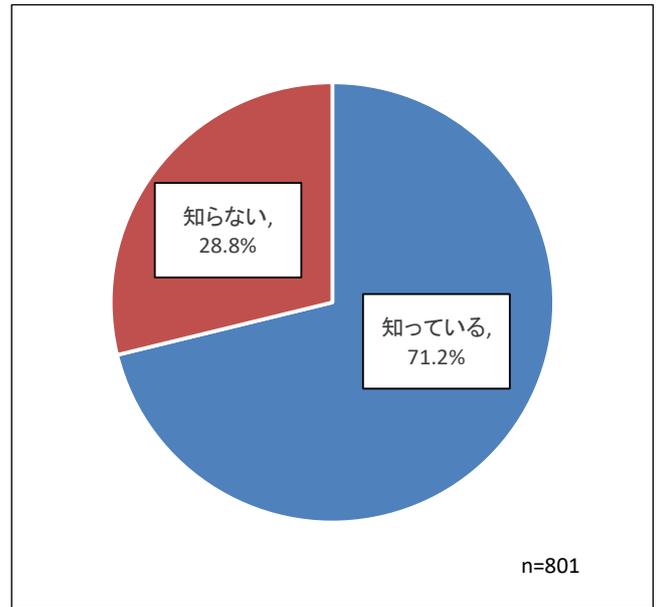


【男女別】

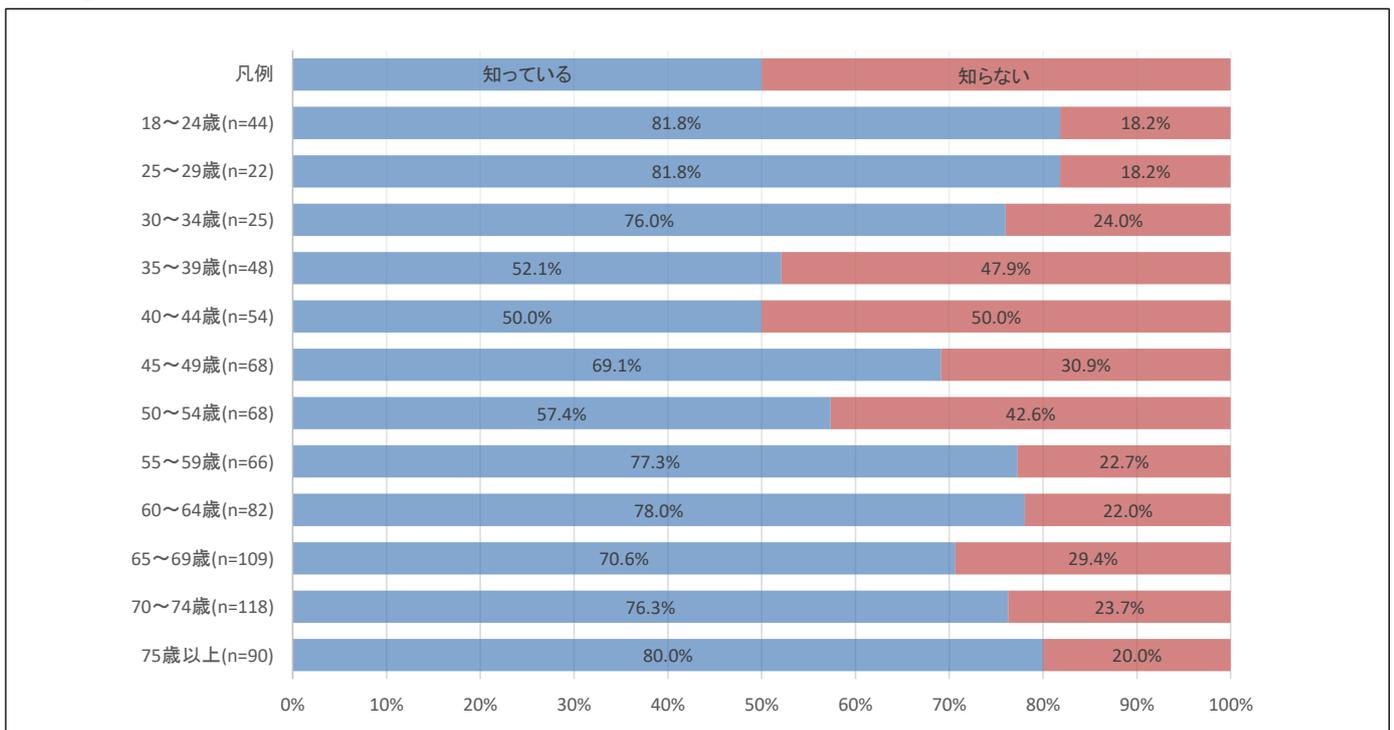


設問番号 12 『男女共同参画』という言葉

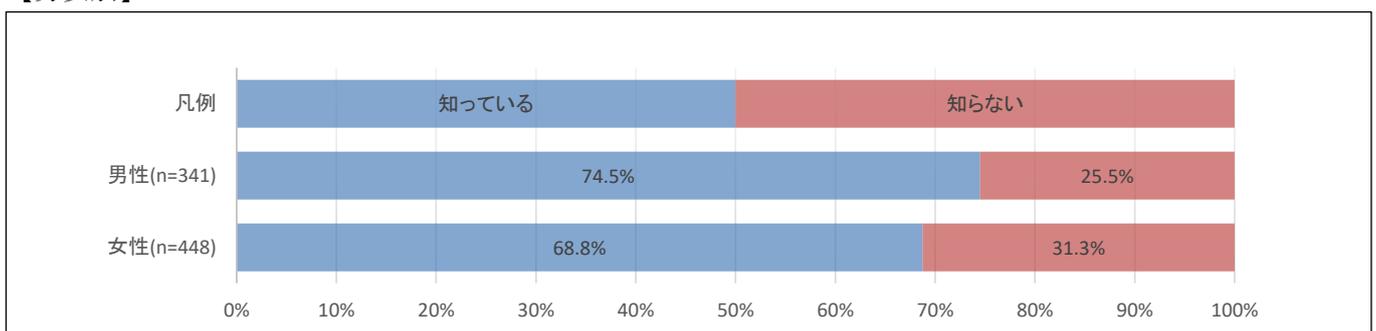
	人数	割合
知っている	570	71.2%
知らない	231	28.8%
合計	801	100.0%



【年代別】

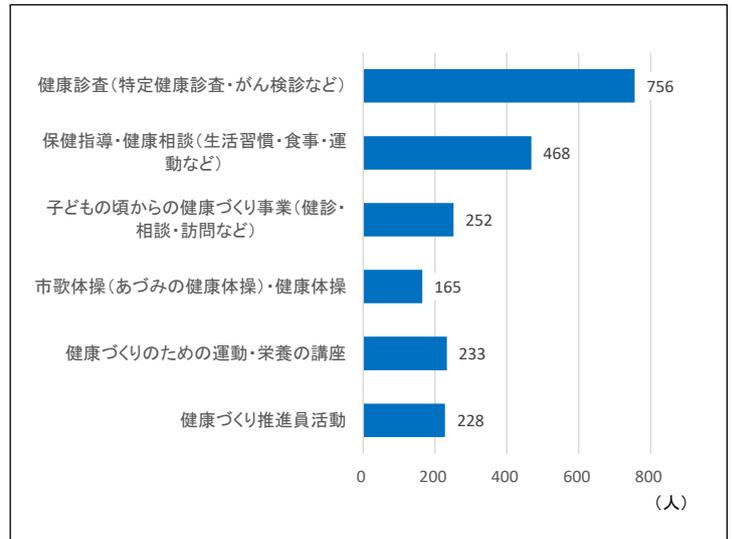


【男女別】



問 1-13 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で知っているものはどれですか。（複数回答）

	人数
健康診査（特定健康診査・がん検診など）	756
保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	468
子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	252
市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	165
健康づくりのための運動・栄養の講座	233
健康づくり推進員活動	228



【年代別】

	回答者数 (人)	健康診査（特定健康診査・がん検診など）	保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
18～24歳	34	85.3%	35.3%	47.1%	20.6%	14.7%	11.8%
25～29歳	14	92.9%	64.3%	28.6%	7.1%	7.1%	14.3%
30～34歳	25	96.0%	60.0%	68.0%	16.0%	20.0%	20.0%
35～39歳	47	95.7%	57.4%	55.3%	17.0%	19.1%	6.4%
40～44歳	51	98.0%	70.6%	52.9%	15.7%	33.3%	23.5%
45～49歳	67	95.5%	62.7%	43.3%	23.9%	25.4%	22.4%
50～54歳	66	100.0%	60.6%	37.9%	18.2%	27.3%	25.8%
55～59歳	64	98.4%	56.3%	26.6%	17.2%	17.2%	34.4%
60～64歳	80	98.8%	65.0%	31.3%	22.5%	26.3%	31.3%
65～69歳	109	100.0%	62.4%	22.9%	25.7%	40.4%	33.9%
70～74歳	118	100.0%	67.8%	19.5%	19.5%	38.1%	38.1%
75歳以上	91	97.8%	52.7%	16.5%	30.8%	42.9%	44.0%

※回答者に占める割合

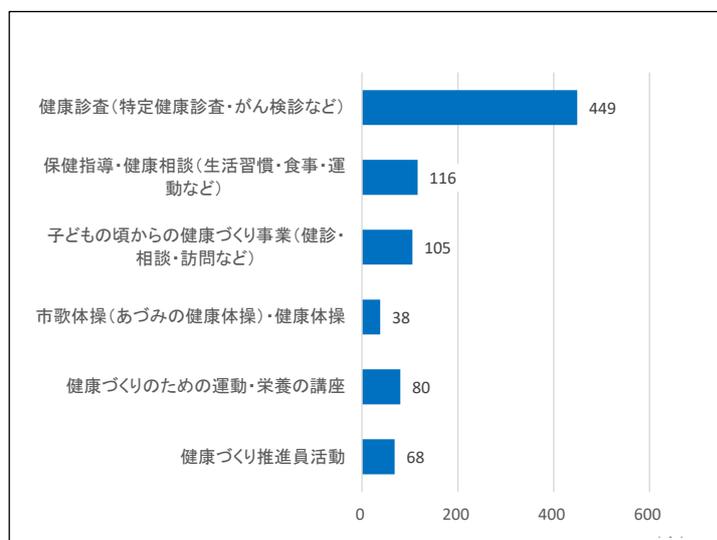
【男女別】

	回答者数 (人)	健康診査（特定健康診査・がん検診など）	保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
男性	321	97.8%	56.1%	22.1%	18.1%	24.0%	27.4%
女性	440	97.7%	64.8%	40.2%	23.6%	35.2%	31.1%

※回答者に占める割合

問1-14 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で参加（受診等）したことがあるものはありますか。（複数回答）

	人数
健康診査（特定健康診査・がん検診など）	449
保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	116
子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	105
市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	38
健康づくりのための運動・栄養の講座	80
健康づくり推進員活動	68



【年代別】

	回答者数	健康診査（特定健康診査・がん検診など）	保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
18～24歳	15	26.7%	6.7%	73.3%	13.3%	6.7%	0.0%
25～29歳	7	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
30～34歳	16	68.8%	18.8%	68.8%	0.0%	0.0%	0.0%
35～39歳	33	84.8%	27.3%	45.5%	3.0%	6.1%	0.0%
40～44歳	36	77.8%	22.2%	44.4%	2.8%	16.7%	8.3%
45～49歳	40	90.0%	20.0%	37.5%	5.0%	5.0%	5.0%
50～54歳	41	82.9%	7.3%	29.3%	2.4%	9.8%	7.3%
55～59歳	46	60.9%	17.4%	17.4%	2.2%	8.7%	13.0%
60～64歳	44	86.4%	18.2%	11.4%	4.5%	11.4%	13.6%
65～69歳	82	90.2%	26.8%	6.1%	11.0%	22.0%	19.5%
70～74歳	91	92.3%	28.6%	4.4%	5.5%	13.2%	14.3%
75歳以上	79	93.7%	24.1%	2.5%	17.7%	31.6%	24.1%

※回答者に占める割合

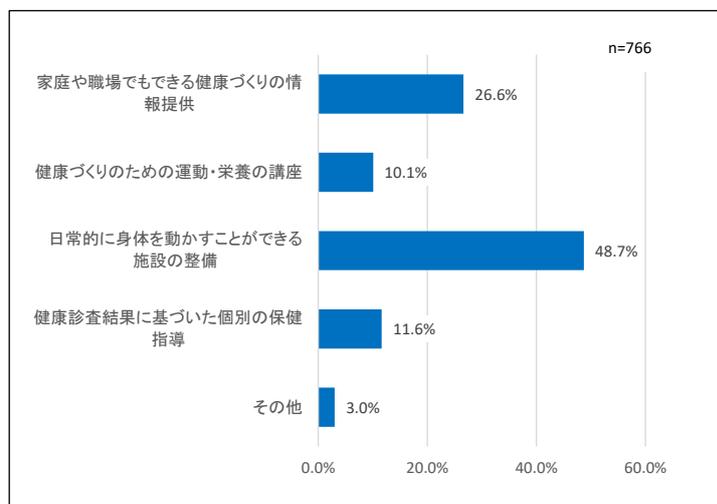
【男女別】

	回答者数	健康診査（特定健康診査・がん検診など）	保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
男性	179	89.4%	25.7%	7.8%	6.1%	9.5%	8.9%
女性	341	83.3%	20.5%	26.7%	7.9%	18.5%	15.2%

※回答者に占める割合

問1-15 あなたは、市民の健康をサポートするため、市はどのような取組を行うべきとお考えですか。

	人数	割合
家庭や職場でもできる健康づくりの情報提供	204	26.6%
健康づくりのための運動・栄養の講座	77	10.1%
日常的に身体を動かすことができる施設の整備	373	48.7%
健康診査結果に基づいた個別の保健指導	89	11.6%
その他	23	3.0%
合計	766	100.0%

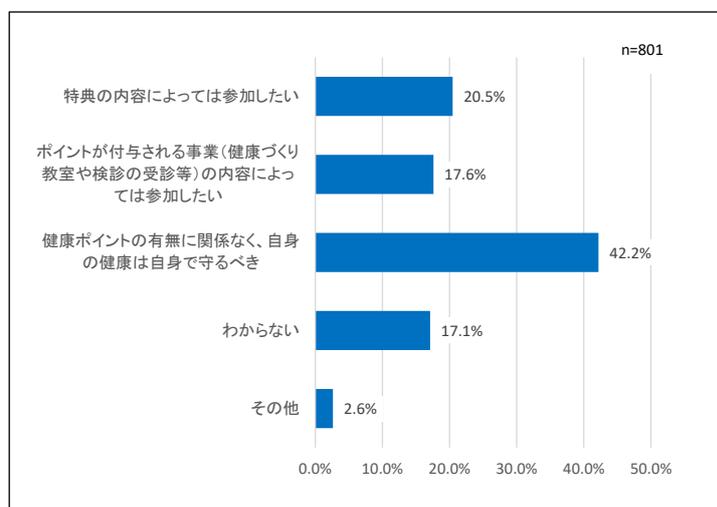


■「その他」の主な意見等

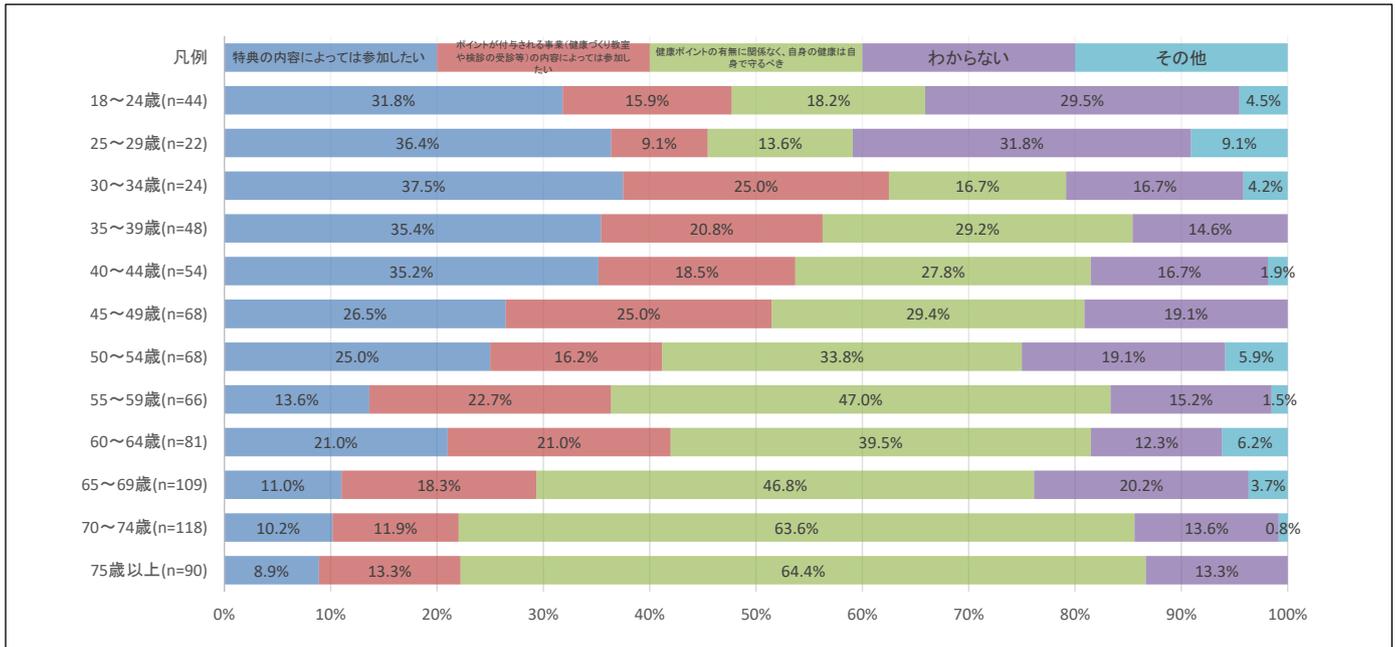
性別	年代	主な意見等
女性	25～29歳	情報提供や指導・講座をやっているというPR、そして参加のしやすさ
男性	40～44歳	24時間使えるスポーツジムの建設及びスタッフの配置
女性	30～34歳	出産後のサポートをもう少し手厚くしてほしい
男性	55～59歳	市の健康保健データの公開と利用可能な施設の紹介
女性	45～49歳	道路整備の強化（歩行者と車の分離、自転車道増設、遊歩道設置等）
女性	30～34歳	歩道の整備をもっとしっかりやってほしい
女性	60～64歳	これまで通りで良い
男性	70～74歳	河川の土手の活用やサイクリングロードの整備。観光にも役立つ
男性	50～54歳	今のままで良い
女性	45～49歳	マスクの配布
女性	50～54歳	小中学校を市民がもっと利用できるようにする

問1-16 近年、日々の健康づくりの活動（ウォーキングや健康づくり教室への参加、検診の受診等）にポイントを付与し、獲得ポイントにより特典が得られる「健康ポイント制度」を行う自治体が増えています。あなたは、健康ポイント制度についてどのようなお考えですか。

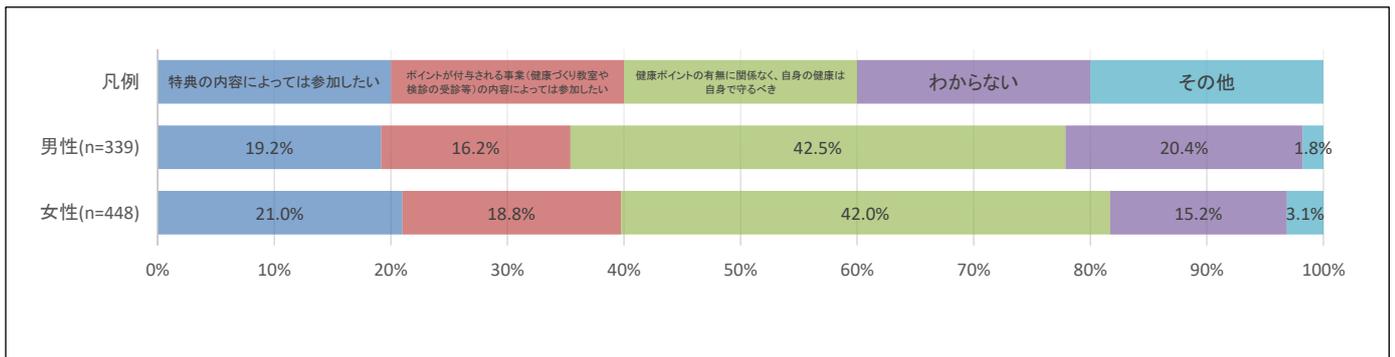
	人数	割合
特典の内容によっては参加したい	164	20.5%
ポイントが付与される事業（健康づくり教室や検診の受診等）の内容によっては参加したい	141	17.6%
健康ポイントの有無に関係なく、自身の健康は自身で守るべき	338	42.2%
わからない	137	17.1%
その他	21	2.6%
合計	801	100.0%



【年代別】



【男女別】

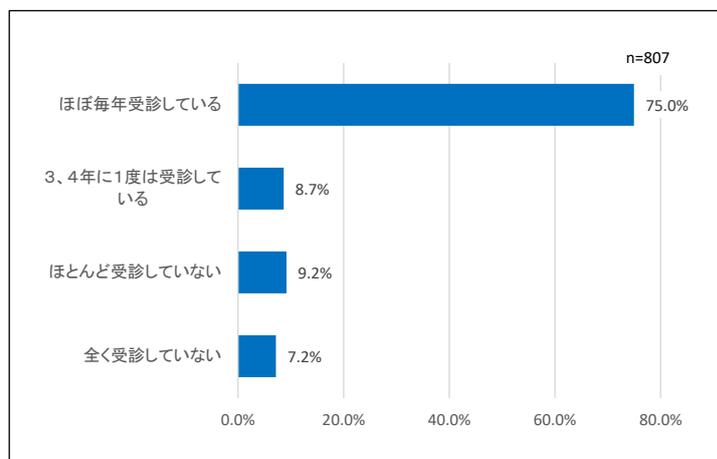


■ 「その他」の主な意見等

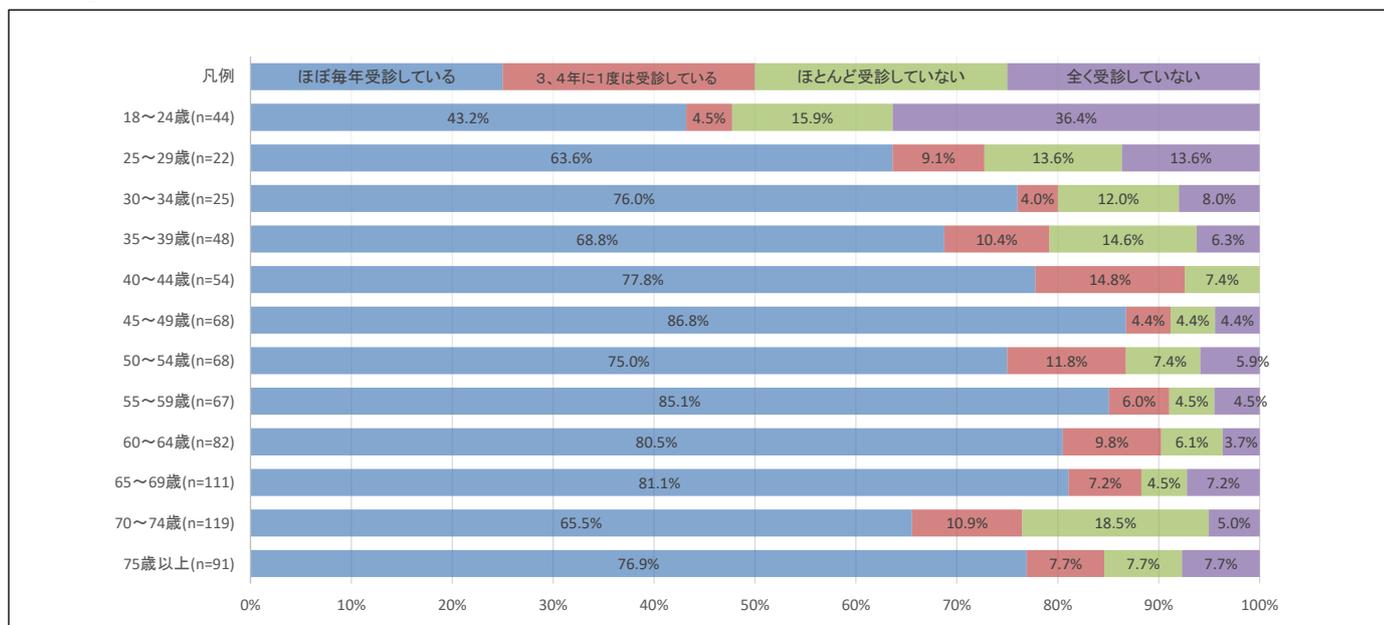
性別	年代	主な意見等
男性	60～64歳	ポイント制度には疑問
女性	30～34歳	ポイントが何かに使えるのであれば参加したいが、平日は仕事で難しい
女性	18～24歳	ポイントという利益が先行して認識されてしまわないか心配
女性	25～29歳	ポイントに興味はない
女性	18～24歳	ポイントの確認などがわずらわしい
女性	70～74歳	意味があるのか疑問
男性	50～54歳	仕事をしていても参加しやすいかどうか問題
女性	50～54歳	効果に疑問を感じる
女性	60～64歳	参加できる人ばかりではないので、ポイント制度は不要
男性	60～64歳	取組としては良いが、日々農業、家事などで忙しく参加が難しい
女性	60～64歳	万歩計を無料で支給し、歩数によりポイントを付与すればどうか(スマホと連動)
男性	40～44歳	ポイント制度はあまり期待が出来ないと思う。特典目当ては良くない

問1-17 あなたは、健康診査（特定健康診査やがん検診など）を受診していますか。

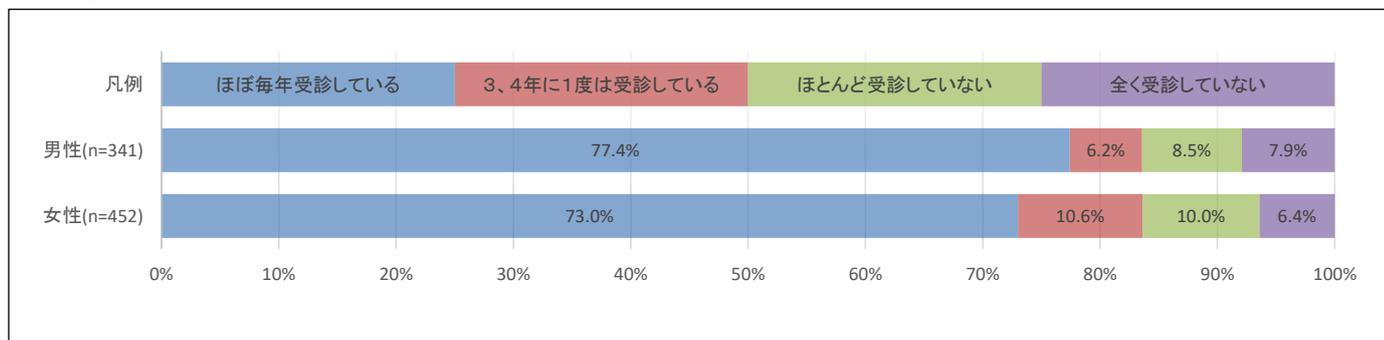
	人数	割合
ほぼ毎年受診している	605	75.0%
3、4年に1度は受診している	70	8.7%
ほとんど受診していない	74	9.2%
全く受診していない	58	7.2%
合計	807	100.0%



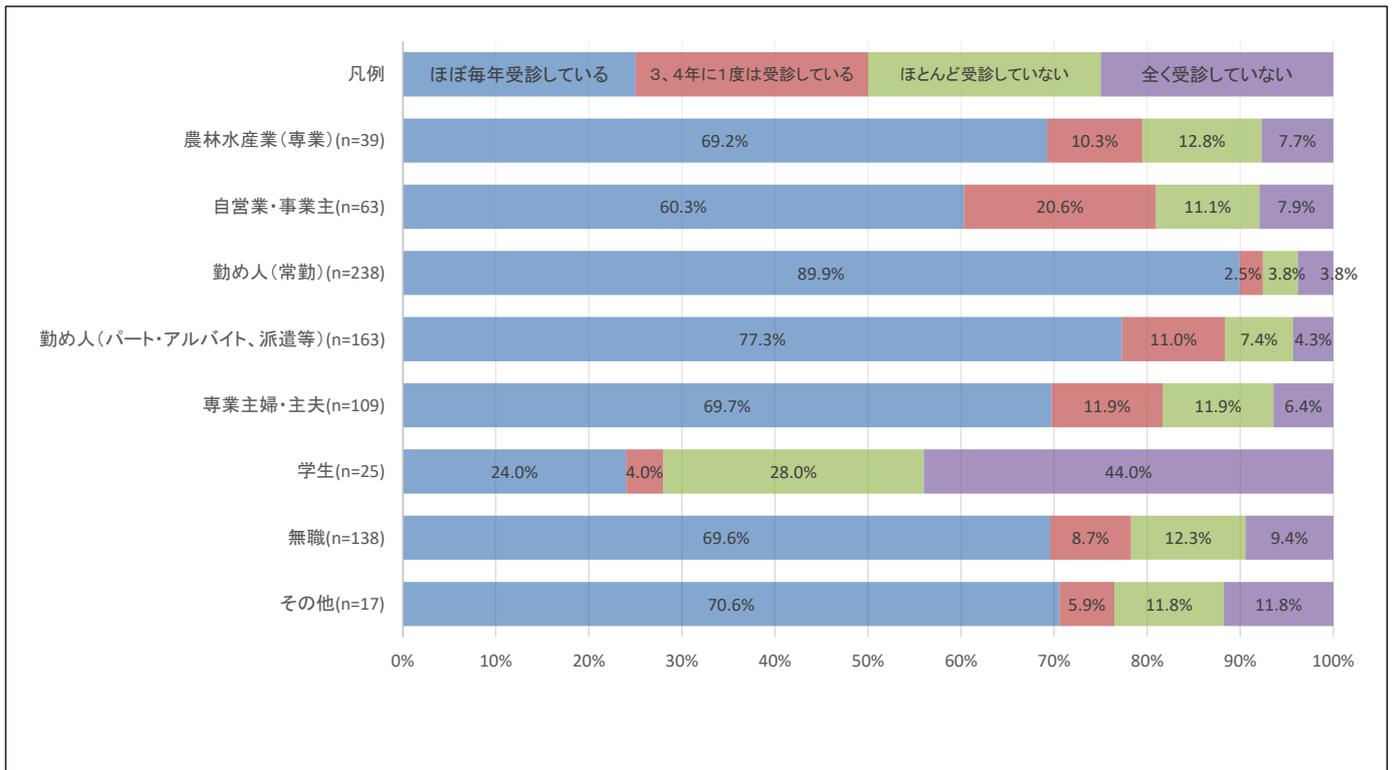
【年代別】



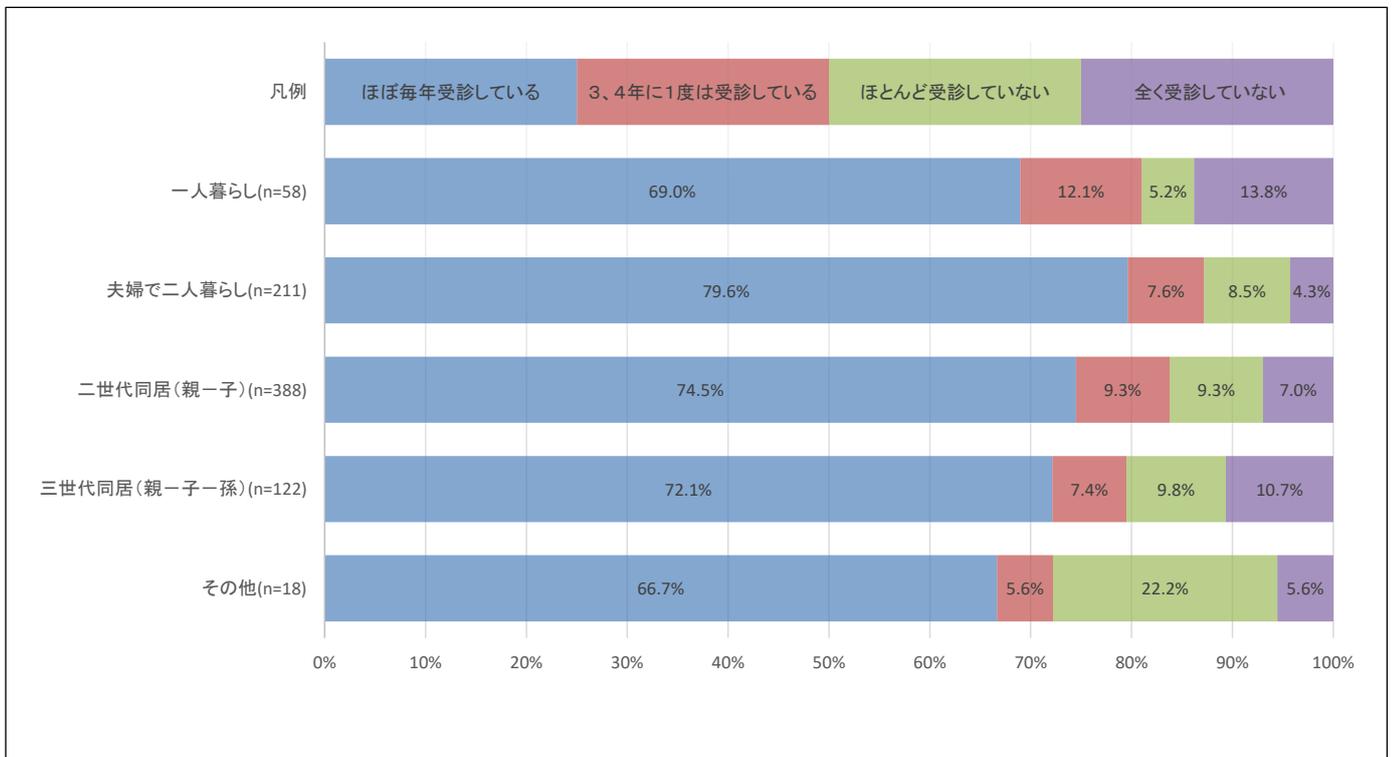
【男女別】



【職業別】

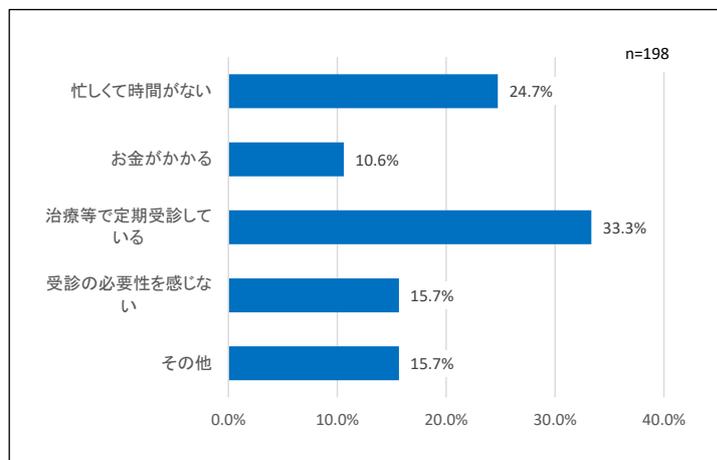


【世帯状況別】



問1-18 問1-17で「2. 3、4年に1度は受診している」、「3. ほとんど受診していない」、「4. 全く受診していない」を選んだ方にお伺いします。あなたが、健康診断をほぼ毎年受診しない理由は何ですか。

	人数	割合
忙しくて時間がない	49	24.7%
お金がかかる	21	10.6%
治療等で定期受診している	66	33.3%
受診の必要性を感じない	31	15.7%
その他	31	15.7%
合計	198	100.0%

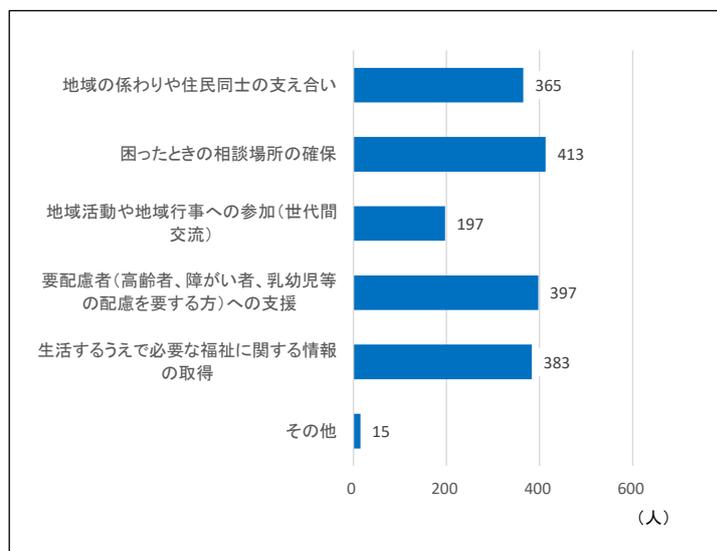


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	18～24歳	年齢的にまだ受診しなくても良いと考えている
女性	70～74歳	受診時に知り合いに会うことがあるから
女性	25～29歳	主婦なので提出先もないから
女性	70～74歳	長く生きたくないから
男性	65～69歳	大変混雑しているし、指摘されることは判っている
女性	50～54歳	職場で人間ドッグの指定年齢が決まっている
女性	25～29歳	職場で決められた時に行っているため
女性	40～44歳	申し込みをするが、行くのを忘れてしまう
女性	70～74歳	長生きしても将来の希望がない
女性	40～44歳	毎年受診したいが、子供が小さいため受ける事ができない
男性	70～74歳	身体の調子は良いから
女性	18～24歳	学校の健康診断は受けている
女性	18～24歳	これから受けようと思っている
女性	35～39歳	子育て中で、子どもを預けてまで毎年は行けないので数年に1度になってしまう
男性	65～69歳	医療関係が好きではないから
女性	50～54歳	内容が少なすぎ。利用してもあまり意味がない
男性	18～24歳	まだ若いから大丈夫だと思っている
女性	30～34歳	どのタイミングでどんな健診に行けばいいのかわからない

問 1-19 あなたが、地域で生活するために（地域福祉の推進に）必要だと感じることはなんですか。（複数回答）

	人数
地域の係わりや住民同士の支え合い	365
困ったときの相談場所の確保	413
地域活動や地域行事への参加（世代間交流）	197
要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児等の配慮を要する方）への支援	397
生活するうえで必要な福祉に関する情報の取得	383
その他	15



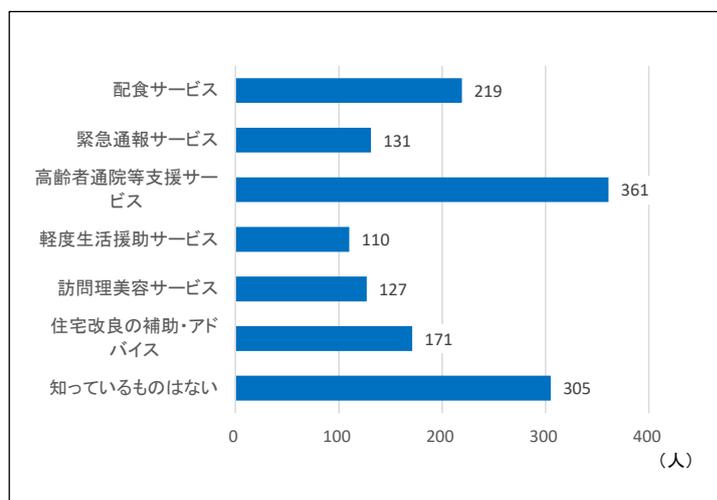
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	70～74歳	今はあまり感じていない
男性	40～44歳	障害者だけではなく、支える家族への支援
男性	75歳以上	健康維持のための施設や病院の充実
男性	25～29歳	運動施設の充実
男性	65～69歳	あづみんの利便性の向上
女性	70～74歳	最後まで在宅で生活することに対する支援
女性	40～44歳	要介護者と介助者への金銭的支援
男性	30～34歳	歩道整備（電灯が少ないし、歩道が狭すぎる）
男性	65～69歳	子育て世代への支援

問 1-20 市が実施している高齢者福祉事業で、あなたが知っているものはどれですか。(複数回答)

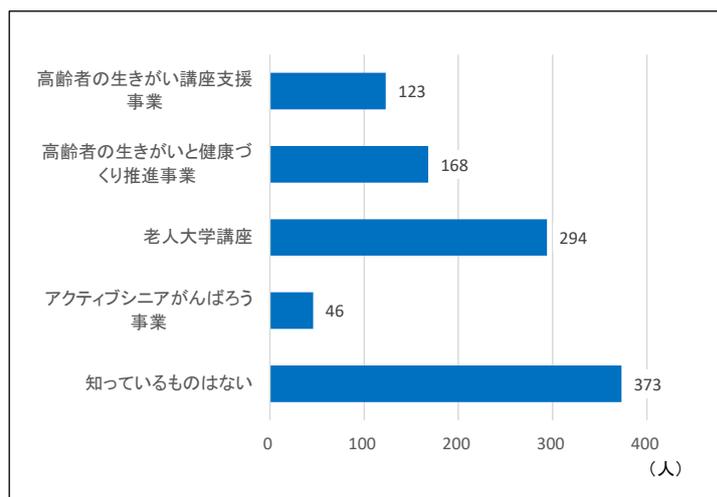
【①在宅高齢者福祉サービス】

	人数
配食サービス	219
緊急通報サービス	131
高齢者通院等支援サービス	361
軽度生活援助サービス	110
訪問理美容サービス	127
住宅改良の補助・アドバイス	171
知っているものはない	305



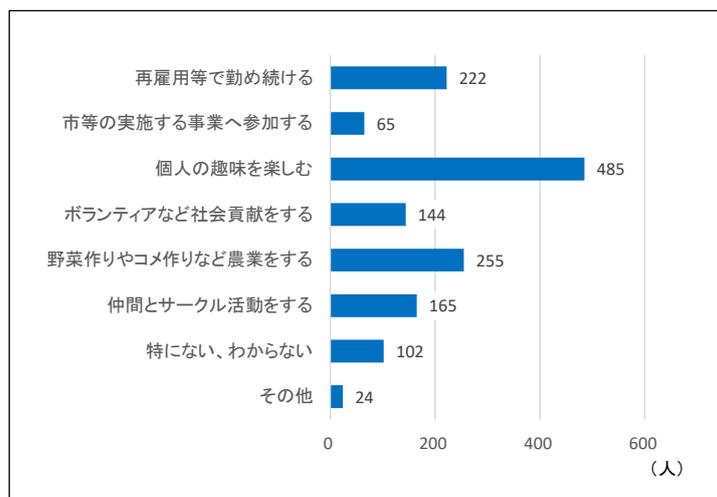
【②高齢者の生きがいづくり支援サービス】

	人数
高齢者の生きがい講座支援事業	123
高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	168
老人大学講座	294
アクティブシニアがんばろう事業	46
知っているものはない	373



問1-21 あなたは、今の仕事を辞めたあと、やりたいことはありますか。また、既に辞められている方は、どのように過ごしていますか。(複数回答)

	人数
再雇用等で勤め続ける	222
市等の実施する事業へ参加する	65
個人の趣味を楽しむ	485
ボランティアなど社会貢献をする	144
野菜作りやコメ作りなど農業をする	255
仲間とサークル活動をする	165
特にない、わからない	102
その他	24



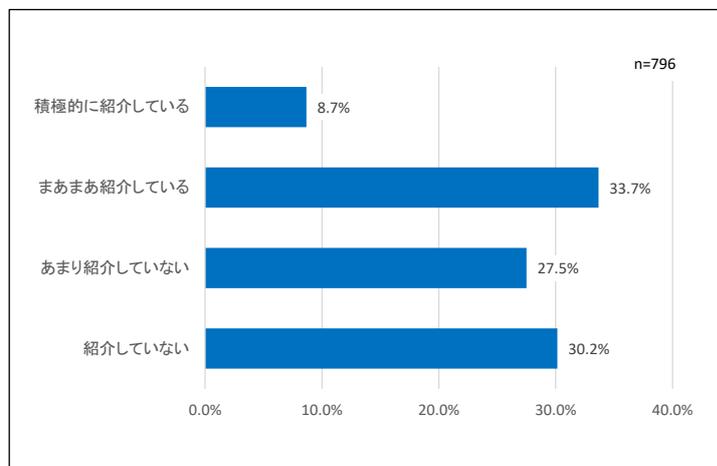
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	70～74歳	シルバー人材センターからの仕事
男性	30～34歳	起業
女性	55～59歳	自営業なので辞める選択ができるかわからない
女性	30～34歳	育児や介護
女性	45～49歳	旅行
女性	35～39歳	子育て
男性	70～74歳	地域の役員
女性	70～74歳	日々介護に追われていて、考えた事が無い

3 「魅力ある産業を維持・創造するまち」について（観光・農業分野）

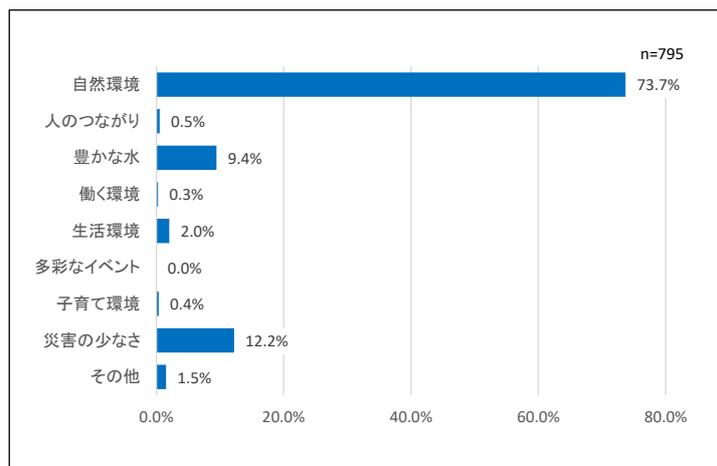
問2-1 あなたは、安曇野市の魅力を市外の友人や知人に紹介していますか。

	人数	割合
積極的に紹介している	69	8.7%
まあまあ紹介している	268	33.7%
あまり紹介していない	219	27.5%
紹介していない	240	30.2%
合計	796	100.0%



問2-2 あなたが市外の友人等に誇れる「安曇野市の魅力」は何ですか。

	人数	割合
自然環境	586	73.7%
人のつながり	4	0.5%
豊かな水	75	9.4%
働く環境	2	0.3%
生活環境	16	2.0%
多彩なイベント	0	0.0%
子育て環境	3	0.4%
災害の少なさ	97	12.2%
その他	12	1.5%
合計	795	100.0%

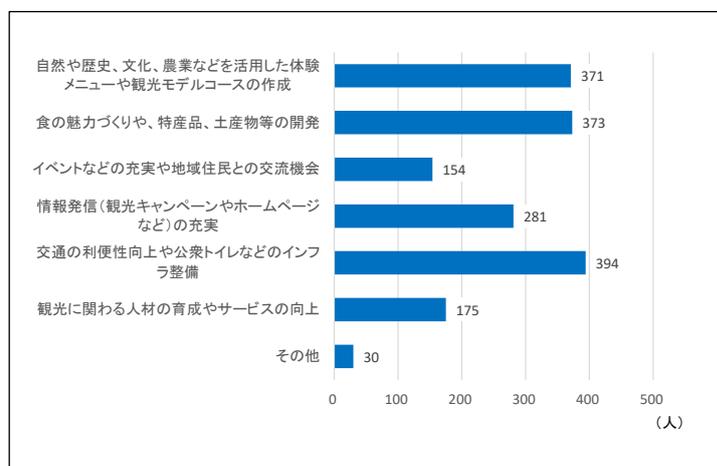


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	18～24歳	カフェ
男性	70～74歳	文化
女性	45～49歳	特になし
女性	50～54歳	おいしい農産物（りんご、米、野菜等）

問 2-3 安曇野市に特に必要な観光振興施策について、あなたの考えに近いものはどれですか。
(複数回答 (3つまで))

	人数
自然や歴史、文化、農業などを活用した体験メニューや観光モデルコースの作成	371
食の魅力づくりや、特産品、土産物等の開発	373
イベントなどの充実や地域住民との交流機会	154
情報発信 (観光キャンペーンやホームページなど) の充実	281
交通の利便性向上や公衆トイレなどのインフラ整備	394
観光に関わる人材の育成やサービスの向上	175
その他	30

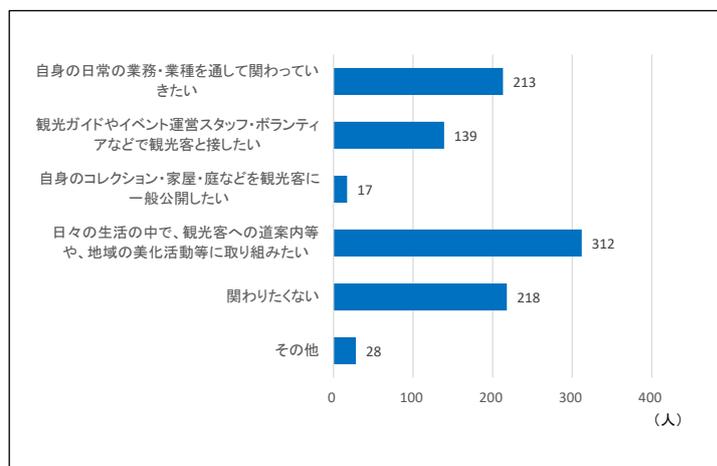


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	40～44歳	特に必要ない
女性	40～44歳	Wi-Fi環境を整える
女性	70～74歳	安曇野市らしい景観 (屋敷林など) を守り景観の美しさを追求する。また、看板などに関しては場所や色彩を制限する
女性	50～54歳	まずは、現に住んでいる人が安全に暮らせることが大切
男性	75歳以上	歩道の整備
男性	30～34歳	安曇野市に行きたいと思わせる「スポット」があれば良い
男性	40～44歳	安曇野のアイドルグループの発掘と、その全国発信
女性	18～24歳	案内板等における外国語標記の充実
男性	65～69歳	コンパクトシティの構築
女性	70～74歳	森林整備を中心とした景観保全
女性	35～39歳	大型店やテーマパークを作る
男性	65～69歳	交通手段の充実
女性	50～54歳	道路整備とバスの運行
男性	35～39歳	サイクリングロードの整備
男性	50～54歳	温泉を活かした集客

問2-4 あなたは、安曇野市を訪れる観光客とどのように関わりたいと考えますか。(複数回答(3つまで))

	人数
自身の日常の業務・業種を通して関わっていききたい	213
観光ガイドやイベント運営スタッフ・ボランティアなどで観光客と接したい	139
自身のコレクション・家屋・庭などを観光客に一般公開したい	17
日々の生活の中で、観光客への道案内等や、地域の美化活動等に取り組みたい	312
関わりたくない	218
その他	28

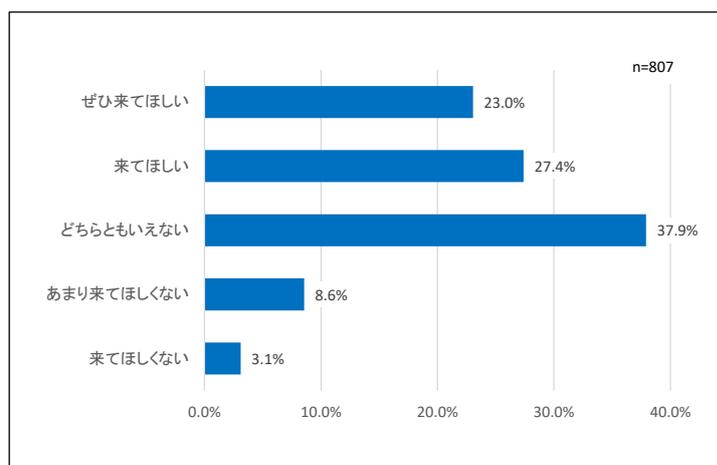


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	35～39歳	農業体験の受け入れ
女性	18～24歳	農家民泊
男性	75歳以上	特になし
女性	65～69歳	安曇野の農産物や食の提供
女性	55～59歳	積極的に関わる必要性を感じない
女性	65～69歳	あまり実感がわからない
男性	40～44歳	わからない
男性	45～49歳	現在の生活環境では関わる機会が無い

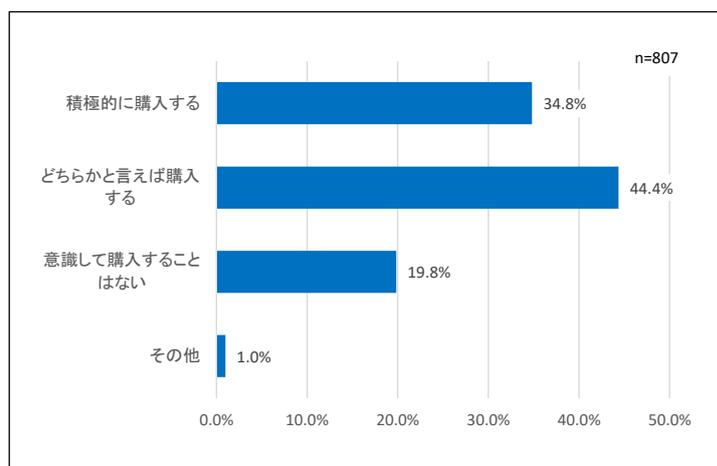
問2-5 あなたは、外国人観光客の来訪についてどう思いますか。

	人数	割合
ぜひ来てほしい	186	23.0%
来てほしい	221	27.4%
どちらともいえない	306	37.9%
あまり来てほしくない	69	8.6%
来てほしくない	25	3.1%
合計	807	100.0%



問 2-6 あなたは、日頃、地元産農産物を購入しますか。

	人数	割合
積極的に購入する	281	34.8%
どちらかと言えば購入する	358	44.4%
意識して購入することはない	160	19.8%
その他	8	1.0%
合計	807	100.0%

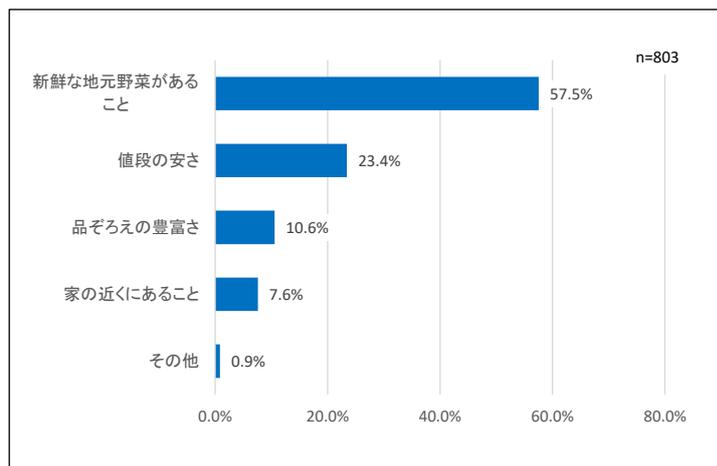


■ 「その他」の主な意見等

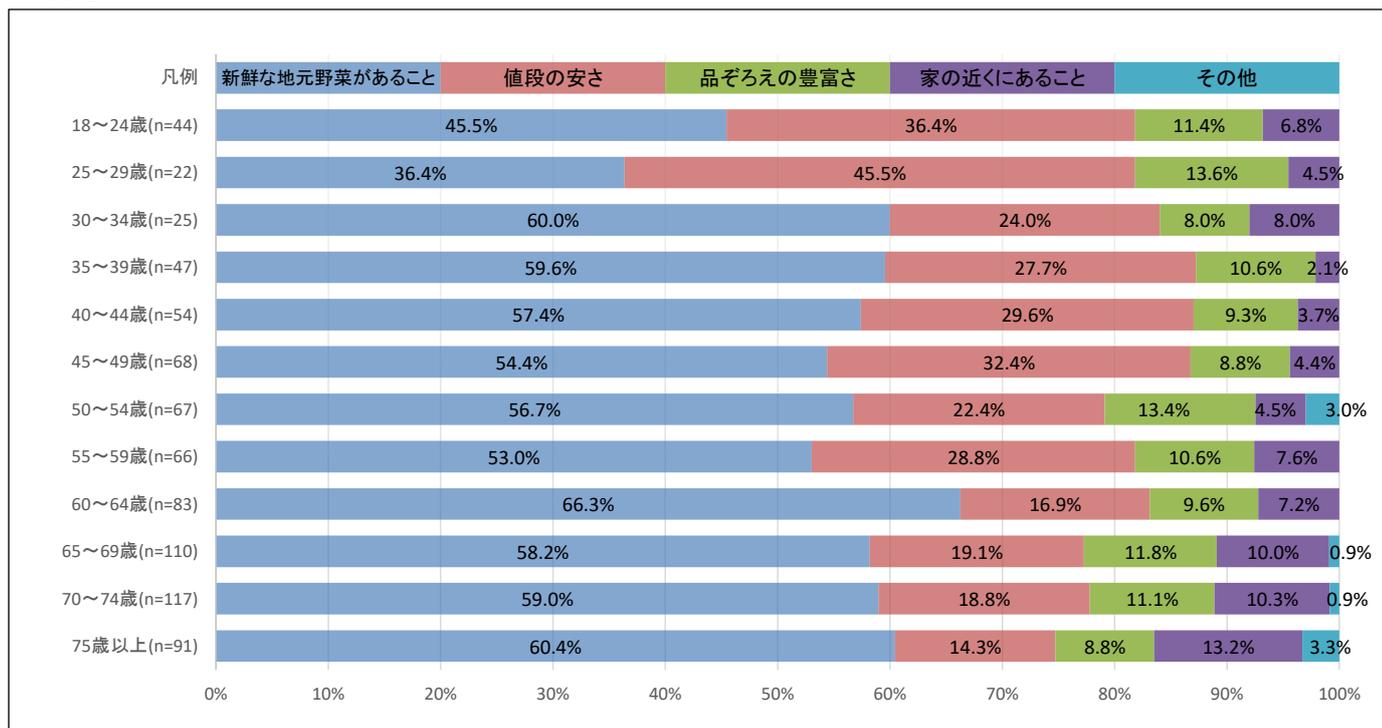
性別	年代	主な意見等
男性	35～39歳	農産物は自分で作っている
男性	65～69歳	自給自足で生活している
女性	70～74歳	自給自足を目指している
男性	40～44歳	安ければ買う
女性	40～44歳	必要なものがあれば買う

問 2-7 あなたが、市内の直売所・加工所に求めることはなんですか。

	人数	割合
新鮮な地元野菜があること	462	57.5%
値段の安さ	188	23.4%
品ぞろえの豊富さ	85	10.6%
家の近くにあること	61	7.6%
その他	7	0.9%
合計	803	100.0%



【年代別】

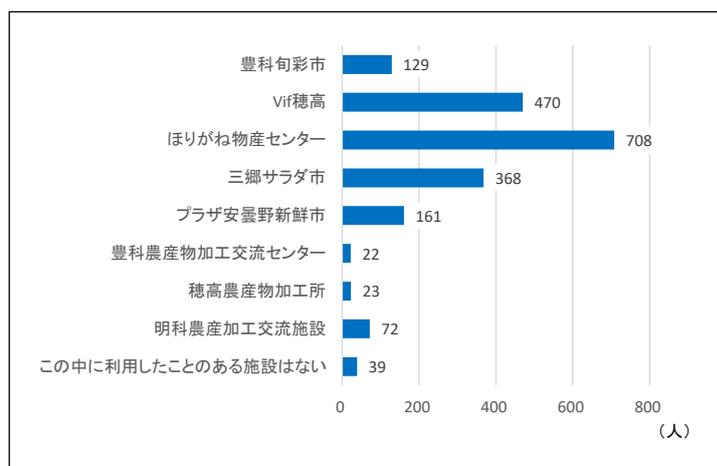


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	50～54歳	そこでしか食べられない物（ジビエやオリジナル加工品など）があること
男性	75歳以上	無農薬の野菜等を扱っていること
女性	65～69歳	無農薬野菜の売り場があると良い
男性	50～54歳	質の高さ

問2-8 あなたが、利用したことのある直売所・加工所を教えてください。(複数回答)

	人数
豊科旬彩市	129
Vif穂高	470
ほりがね物産センター	708
三郷サラダ市	368
プラザ安曇野新鮮市	161
豊科農産物加工交流センター	22
穂高農産物加工所	23
明科農産加工交流施設	72
この中に利用したことのある施設はない	39



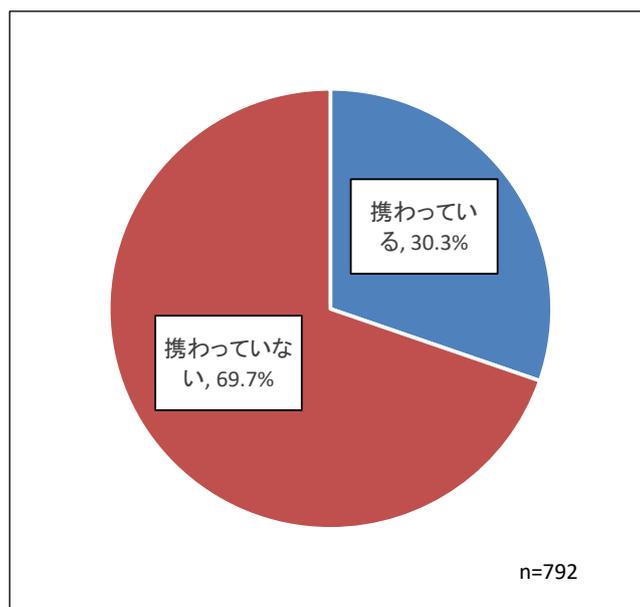
【年代別】

	回答者数 (人)	豊科旬彩市	Vif穂高	ほりがね物産センター	三郷サラダ市	プラザ安曇野新鮮市	豊科農産物加工交流センター	穂高農産物加工所	明科農産加工交流施設	この中に利用したことのある施設はない
18～24歳	44	13.6%	34.1%	70.5%	47.7%	9.1%	0.0%	2.3%	9.1%	15.9%
25～29歳	22	18.2%	36.4%	72.7%	22.7%	18.2%	9.1%	9.1%	13.6%	18.2%
30～34歳	25	16.0%	52.0%	80.0%	36.0%	16.0%	0.0%	4.0%	4.0%	12.0%
35～39歳	47	14.9%	59.6%	78.7%	36.2%	14.9%	2.1%	4.3%	8.5%	6.4%
40～44歳	54	14.8%	59.3%	88.9%	42.6%	22.2%	0.0%	3.7%	5.6%	1.9%
45～49歳	68	16.2%	54.4%	83.8%	42.6%	10.3%	4.4%	1.5%	2.9%	8.8%
50～54歳	67	22.4%	62.7%	88.1%	46.3%	11.9%	0.0%	0.0%	1.5%	4.5%
55～59歳	66	18.2%	53.0%	90.9%	56.1%	22.7%	1.5%	4.5%	6.1%	3.0%
60～64歳	83	12.0%	63.9%	89.2%	50.6%	26.5%	3.6%	1.2%	10.8%	4.8%
65～69歳	112	15.2%	68.8%	92.9%	47.3%	25.9%	2.7%	0.9%	12.5%	1.8%
70～74歳	120	15.0%	63.3%	95.0%	50.0%	25.8%	3.3%	3.3%	5.8%	1.7%
75歳以上	89	16.9%	56.2%	89.9%	44.9%	16.9%	5.6%	3.4%	20.2%	2.2%

※回答者に占める割合

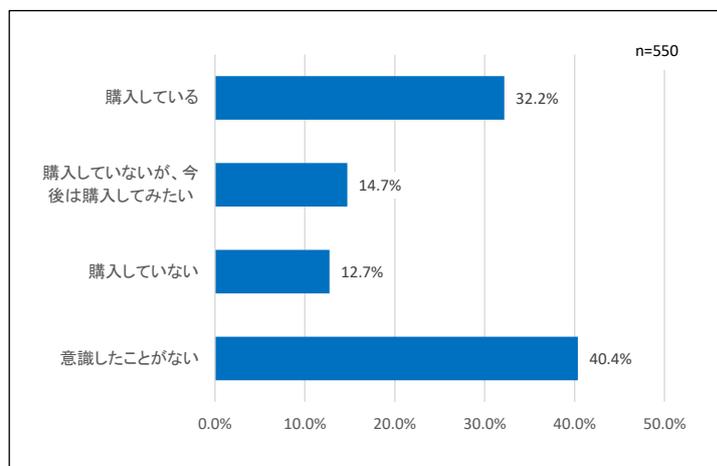
問2-9 あなたは農業(専業・兼業を問わない)に携わっていますか。

	人数	割合
携わっている	240	30.3%
携わっていない	552	69.7%
合計	792	100.0%



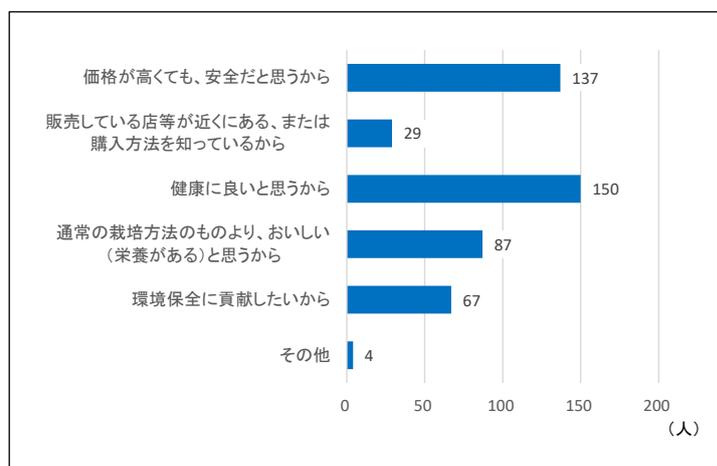
問2-10 【問2-9で、「2. 携わっていない」を選んだ方にお伺いします。】あなたは、普段有機農業により生産された農産物を購入していますか。

	人数	割合
購入している	177	32.2%
購入していないが、今後は購入してみたい	81	14.7%
購入していない	70	12.7%
意識したことがない	222	40.4%
合計	550	100.0%



問2-11 【問2-10で、「1. 購入している」または「2. 購入していないが、今後は購入してみたい」を選んだ方にお伺いします。】有機農業により生産された農産物を購入している（してみたい）理由は何ですか。（複数回答）

	人数
価格が高くて、安全だと思うから	137
販売している店等が近くにある、または購入方法を知っているから	29
健康に良いと思うから	150
通常の栽培方法のものより、おいしい（栄養がある）と思うから	87
環境保全に貢献したいから	67
その他	4

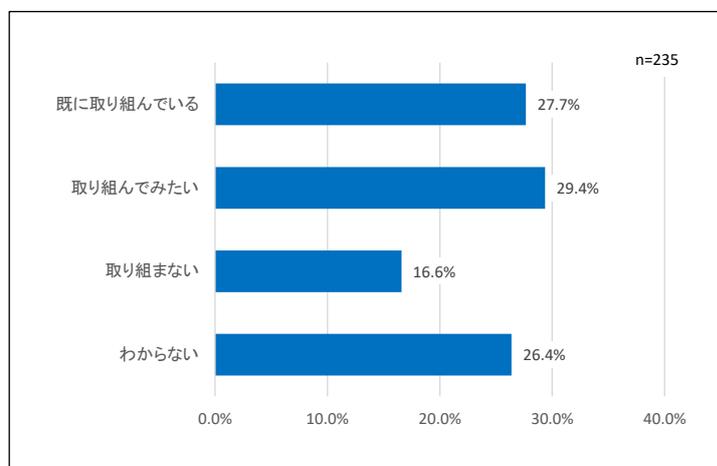


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	65～69歳	新鮮だから

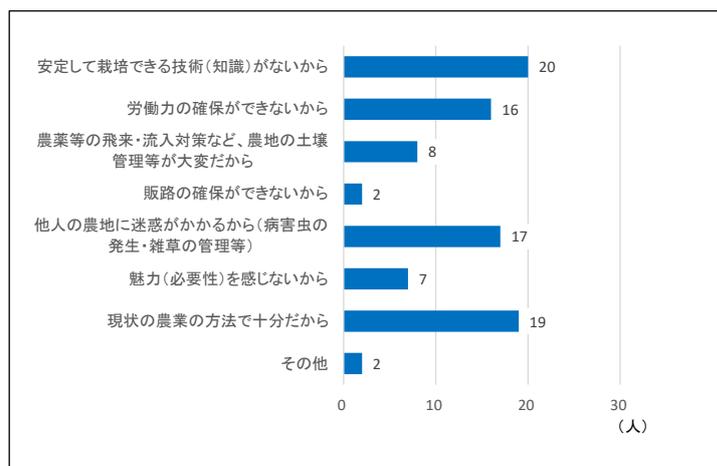
問2-12 【問2-9で、「1. 携わっている」を選んだ方にお伺いします。】あなたは今後、有機農業（有機農産物の栽培）に取り組んでみたいですか。

	人数	割合
既に取り組んでいる	65	27.7%
取り組んでみたい	69	29.4%
取り組まない	39	16.6%
わからない	62	26.4%
合計	235	100.0%



問2-13 【問2-12で、「3. 取り組まない」を選んだ方にお伺いします。】有機農業に取り組まない理由は何ですか。（複数回答）

	人数
安定して栽培できる技術（知識）がないから	20
労働力の確保ができないから	16
農薬等の飛来・流入対策など、農地の土壌管理等が大変だから	8
販路の確保ができないから	2
他人の農地に迷惑がかかるから（病虫害の発生・雑草の管理等）	17
魅力（必要性）を感じないから	7
現状の農業の方法で十分だから	19
その他	2



■ 「その他」の主な意見等

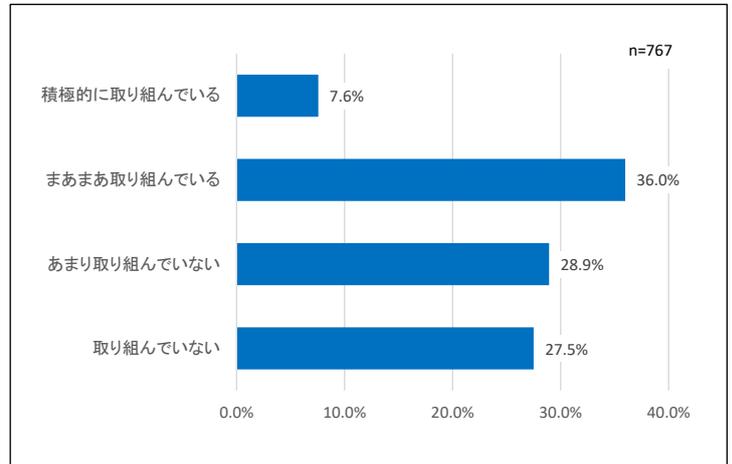
性別	年代	主な意見等
女性	18~24歳	暑い中草取り等をしたくないし、化学肥料の方がコントロールしやすい。兼業農家なので農業にそこまで時間と労力をつぎ込めない。味も変わらない気がする

4 「安全・安心で快適なまち」について（景観・防災・住環境などの分野）

●あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。

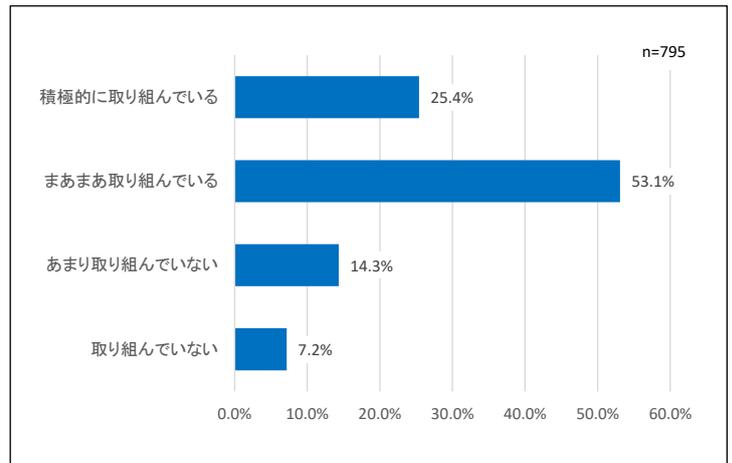
設問番号1 市街地の緑化や美化活動

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	58	7.6%
まあまあ取り組んでいる	276	36.0%
あまり取り組んでいない	222	28.9%
取り組んでいない	211	27.5%
合計	767	100.0%



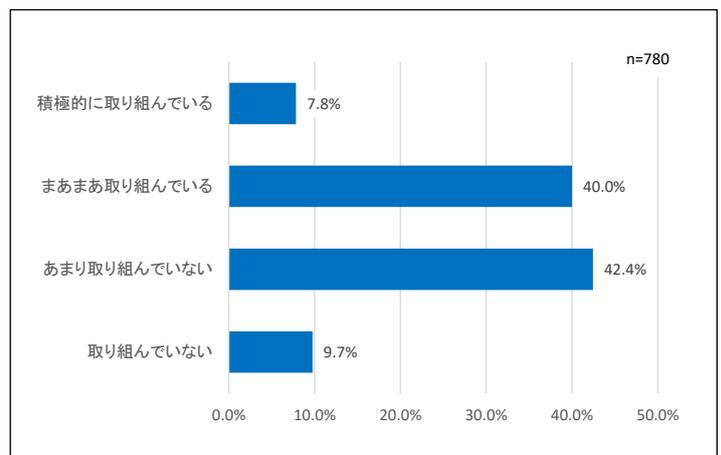
設問番号2 家のまわりの手入れを行うなど、美しい景観を守ること

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	202	25.4%
まあまあ取り組んでいる	422	53.1%
あまり取り組んでいない	114	14.3%
取り組んでいない	57	7.2%
合計	795	100.0%

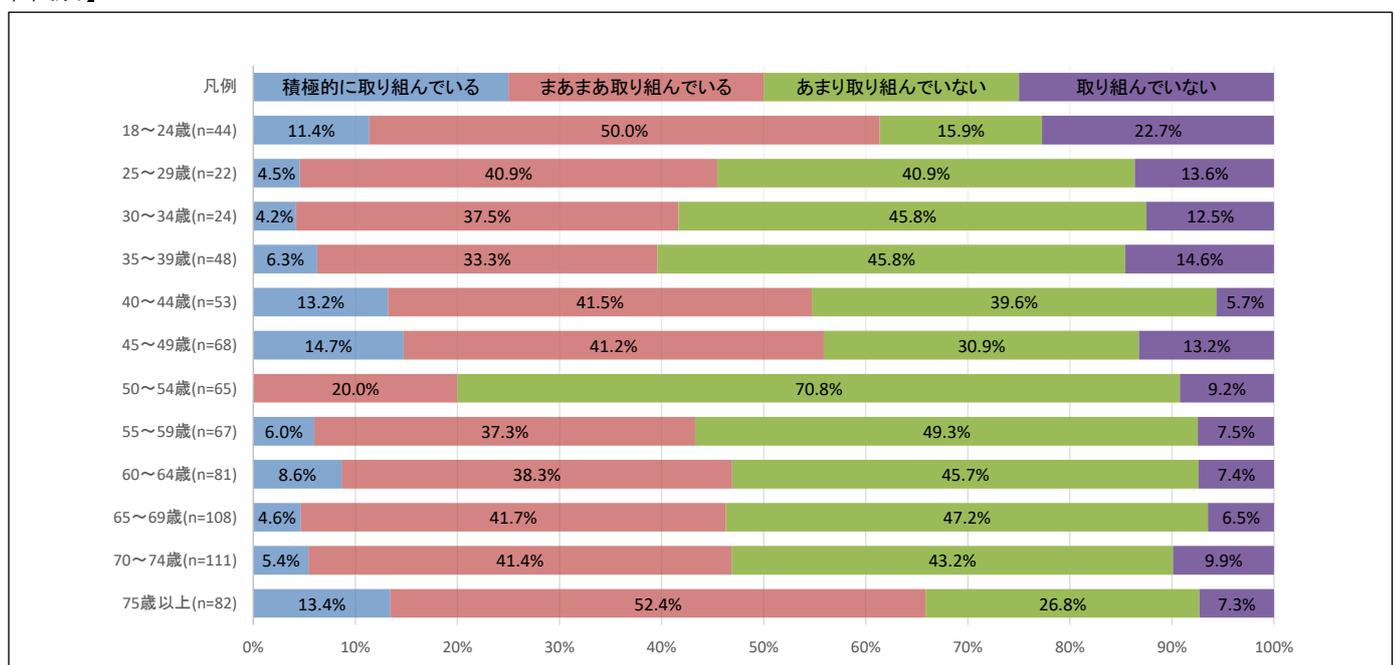


設問番号3 地震や台風などの災害への備え

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	61	7.8%
まあまあ取り組んでいる	312	40.0%
あまり取り組んでいない	331	42.4%
取り組んでいない	76	9.7%
合計	780	100.0%

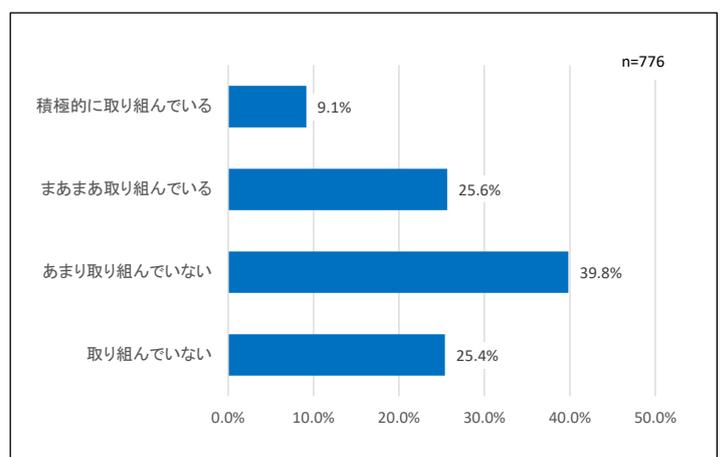


【年代別】

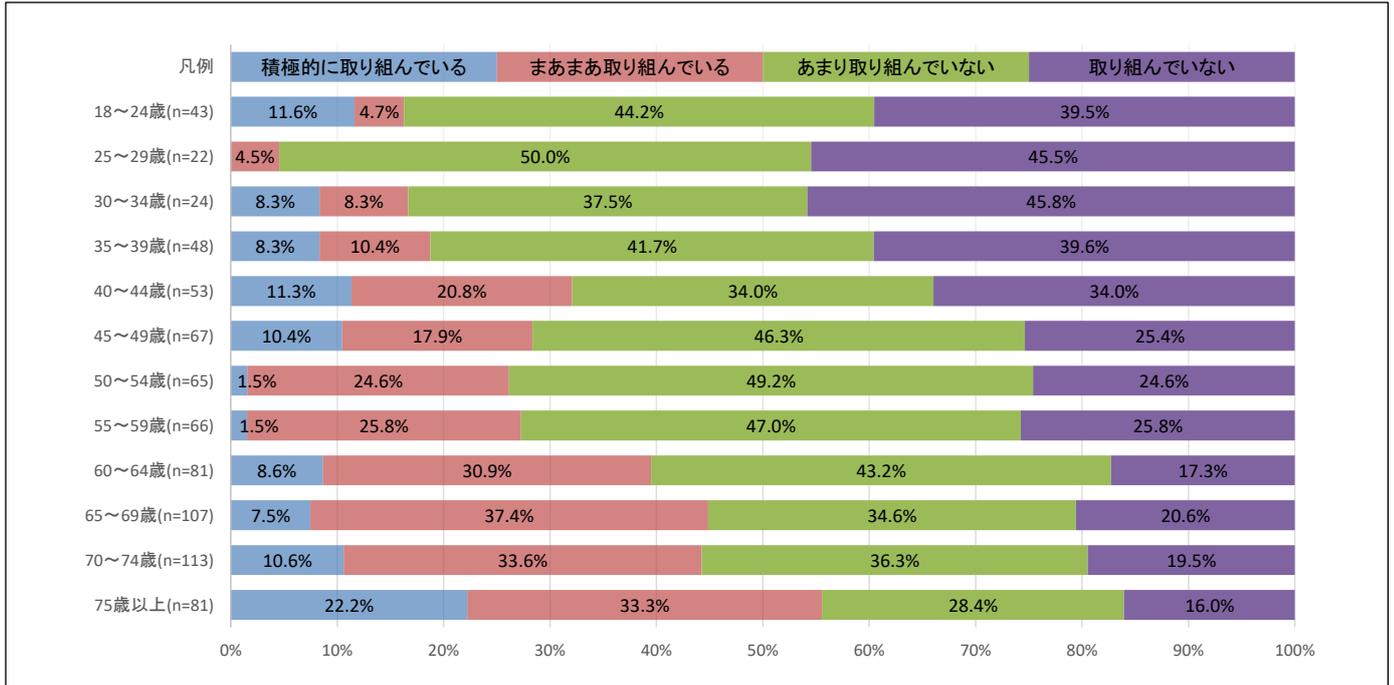


設問番号4 地域の自主的な防災活動への参加

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	71	9.1%
まあまあ取り組んでいる	199	25.6%
あまり取り組んでいない	309	39.8%
取り組んでいない	197	25.4%
合計	776	100.0%

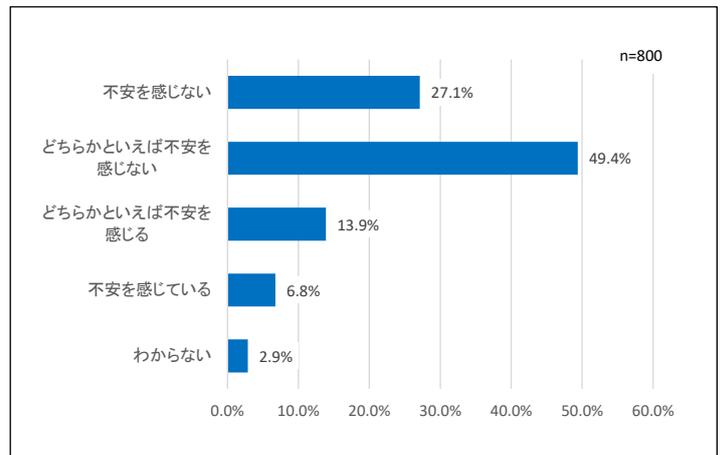


【年代別】



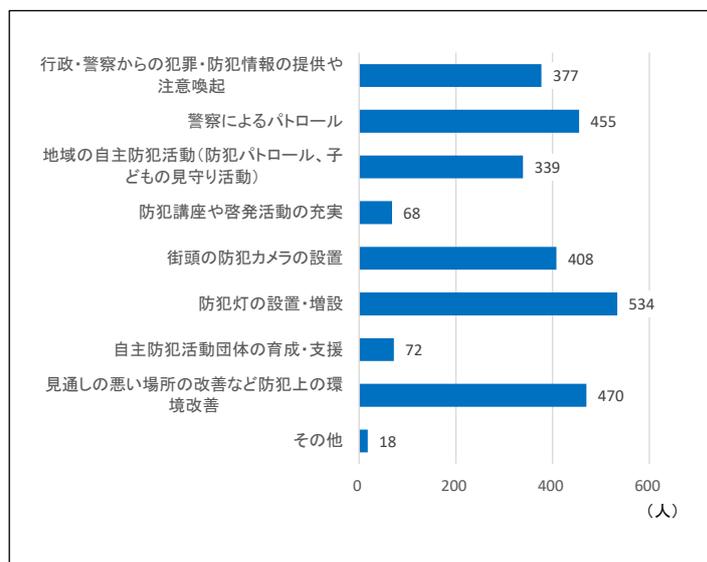
問3-5 あなたは、お住まいの地域の治安について、どう感じていますか。

	人数	割合
不安を感じない	217	27.1%
どちらかといえば不安を感じない	395	49.4%
どちらかといえば不安を感じる	111	13.9%
不安を感じている	54	6.8%
わからない	23	2.9%
合計	800	100.0%



問3-6 あなたは、犯罪のない安全・安心なまちづくりに必要なものは何だと思いますか。(複数回答)

	人数
行政・警察からの犯罪・防犯情報の提供や注意喚起	377
警察によるパトロール	455
地域の自主防犯活動(防犯パトロール、子どもの見守り活動)	339
防犯講座や啓発活動の充実	68
街頭の防犯カメラの設置	408
防犯灯の設置・増設	534
自主防犯活動団体の育成・支援	72
見通しの悪い場所の改善など防犯上の環境改善	470
その他	18



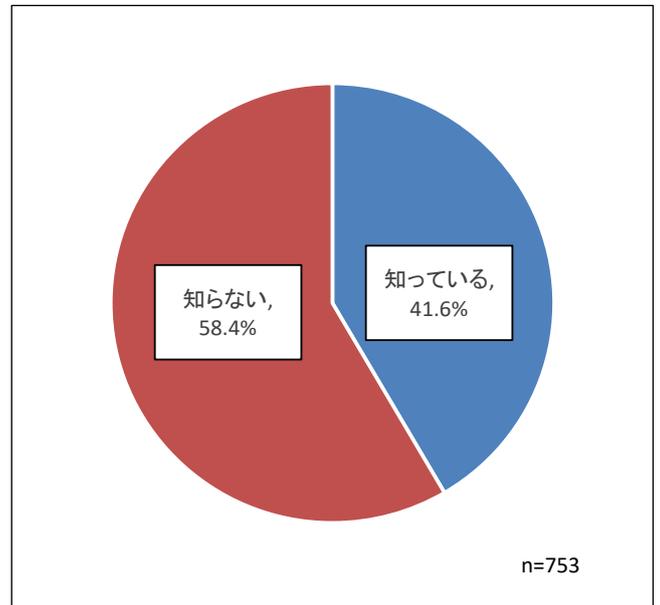
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	18～24歳	もっと多く街灯を設置する
男性	40～44歳	自己防衛の為の技術(護身術等)の無料講座の開催
女性	65～69歳	地域の交流を活性化させ、絆を深める
女性	40～44歳	街灯の数が少なく暗いので、もっと街灯を設置してほしい
女性	35～39歳	犯罪者を生まない社会の仕組み作り(再犯の防止)
女性	45～49歳	夜に無灯火で自転車に乗る人などが多く怖い。LEDの街灯を沢山つけてほしい
女性	35～39歳	空き家対策
女性	30～34歳	防犯に必要な物(防犯ブザー、反射ベルト等)の購入にあたり、一覧になったチラシが見たいので、そのようなチラシを配布してほしい

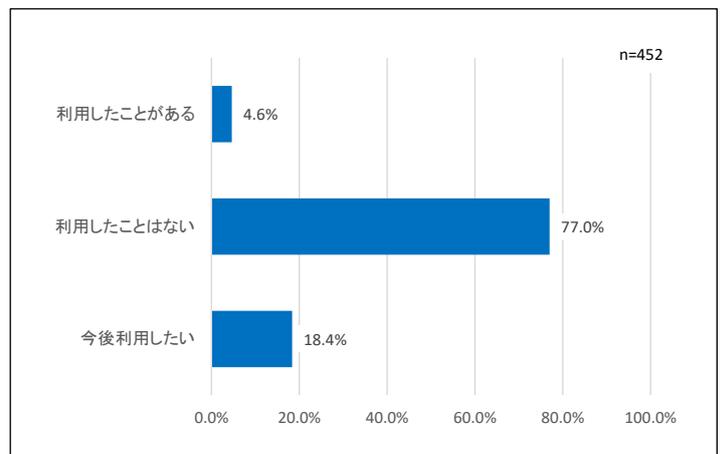
問3-7 あなたは、市で実施している住宅関係の助成制度について、知っていますか。
また、利用したことがありますか。

●住宅耐震改修促進事業

	人数	割合
知っている	313	41.6%
知らない	440	58.4%
合計	753	100.0%

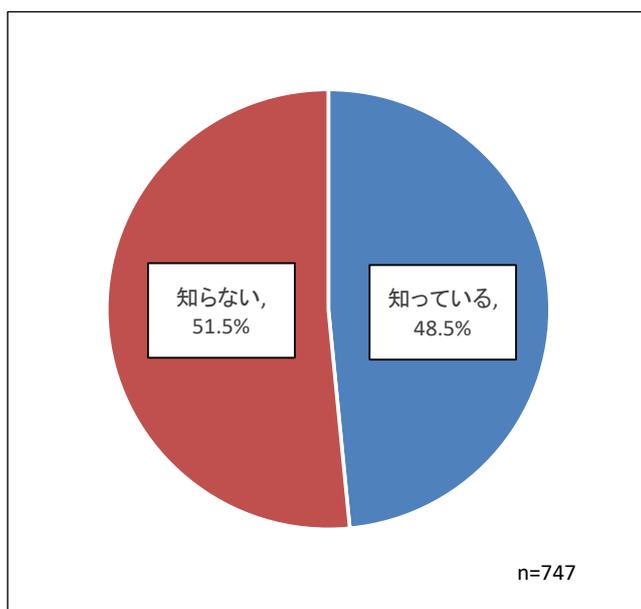


	人数	割合
利用したことがある	21	4.6%
利用したことはない	348	77.0%
今後利用したい	83	18.4%
合計	452	100.0%

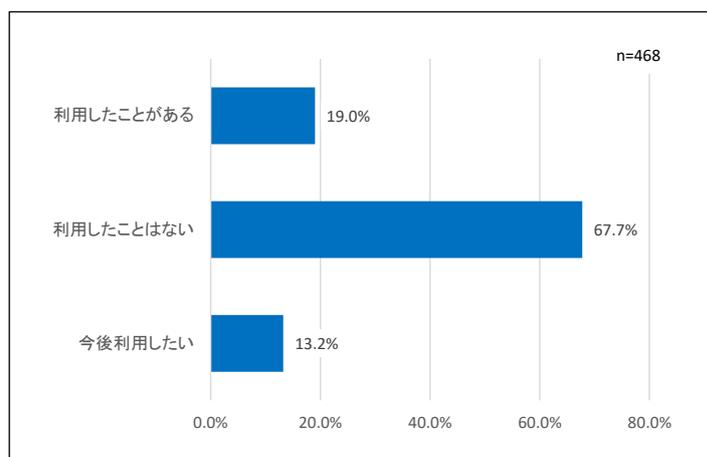


●住宅用太陽光発電システム設置補助金

	人数	割合
知っている	362	48.5%
知らない	385	51.5%
合計	747	100.0%

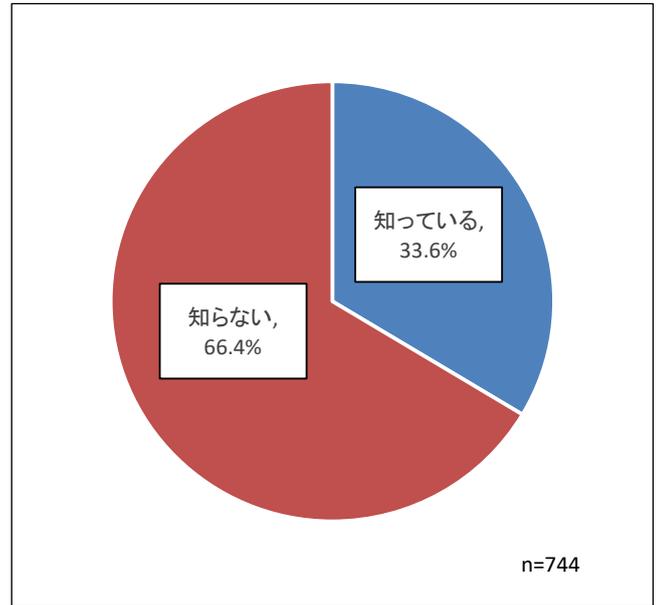


	人数	割合
利用したことがある	89	19.0%
利用したことはない	317	67.7%
今後利用したい	62	13.2%
合計	468	100.0%

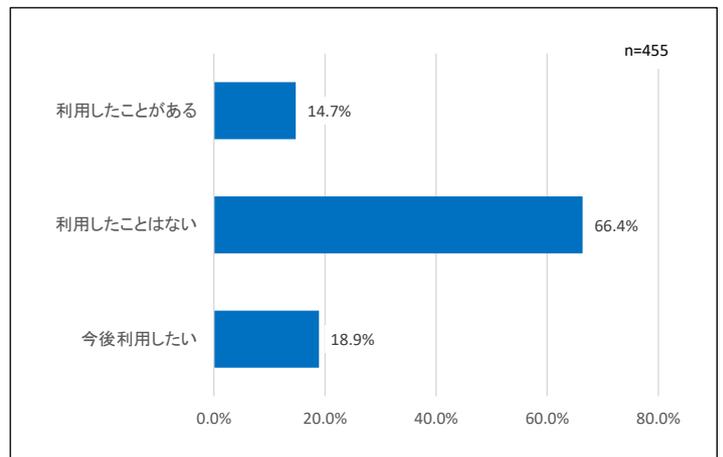


●緑化推進記念樹等交付

	人数	割合
知っている	250	33.6%
知らない	494	66.4%
合計	744	100.0%

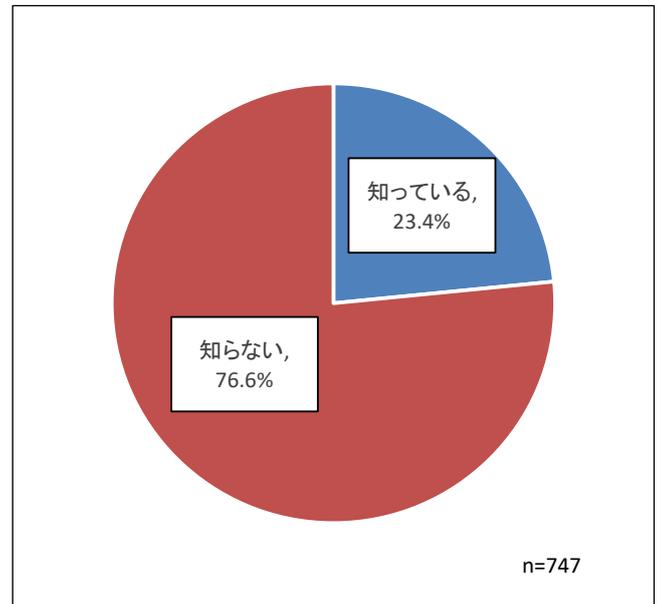


	人数	割合
利用したことがある	67	14.7%
利用したことはない	302	66.4%
今後利用したい	86	18.9%
合計	455	100.0%

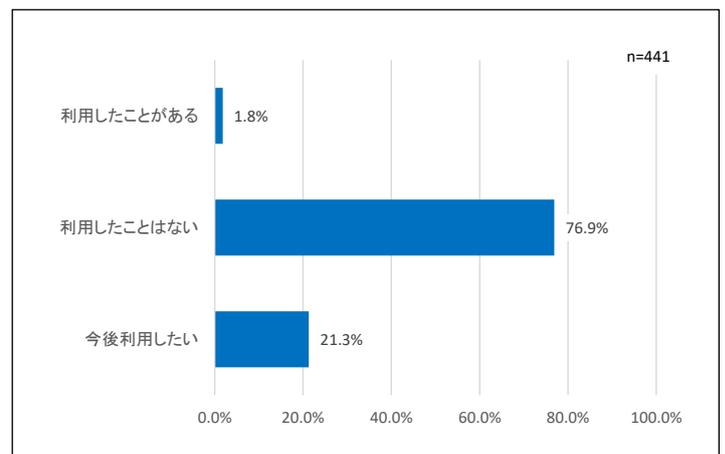


●生垣設置等補助金

	人数	割合
知っている	175	23.4%
知らない	572	76.6%
合計	747	100.0%

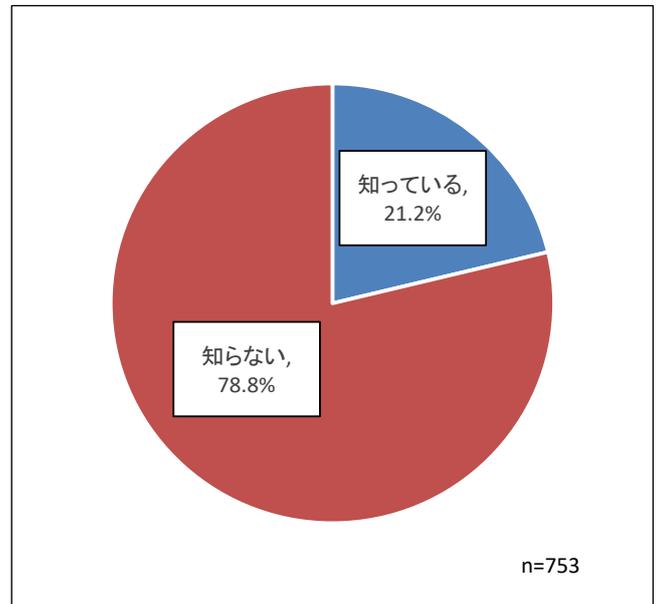


	人数	割合
利用したことがある	8	1.8%
利用したことはない	339	76.9%
今後利用したい	94	21.3%
合計	441	100.0%

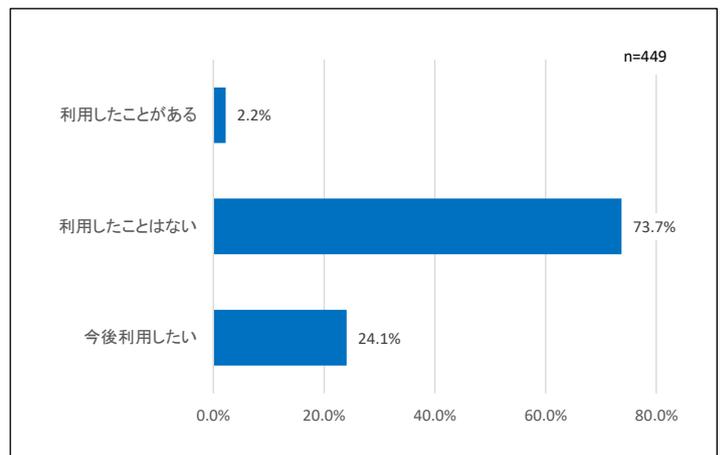


●住宅用雨水貯留施設設置補助金

	人数	割合
知っている	160	21.2%
知らない	593	78.8%
合計	753	100.0%

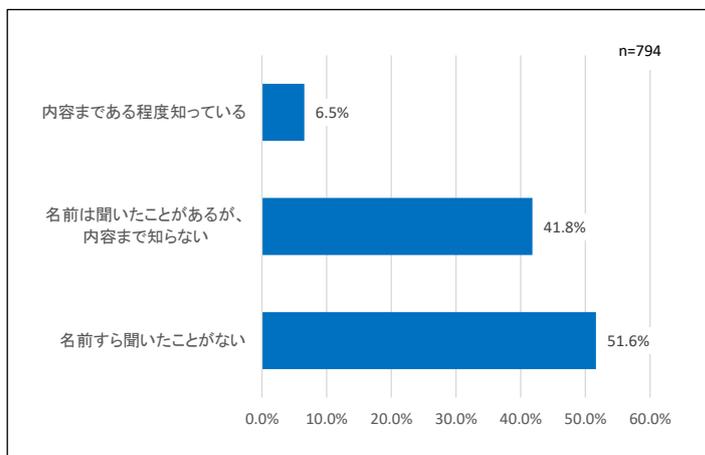


	人数	割合
利用したことがある	10	2.2%
利用したことはない	331	73.7%
今後利用したい	108	24.1%
合計	449	100.0%



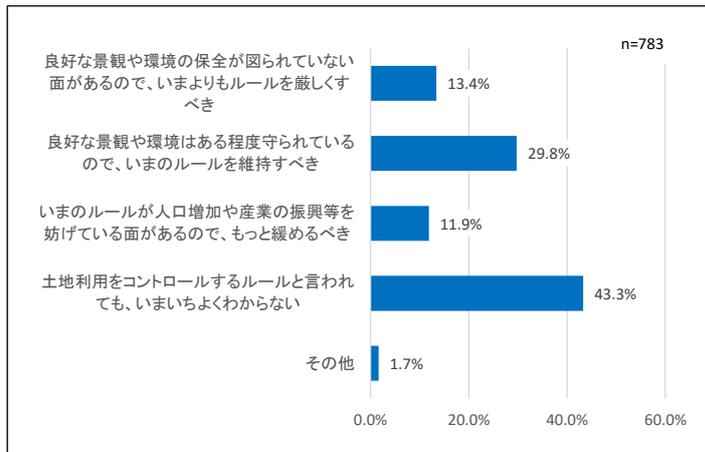
問3-8 あなたは、平成23年4月から施行されている「安曇野市の適正な土地利用に関する条例」や、それに基づく「安曇野市土地利用基本計画」を知っていますか。

	人数	割合
内容まである程度知っている	52	6.5%
名前は聞いたことがあるが、内容まで知らない	332	41.8%
名前すら聞いたことがない	410	51.6%
合計	794	100.0%



問3-9 安曇野市の土地利用をコントロールするルール（主に新たな開発等に対する規制）の現状と今後のあり方として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	人数	割合
良好な景観や環境の保全が図られていない面があるので、いまよりもルールを厳しくすべき	105	13.4%
良好な景観や環境はある程度守られているので、いまのルールを維持すべき	233	29.8%
いまのルールが人口増加や産業の振興等を妨げている面があるので、もっと緩めるべき	93	11.9%
土地利用をコントロールするルールと言われても、いまいよくわからない	339	43.3%
その他	13	1.7%
合計	783	100.0%



■ 「その他」の主な意見等

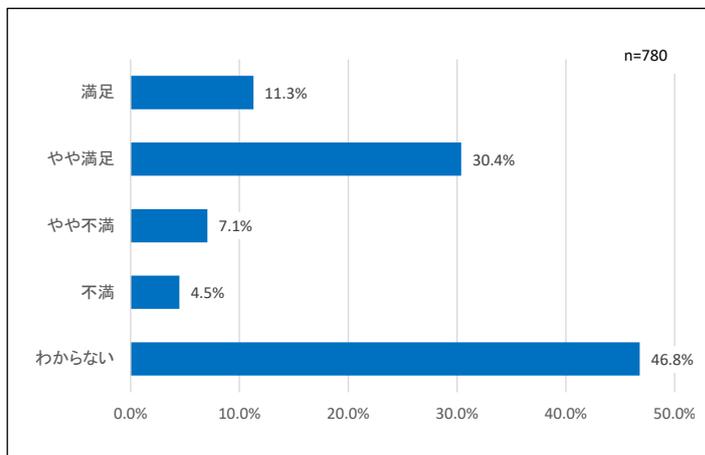
性別	年代	主な意見等
女性	70～74歳	自分の土地を自由にできないのは、どうかと思う
女性	50～54歳	商業施設が乱立している気がする。田園風景がこれ以上なくならないようにしてほしい
女性	45～49歳	観光区域と商業区域、生活区域の差別化がいまいよく見えないので考えてみてほしい
女性	70～74歳	個別案件ごとに考えるべき
女性	55～59歳	所有する田畑に規制がある。高齢化等に伴う維持管理の不安を解消してほしい

5 「学び合い 人と文化を育むまち」について（教育・生涯学習・交流活動などの分野）

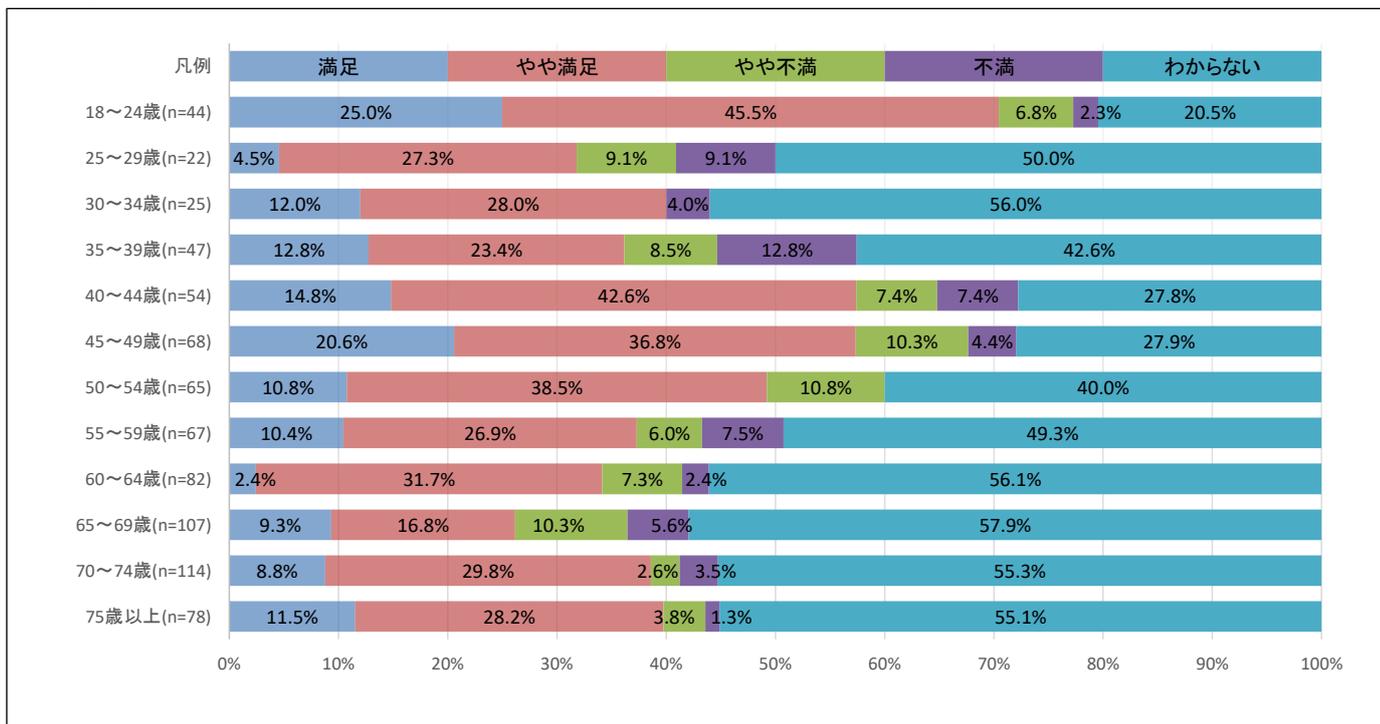
●あなたは、次の市の取組状況についてどのように感じていますか。

設問番号 1 小中学校での教育

	人数	割合
満足	88	11.3%
やや満足	237	30.4%
やや不満	55	7.1%
不満	35	4.5%
わからない	365	46.8%
合計	780	100.0%

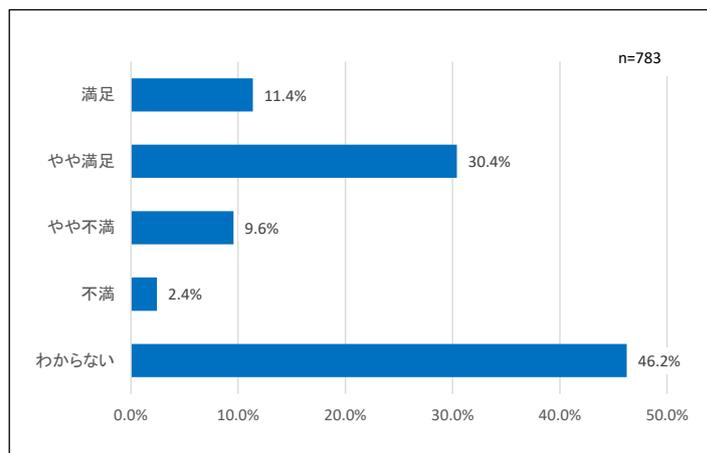


【年代別】

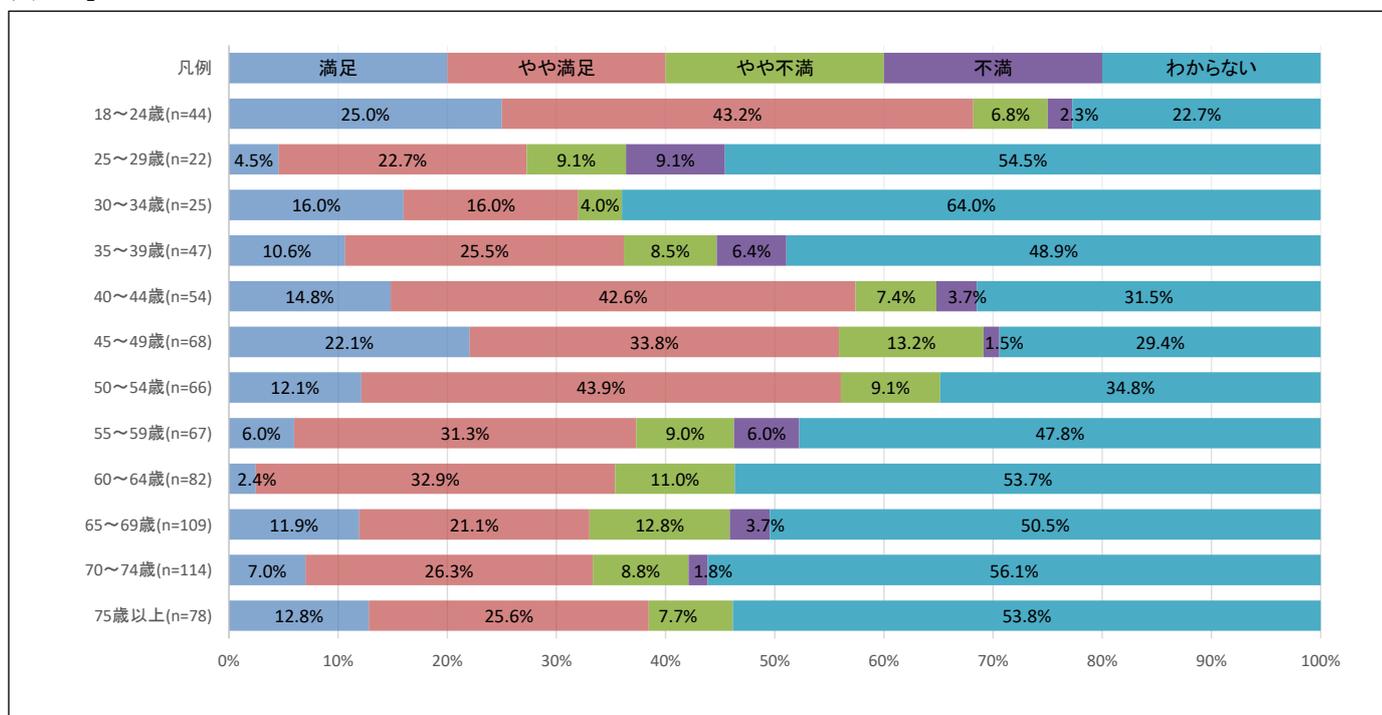


設問番号 2 小中学校と地域の連携

	人数	割合
満足	89	11.4%
やや満足	238	30.4%
やや不満	75	9.6%
不満	19	2.4%
わからない	362	46.2%
合計	783	100.0%

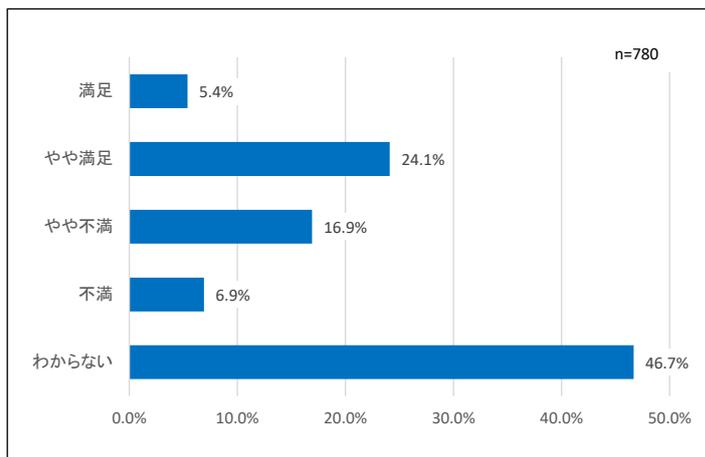


【年代別】

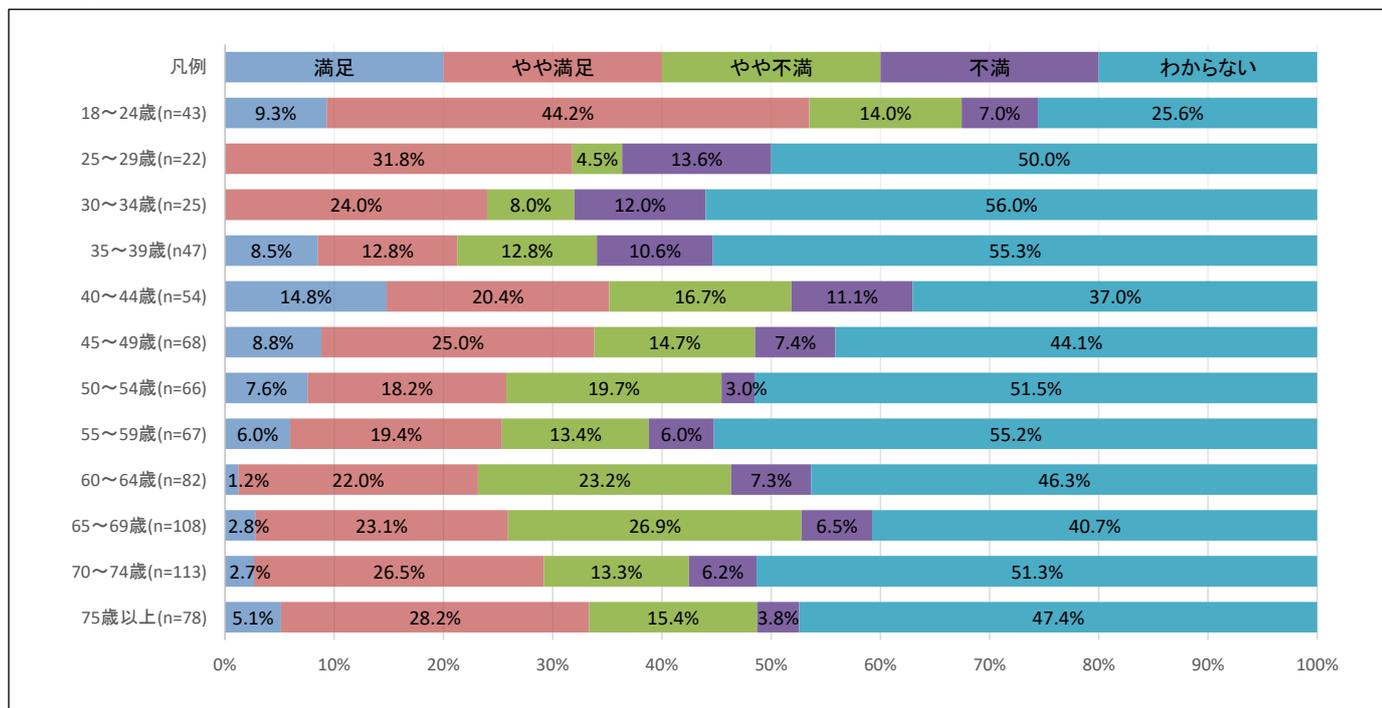


設問番号 3 年代に関わらない、学びの機会の提供

	人数	割合
満足	42	5.4%
やや満足	188	24.1%
やや不満	132	16.9%
不満	54	6.9%
わからない	364	46.7%
合計	780	100.0%

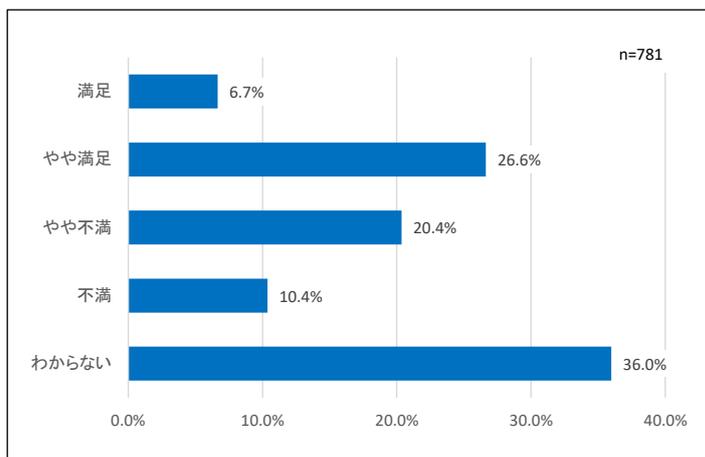


【年代別】



設問番号 4 スポーツを楽しめる環境

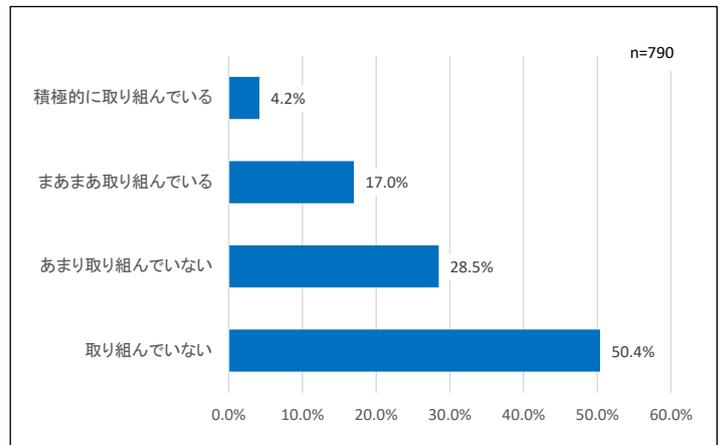
	人数	割合
満足	52	6.7%
やや満足	208	26.6%
やや不満	159	20.4%
不満	81	10.4%
わからない	281	36.0%
合計	781	100.0%



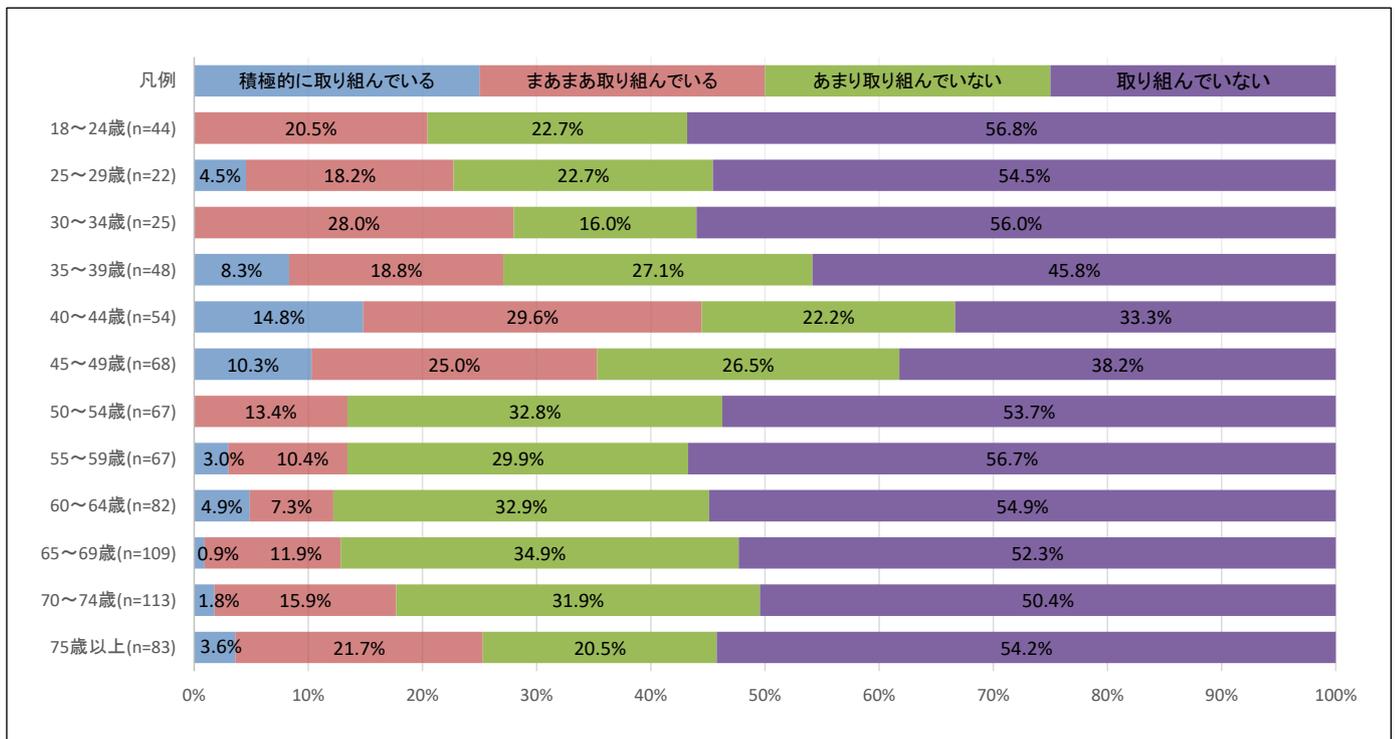
●あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。

設問番号 5 地域の子どもの健全育成

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	33	4.2%
まあまあ取り組んでいる	134	17.0%
あまり取り組んでいない	225	28.5%
取り組んでいない	398	50.4%
合計	790	100.0%

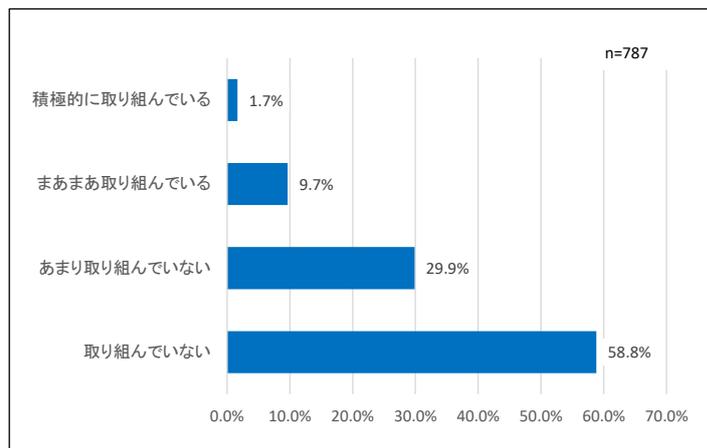


【年代別】

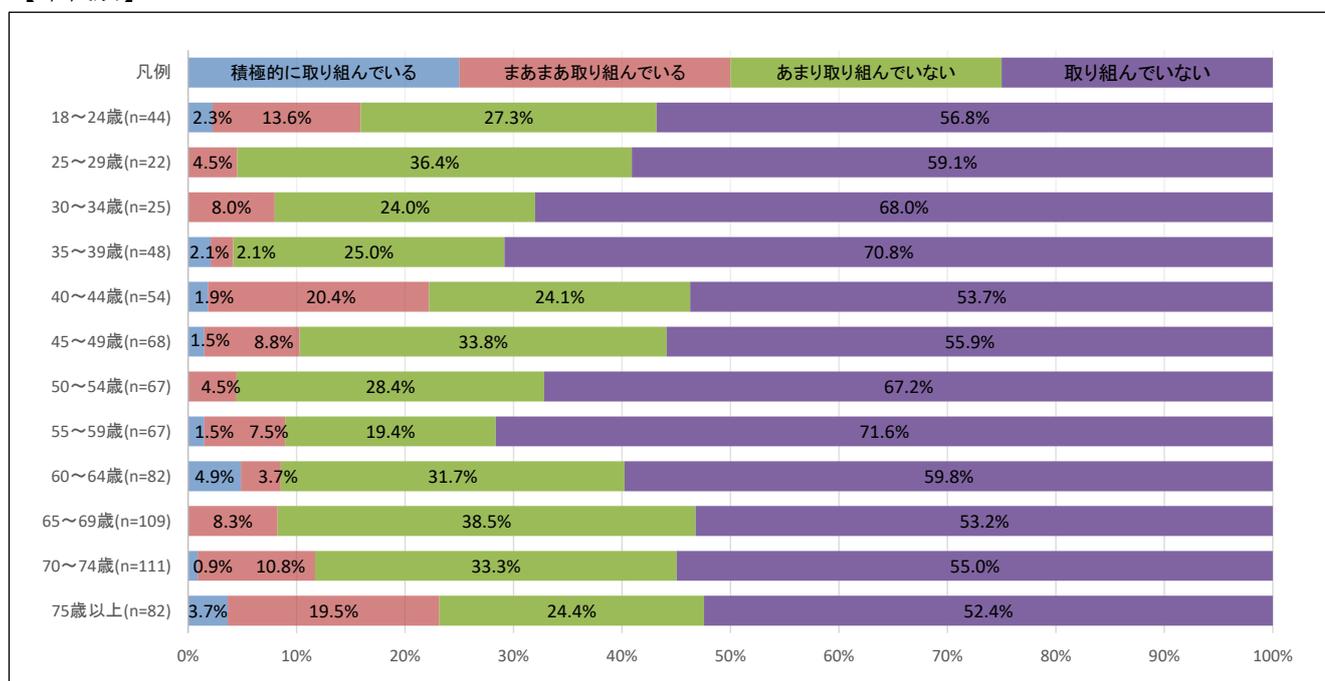


設問番号 6 公民館などで学んだ知識の地域づくりへの還元

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	13	1.7%
まあまあ取り組んでいる	76	9.7%
あまり取り組んでいない	235	29.9%
取り組んでいない	463	58.8%
合計	787	100.0%

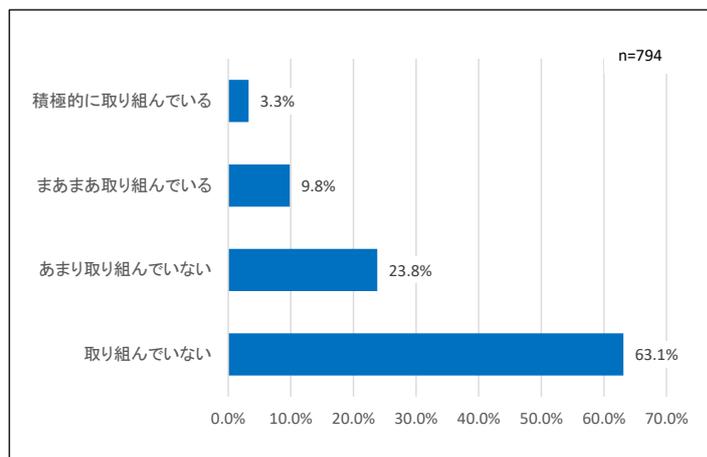


【年代別】

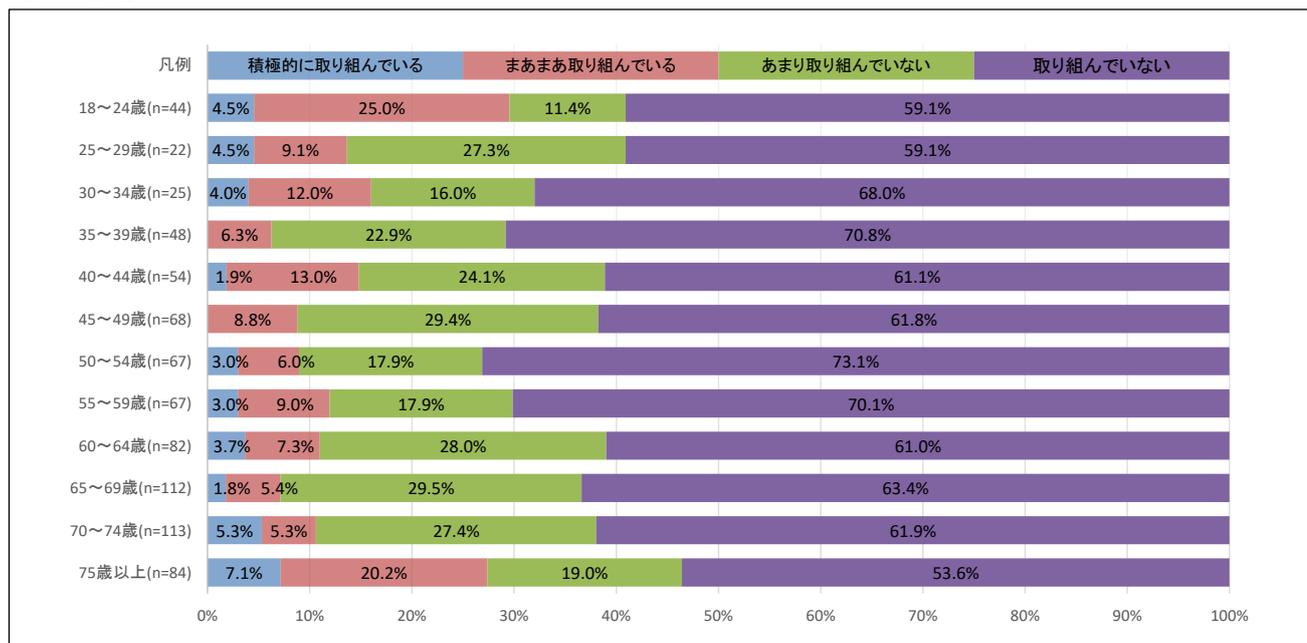


設問番号 7 生涯学習への取組（過去5年間）

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	26	3.3%
まあまあ取り組んでいる	78	9.8%
あまり取り組んでいない	189	23.8%
取り組んでいない	501	63.1%
合計	794	100.0%

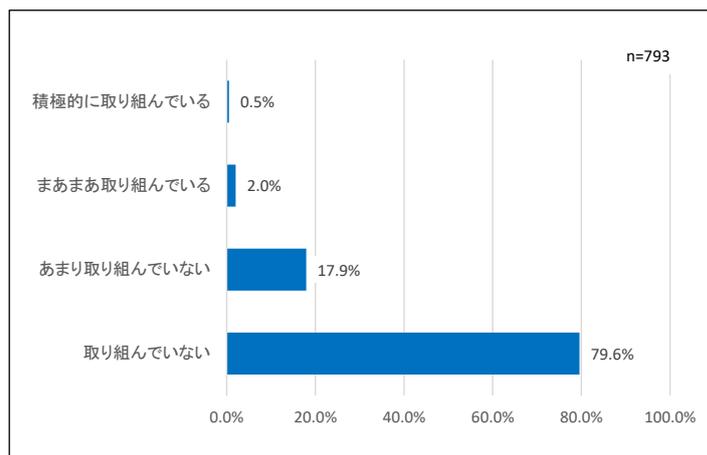


【年代別】

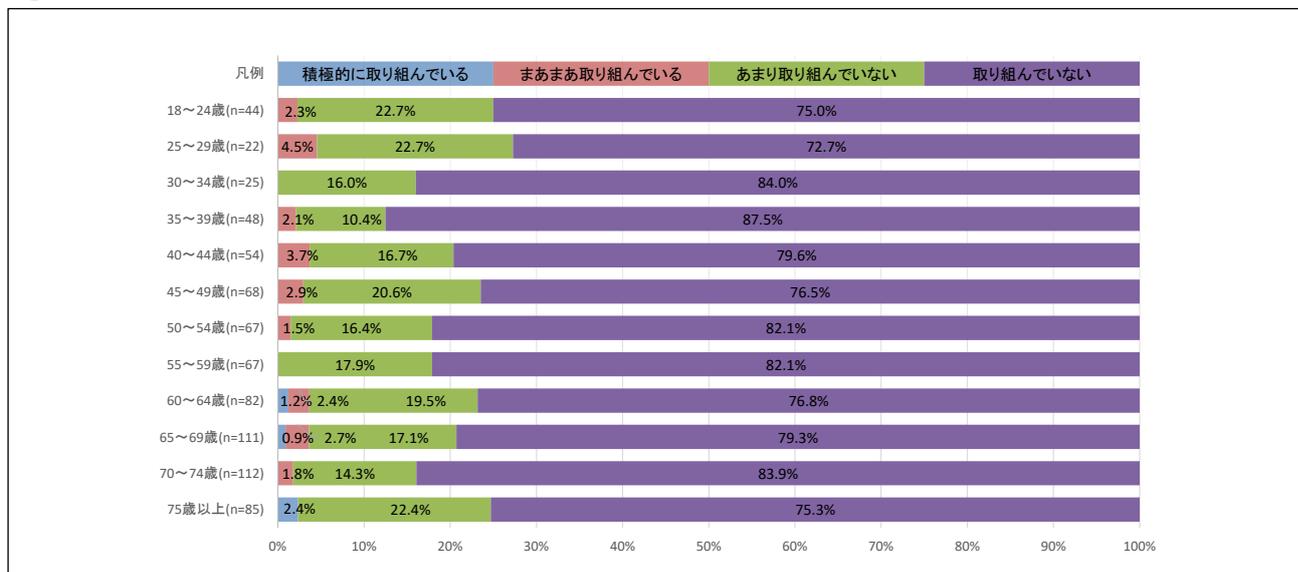


設問番号8 国際交流イベントへの参加

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	4	0.5%
まあまあ取り組んでいる	16	2.0%
あまり取り組んでいない	142	17.9%
取り組んでいない	631	79.6%
合計	793	100.0%

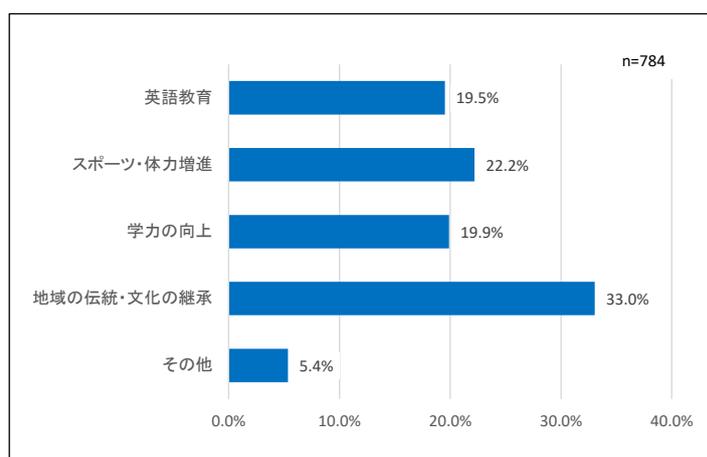


【年代別】



問４－９ あなたは、特色ある学校づくりのため、市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

	人数	割合
英語教育	153	19.5%
スポーツ・体力増進	174	22.2%
学力の向上	156	19.9%
地域の伝統・文化の継承	259	33.0%
その他	42	5.4%
合計	784	100.0%

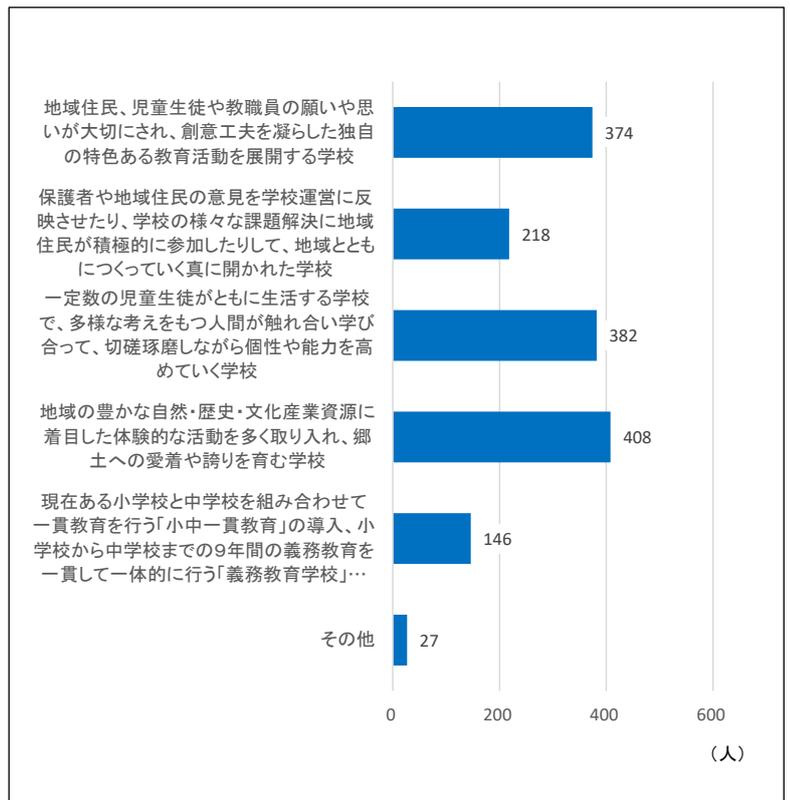


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	55～59歳	いじめの根絶
女性	45～49歳	デジタル化の推進
女性	25～29歳	個人の特技や得意な事を伸ばせる教育
女性	18～24歳	部活動の強化
男性	30～34歳	お金にまつわること（株、資産運用等）
男性	40～44歳	対人関係のあり方、コミュニケーション能力
男性	35～39歳	他県や他国の学校との交流
女性	60～64歳	人間性（心）を育てること
男性	40～44歳	倫理や道徳についての学習
女性	75歳以上	特になし
男性	70～74歳	食育、地産地消の推進と学校内給食の推進
女性	45～49歳	好きな点を伸ばして弱点を補えるようにしていく教育
男性	70～74歳	特色ある学校ではなく、全てに力を入れるべき
女性	65～69歳	礼儀、作法、サバイバル法
女性	65～69歳	ボランティアへの取組
男性	65～69歳	読書量を増やす
女性	25～29歳	子ども主体の学習、授業
女性	65～69歳	一人ひとりを大事にする教育
女性	35～39歳	プログラミング教育
男性	65～69歳	地域を知る活動
女性	65～69歳	学校給食の充実と地産地消
男性	45～49歳	ICTの積極的な導入
女性	40～44歳	子どもの自己肯定感が向上するような取組
女性	55～59歳	一番は安全で楽しく過ごせること。それが特色となれば良い
女性	35～39歳	児童、生徒の個性を伸ばす教育

問 4-10 あなたが期待するこれからの安曇野市の小中学校の姿はどれですか。(複数回答)

	人数
地域住民、児童生徒や教職員の願いや思いが大切にされ、創意工夫を凝らした独自の特色ある教育活動を展開する学校	374
保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させたり、学校の様々な課題解決に地域住民が積極的に参加したりして、地域とともにつくっていく真に開かれた学校	218
一定数の児童生徒がともに生活する学校で、多様な考えをもつ人間が触れ合い学び合っ、切磋琢磨しながら個性や能力を高めていく学校	382
地域の豊かな自然・歴史・文化産業資源に着目した体験的な活動を多く取り入れ、郷土への愛着や誇りを育む学校	408
現在ある小学校と中学校を組み合わせ一貫教育を行う「小中一貫教育」の導入、小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して一体的に行う「義務教育学校」の創設など、学校(区)ごとに理念や方針を明確にした魅力ある学校	146
その他	27

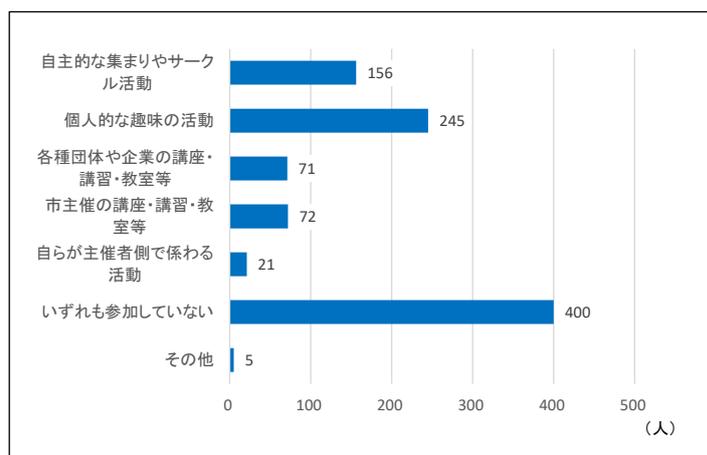


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	70～74歳	学校の中で、子どもたちが関わって学び合う学校づくり
男性	50～54歳	いじめのない学校
女性	50～54歳	一人でも多くの子どもが笑顔で学校に通える家庭環境と学校環境
男性	70～74歳	給食センター方式をやめて校内給食として、特色のある食育をする
女性	35～39歳	小学校と中学校の交流が多くあると良い
女性	70～74歳	学校は小規模で自宅から近いのがよい。統廃合には反対
女性	65～69歳	今のままで良い
男性	45～49歳	異文化交流の積極的推進(交換留学等)

問4-11 あなたは、生涯学習としてどんなものに参加していますか。(複数回答)

	人数
自主的な集まりやサークル活動	156
個人的な趣味の活動	245
各種団体や企業の講座・講習・教室等	71
市主催の講座・講習・教室等	72
自らが主催者側で係わる活動	21
いずれも参加していない	400
その他	5



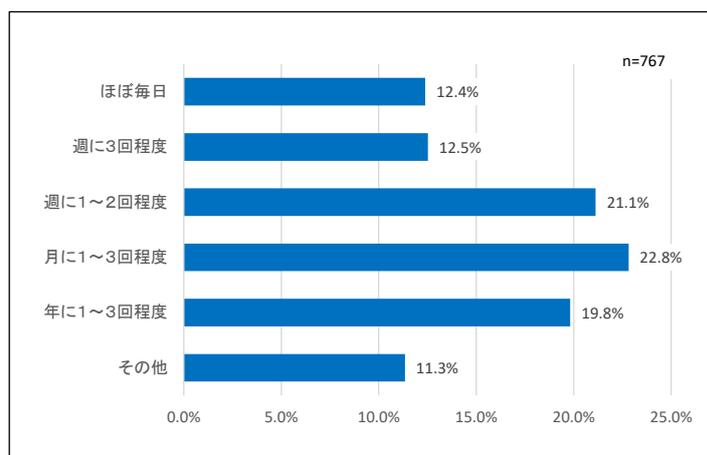
【年代別】

	回答者数 (人)	自主的な集まり やサークル活動	個人的な趣味の 活動	各種団体や企業 の講座・講習・ 教室等	市主催の講座・ 講習・教室等	自らが主催者側 で係わる活動	いずれも参加し ていない	その他
18～24歳	44	22.7%	25.0%	4.5%	9.1%	4.5%	47.7%	0.0%
25～29歳	22	22.7%	31.8%	0.0%	0.0%	4.5%	40.9%	4.5%
30～34歳	23	13.0%	30.4%	8.7%	0.0%	0.0%	60.9%	0.0%
35～39歳	48	22.9%	25.0%	4.2%	2.1%	0.0%	58.3%	0.0%
40～44歳	53	22.6%	24.5%	7.5%	5.7%	1.9%	58.5%	0.0%
45～49歳	66	9.1%	16.7%	10.6%	4.5%	1.5%	66.7%	0.0%
50～54歳	67	13.4%	23.9%	4.5%	10.4%	1.5%	61.2%	0.0%
55～59歳	66	10.6%	24.2%	4.5%	4.5%	3.0%	63.6%	0.0%
60～64歳	82	17.1%	32.9%	15.9%	15.9%	3.7%	48.8%	0.0%
65～69歳	110	26.4%	35.5%	8.2%	14.5%	1.8%	44.5%	0.0%
70～74歳	112	20.5%	42.0%	13.4%	10.7%	4.5%	42.9%	0.9%
75歳以上	82	31.7%	43.9%	12.2%	11.0%	3.7%	35.4%	3.7%

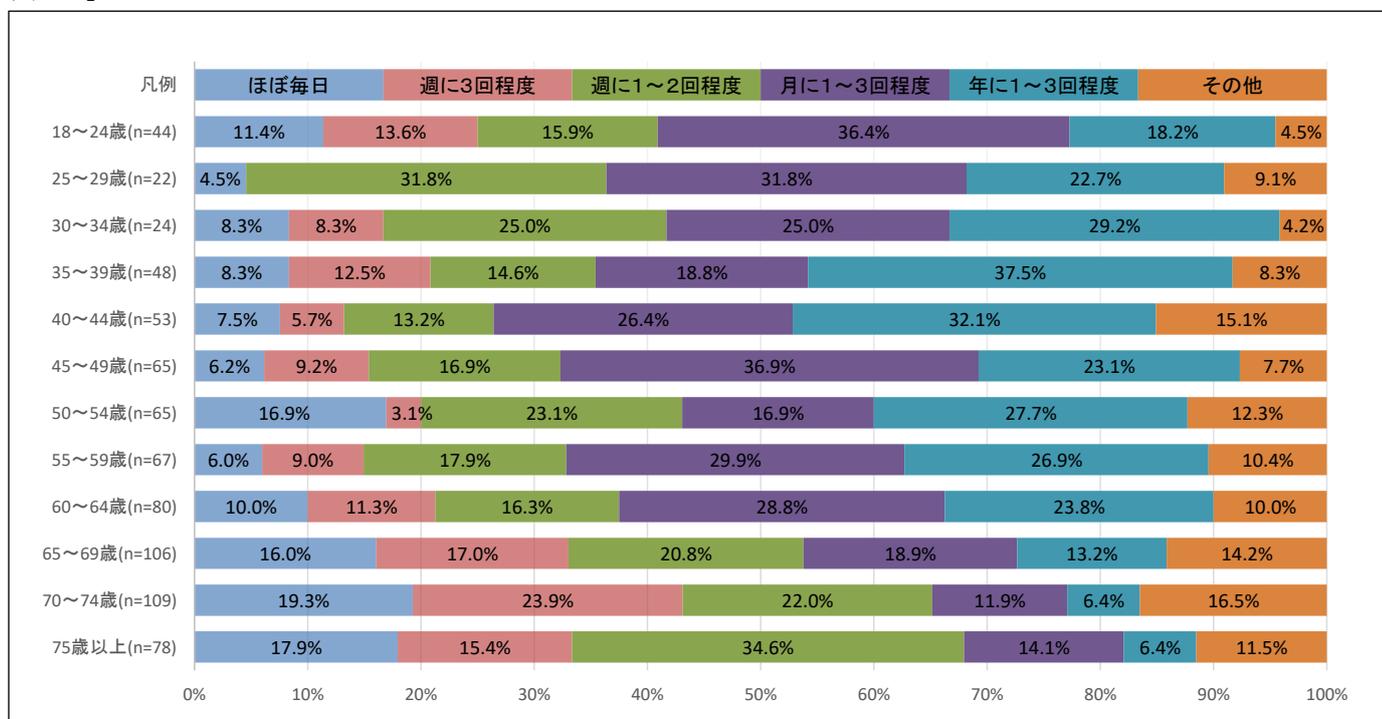
※回答者に占める割合

問4-12 あなたは、どの程度の頻度で運動・スポーツをしていますか。

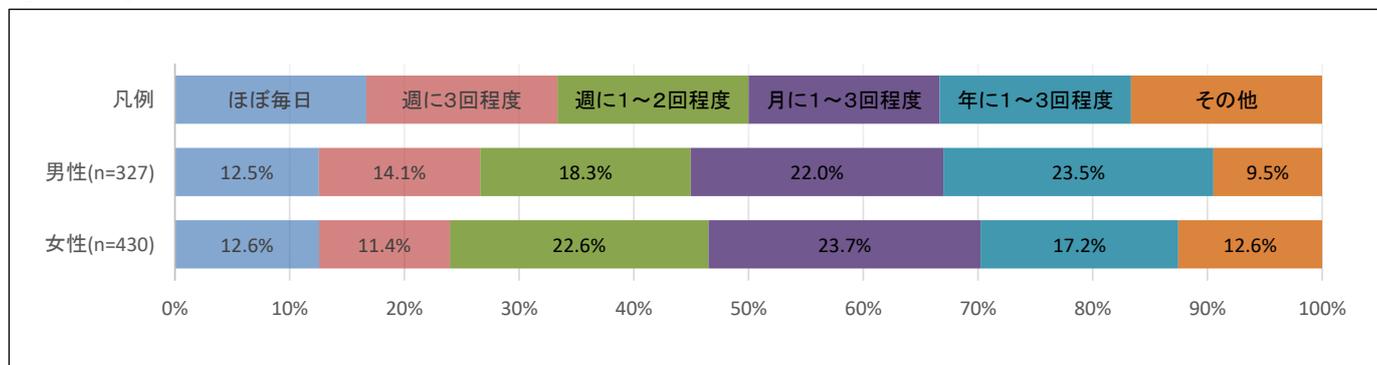
	人数	割合
ほぼ毎日	95	12.4%
週に3回程度	96	12.5%
週に1～2回程度	162	21.1%
月に1～3回程度	175	22.8%
年に1～3回程度	152	19.8%
その他	87	11.3%
合計	767	100.0%



【年代別】



【男女別】

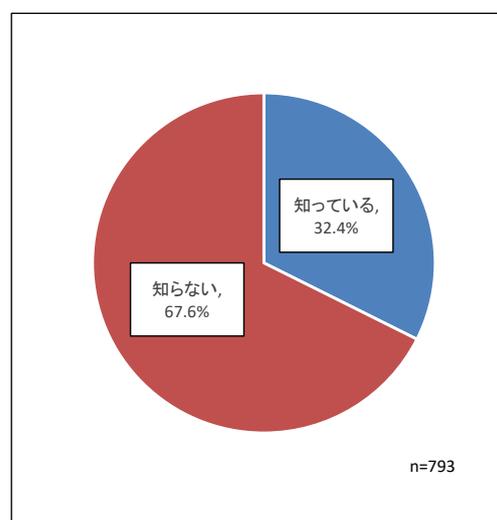


■ 「その他」の主な意見等

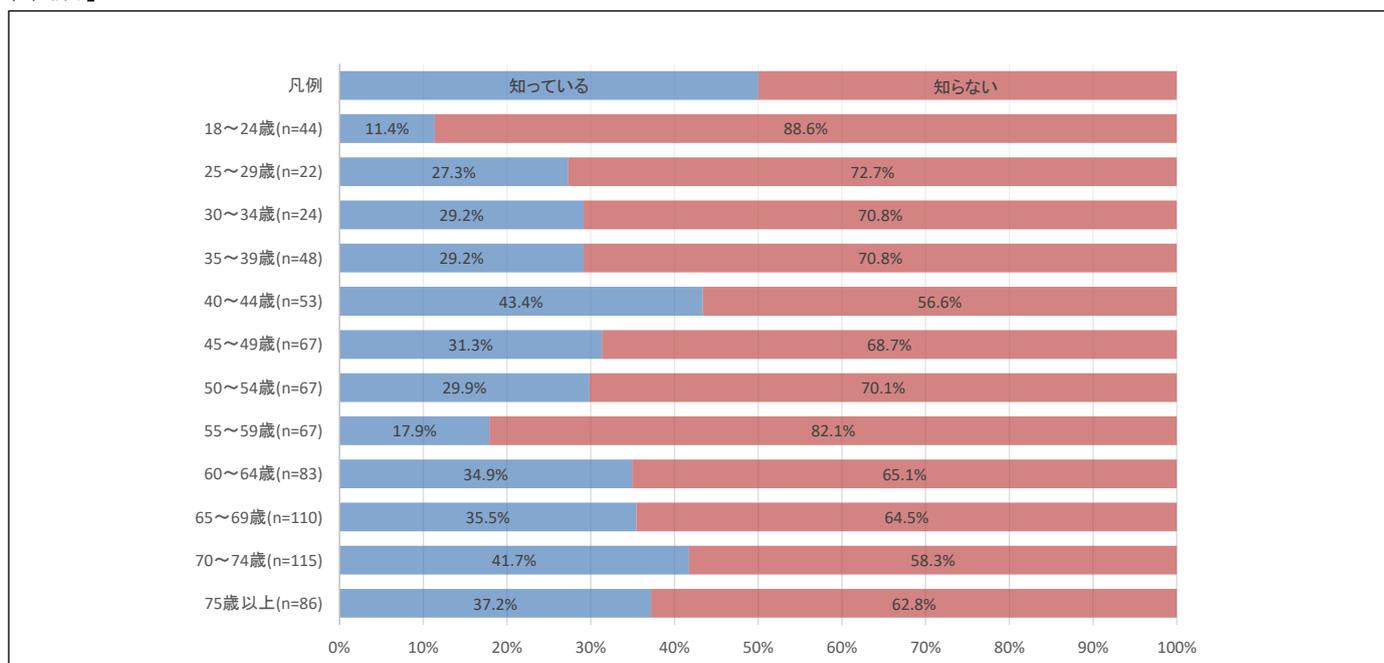
性別	年代	主な意見等
女性	65～69歳	全くしていない
女性	45～49歳	ほぼしていない
女性	65～69歳	ラジオ体操は毎日やっている
女性	40～44歳	子育て中でそれどころではない
女性	65～69歳	できる状態ではない
女性	65～69歳	散歩はしている
女性	50～54歳	ストレッチ程度であれば毎日行っている
女性	40～44歳	意識したことがない
男性	65～69歳	仕事で体を使っている
男性	65～69歳	冬は全くしていない。冬以外は週2～3回くらい

問4-13 あなたは、安曇野市が、東京2020オリンピック・パラリンピックでオーストリアのカヌーチームのホストタウンとなっていることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	257	32.4%
知らない	536	67.6%
合計	793	100.0%



【年代別】

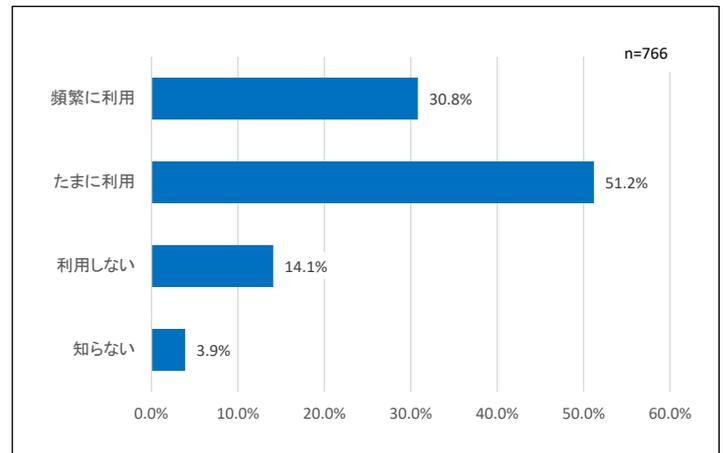


6 「広報・広聴」について

問5-1 あなたの市政情報の入手先として、それぞれの媒体をどの程度利用しているか教えてください。

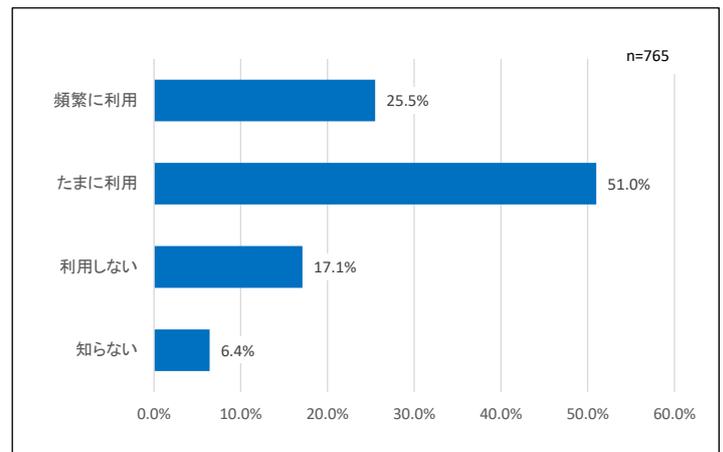
●市報（広報あつみの【通常版】）

	人数	割合
頻繁に利用	236	30.8%
たまに利用	392	51.2%
利用しない	108	14.1%
知らない	30	3.9%
合計	766	100.0%



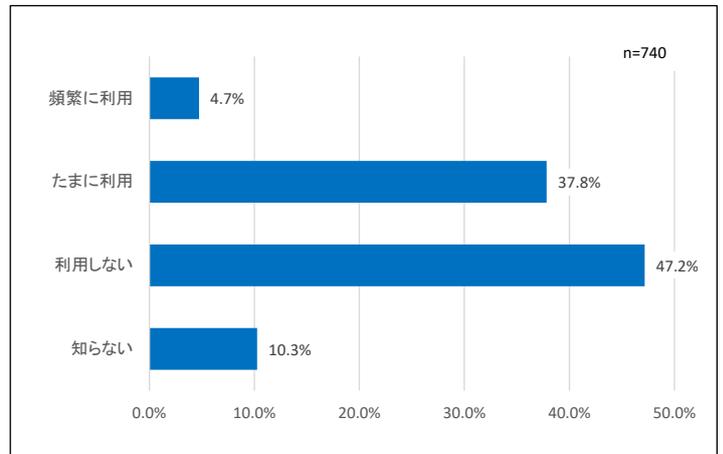
●市報（広報あつみの【お知らせ版】）

	人数	割合
頻繁に利用	195	25.5%
たまに利用	390	51.0%
利用しない	131	17.1%
知らない	49	6.4%
合計	765	100.0%



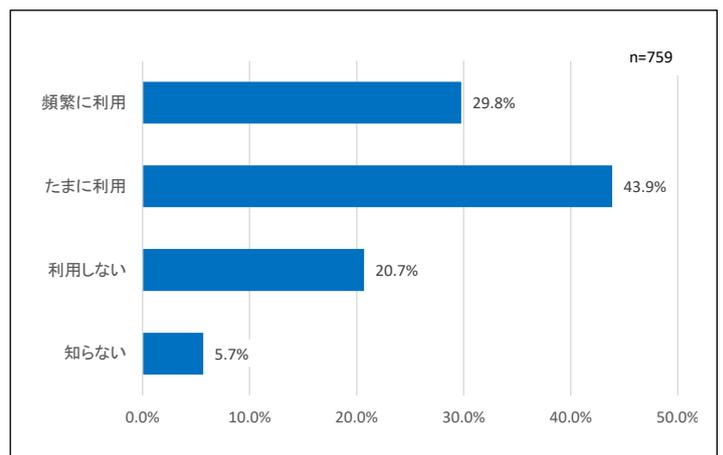
●市のホームページ

	人数	割合
頻繁に利用	35	4.7%
たまに利用	280	37.8%
利用しない	349	47.2%
知らない	76	10.3%
合計	740	100.0%



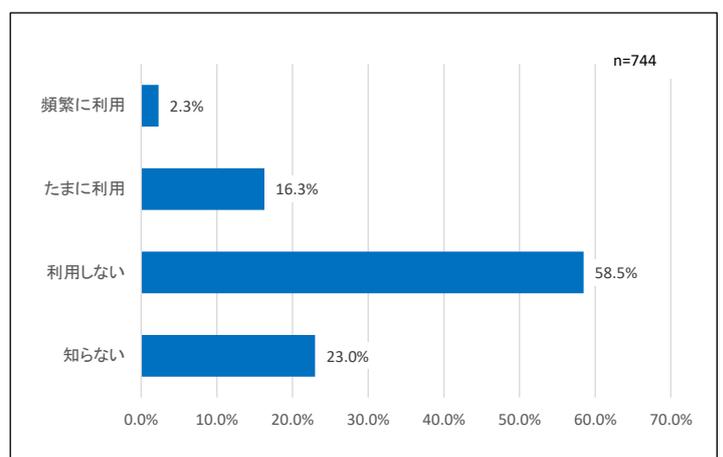
●区配布の回覧文書

	人数	割合
頻繁に利用	226	29.8%
たまに利用	333	43.9%
利用しない	157	20.7%
知らない	43	5.7%
合計	759	100.0%



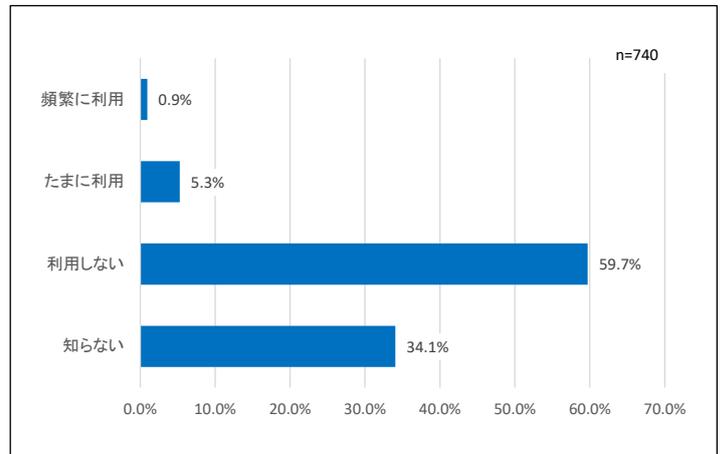
●市のラジオ番組（あづみ野エフエム）

	人数	割合
頻繁に利用	17	2.3%
たまに利用	121	16.3%
利用しない	435	58.5%
知らない	171	23.0%
合計	744	100.0%



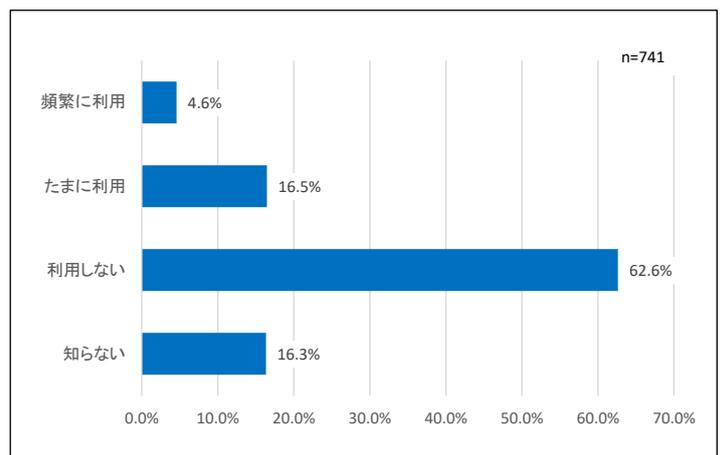
●市のツイッター

	人数	割合
頻繁に利用	7	0.9%
たまに利用	39	5.3%
利用しない	442	59.7%
知らない	252	34.1%
合計	740	100.0%



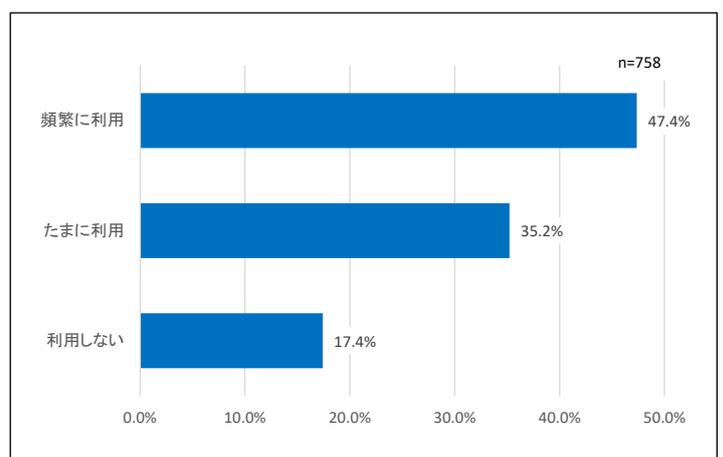
●あづみ野テレビ

	人数	割合
頻繁に利用	34	4.6%
たまに利用	122	16.5%
利用しない	464	62.6%
知らない	121	16.3%
合計	741	100.0%



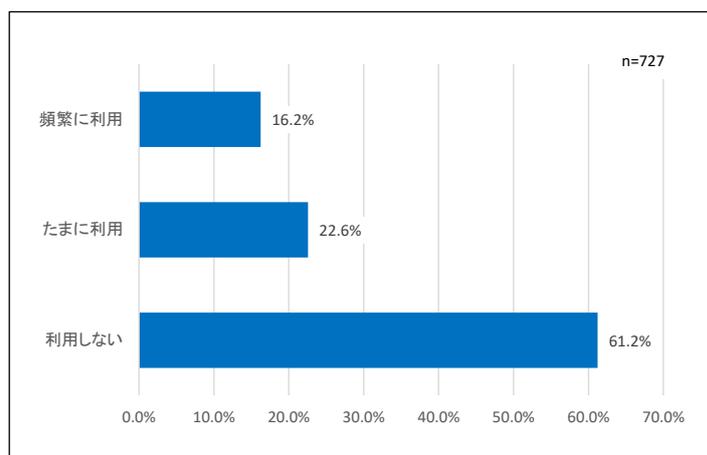
●一般の新聞・テレビ・ラジオ

	人数	割合
頻繁に利用	359	47.4%
たまに利用	267	35.2%
利用しない	132	17.4%
合計	758	100.0%



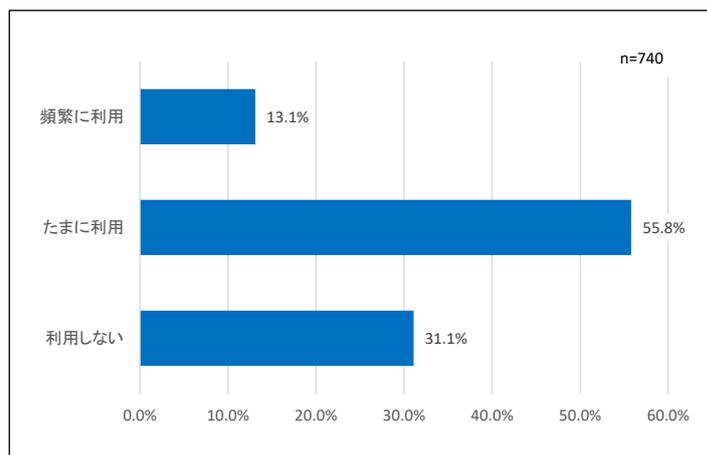
●一般のウェブサイト（ホームページ）

	人数	割合
頻繁に利用	118	16.2%
たまに利用	164	22.6%
利用しない	445	61.2%
合計	727	100.0%



●友人・家族からの口コミ

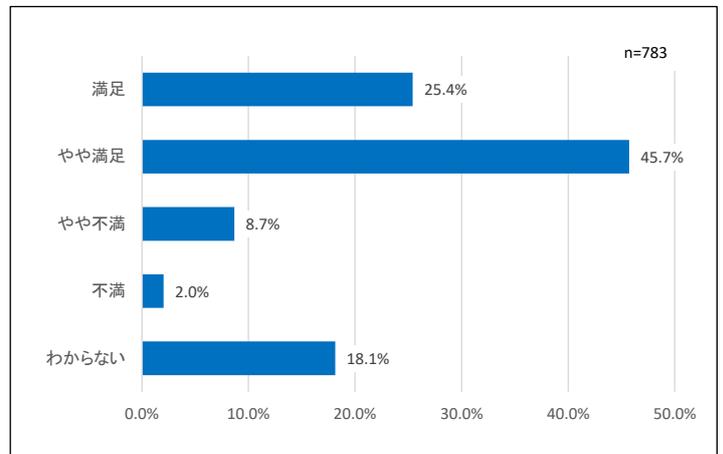
	人数	割合
頻繁に利用	97	13.1%
たまに利用	413	55.8%
利用しない	230	31.1%
合計	740	100.0%



問5-2 あなたの市の広報媒体の満足度を教えてください。

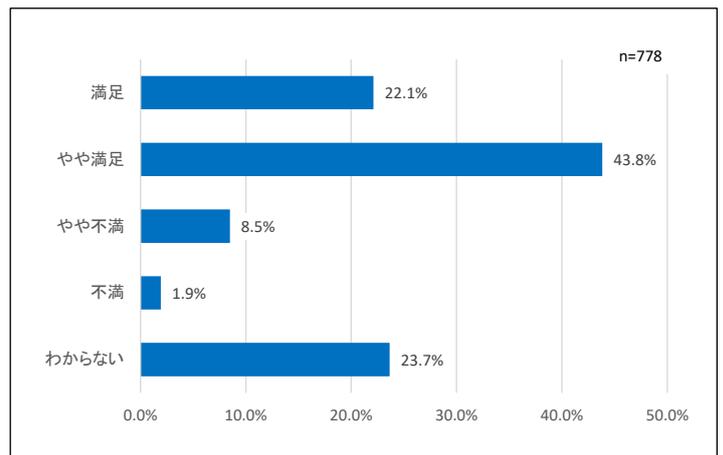
●市報（広報あつみの【通常版】）

	人数	割合
満足	199	25.4%
やや満足	358	45.7%
やや不満	68	8.7%
不満	16	2.0%
わからない	142	18.1%
合計	783	100.0%



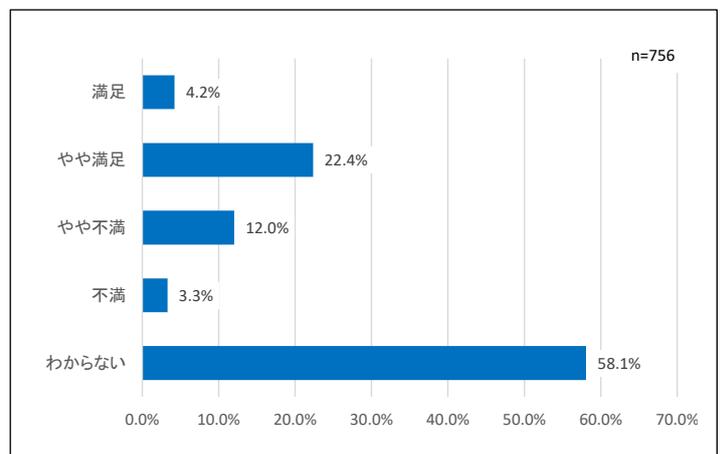
●市報（広報あつみの【お知らせ版】）

	人数	割合
満足	172	22.1%
やや満足	341	43.8%
やや不満	66	8.5%
不満	15	1.9%
わからない	184	23.7%
合計	778	100.0%



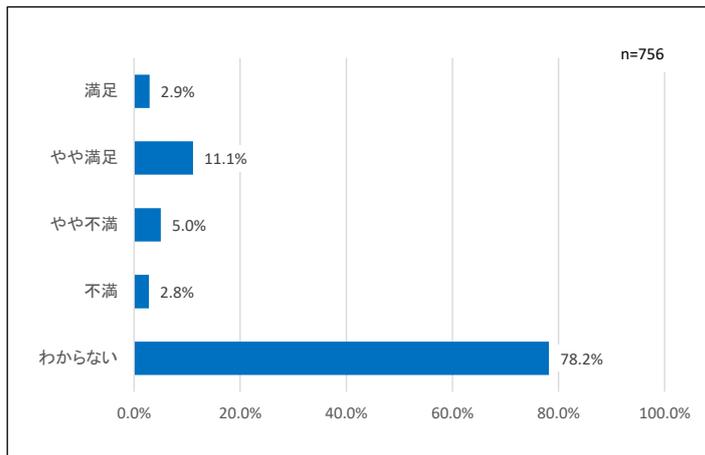
●市のホームページ

	人数	割合
満足	32	4.2%
やや満足	169	22.4%
やや不満	91	12.0%
不満	25	3.3%
わからない	439	58.1%
合計	756	100.0%



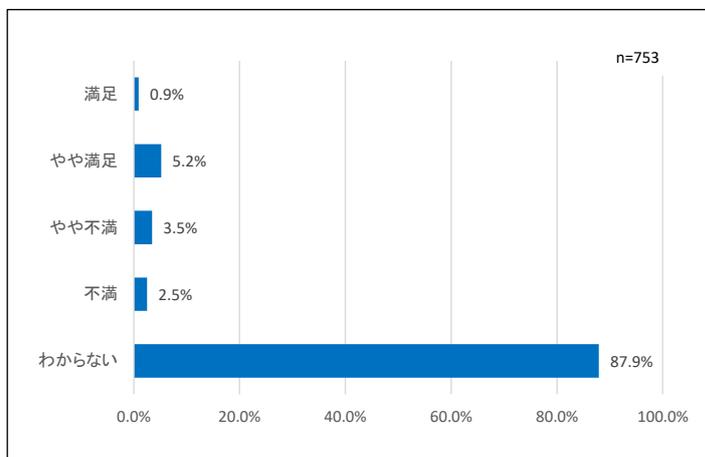
●市のラジオ番組（あづみ野エフエム）

	人数	割合
満足	22	2.9%
やや満足	84	11.1%
やや不満	38	5.0%
不満	21	2.8%
わからない	591	78.2%
合計	756	100.0%



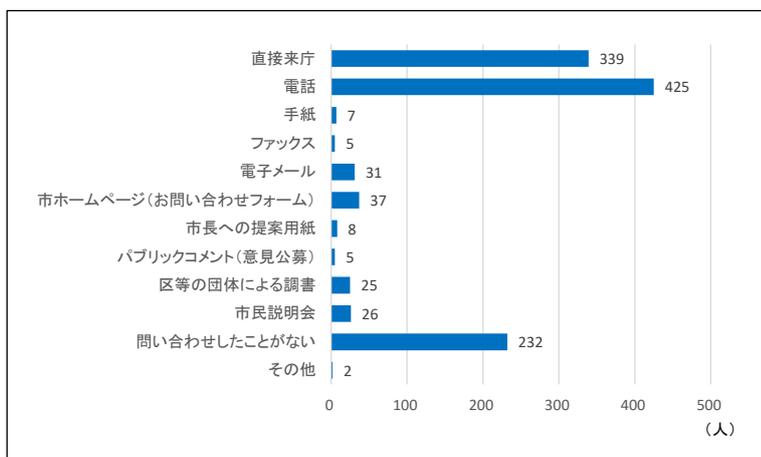
●市のツイッター

	人数	割合
満足	7	0.9%
やや満足	39	5.2%
やや不満	26	3.5%
不満	19	2.5%
わからない	662	87.9%
合計	753	100.0%



問5-3 あなたが市に意見や問い合わせをする際、使ったことがある手段は何ですか。あてはまるものを選んでください。（複数回答）

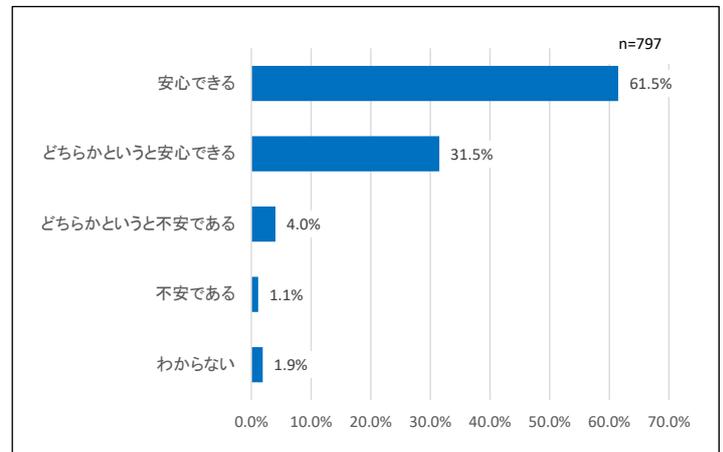
	人数
直接来庁	339
電話	425
手紙	7
ファックス	5
電子メール	31
市ホームページ（お問い合わせフォーム）	37
市長への提案用紙	8
パブリックコメント（意見公募）	5
区等の団体による調書	25
市民説明会	26
問い合わせたことがない	232
その他	2



7 「水道水」について

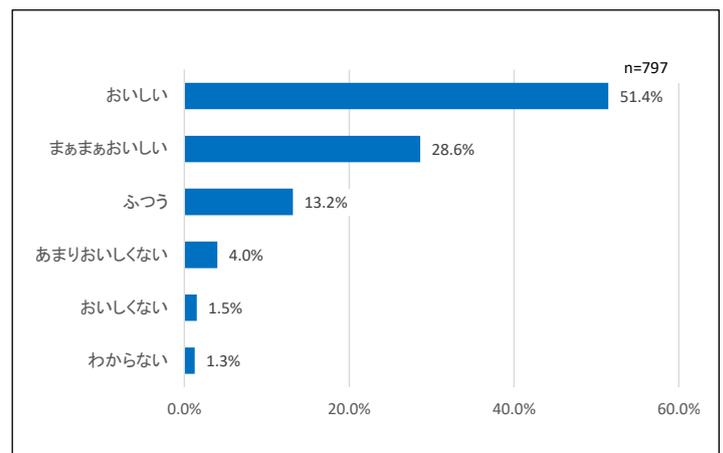
問1-1 あなたは、安曇野市の水道水質に対して、どのようなイメージをもっていますか。

	人数	割合
安心できる	490	61.5%
どちらかというと安心できる	251	31.5%
どちらかというと不安である	32	4.0%
不安である	9	1.1%
わからない	15	1.9%
合計	797	100.0%



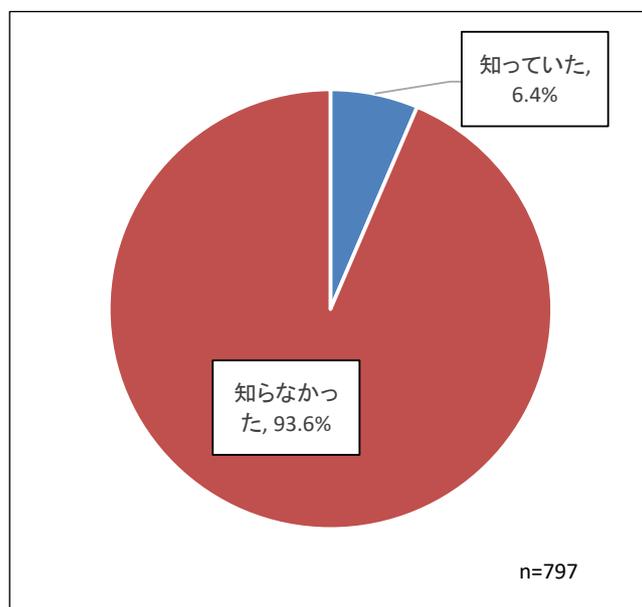
問1-2 あなたは、安曇野市の水道水はおいしいと思いますか。

	人数	割合
おいしい	410	51.4%
まあまあおいしい	228	28.6%
ふつう	105	13.2%
あまりおいしくない	32	4.0%
おいしくない	12	1.5%
わからない	10	1.3%
合計	797	100.0%



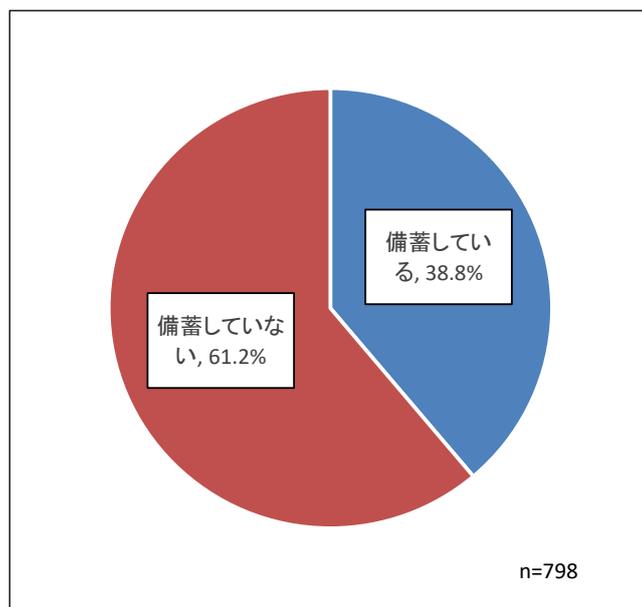
問1-3 市のホームページで水道水の水質検査の結果（毎月更新）を閲覧することができますが、あなたは
このことを知っていましたか。

	人数	割合
知っていた	51	6.4%
知らなかった	746	93.6%
合計	797	100.0%



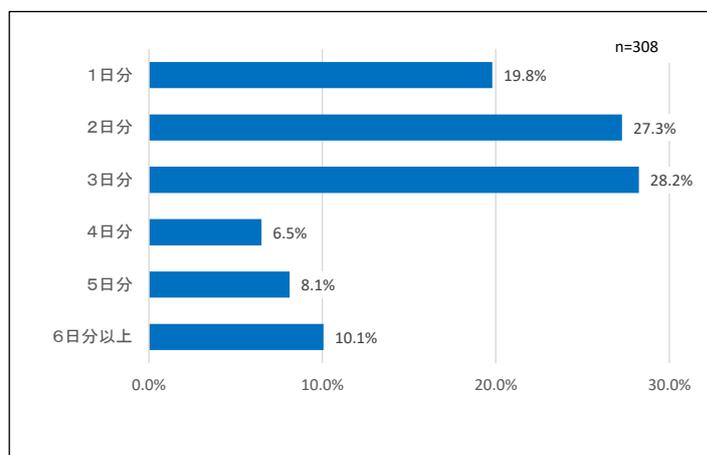
問1-4 台風等による災害で、ライフラインである水道が長期間使用できない状況になることも考えられますが、あなたは災害時に備えた飲料水を備蓄していますか。

	人数	割合
備蓄している	310	38.8%
備蓄していない	488	61.2%
合計	798	100.0%



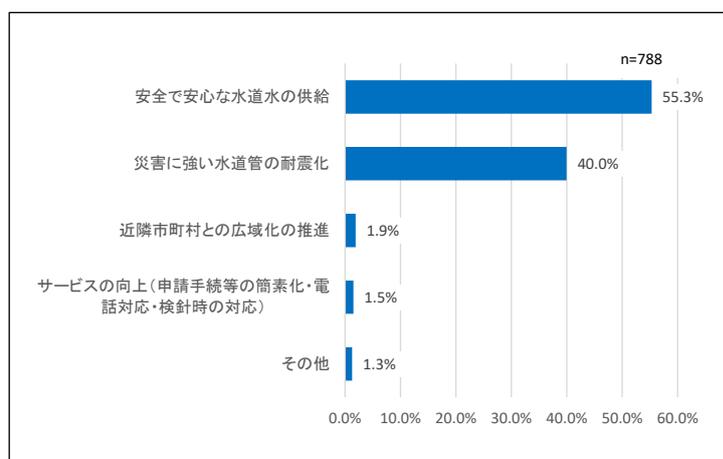
問1-5 【問1-4で「1. 備蓄している」を選んだ方にお伺いします。】あなたは、何日分の飲料水を備蓄していますか。

	人数	割合
1日分	61	19.8%
2日分	84	27.3%
3日分	87	28.2%
4日分	20	6.5%
5日分	25	8.1%
6日分以上	31	10.1%
合計	308	100.0%



問1-6 今後の水道事業の取組について、優先的に取り組むべき事業は何だと思いますか。

	人数	割合
安全で安心な水道水の供給	436	55.3%
災害に強い水道管の耐震化	315	40.0%
近隣市町村との広域化の推進	15	1.9%
サービスの向上（申請手続等の簡素化・電話対応・検針時の対応）	12	1.5%
その他	10	1.3%
合計	788	100.0%



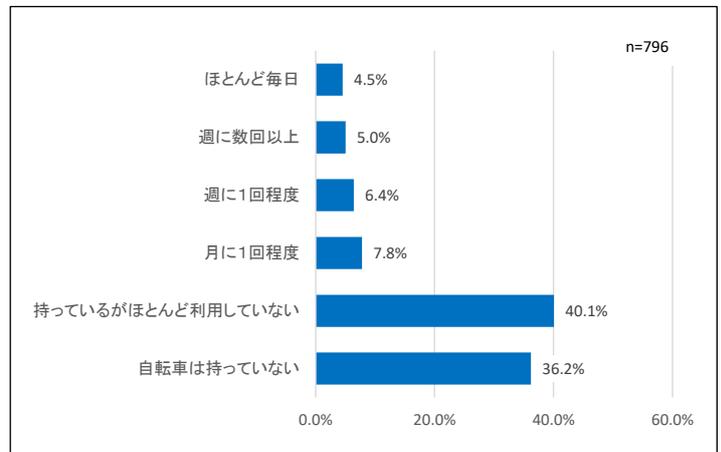
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	55～59歳	特になし
女性	60～64歳	すべての地域に上下水道を完備する
女性	40～44歳	料金を下げる
女性	25～29歳	災害時の水の確保
女性	50～54歳	備蓄用の水の配布

8 「自転車活用」について

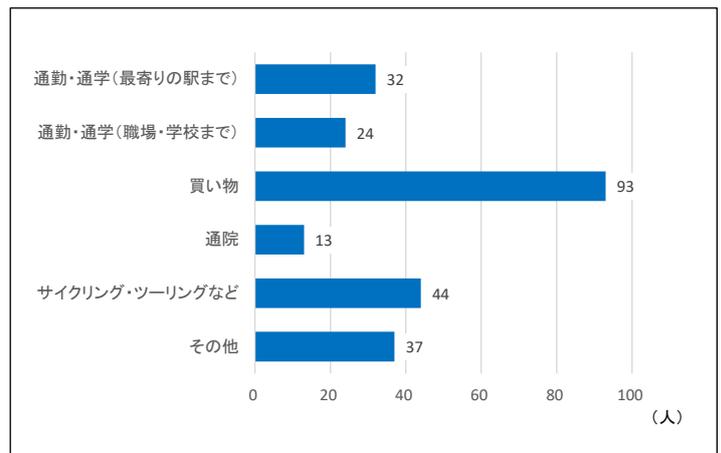
問2-1 あなたは、普段どの程度自転車を利用していますか。

	人数	割合
ほとんど毎日	36	4.5%
週に数回以上	40	5.0%
週に1回程度	51	6.4%
月に1回程度	62	7.8%
持っているがほとんど利用していない	319	40.1%
自転車は持っていない	288	36.2%
合計	796	100.0%



問2-2 【自転車を利用している人にお伺いします。】あなたは、自転車をどのような目的で利用しますか。
(複数回答)

	人数
通勤・通学（最寄りの駅まで）	32
通勤・通学（職場・学校まで）	24
買い物	93
通院	13
サイクリング・ツーリングなど	44
その他	37

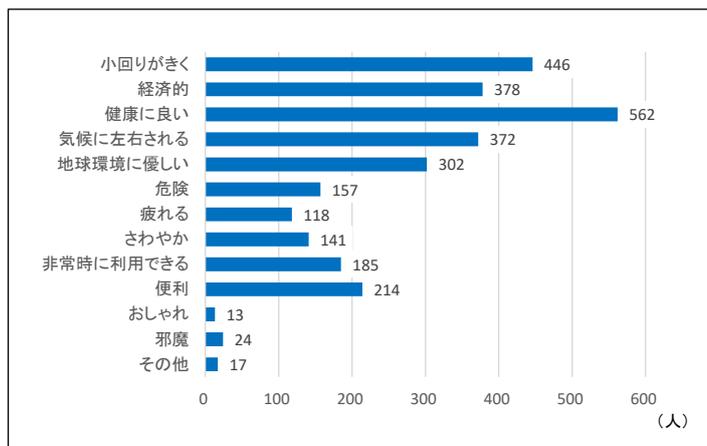


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	55～59歳	ゴミ出し
女性	70～74歳	近所の用足し
女性	70～74歳	回覧板を回す時
女性	70～74歳	保育園児の迎え
男性	70～74歳	農地の見回りなど
女性	35～39歳	図書館や市役所に行く時
男性	60～64歳	文書配り
女性	65～69歳	仕事で利用している

問 2-3 あなたの自転車に対するイメージで当てはまるものを教えてください。(複数回答)

	人数
小回りがきく	446
経済的	378
健康に良い	562
気候に左右される	372
地球環境に優しい	302
危険	157
疲れる	118
さわやか	141
非常時に利用できる	185
便利	214
おしゃれ	13
邪魔	24
その他	17



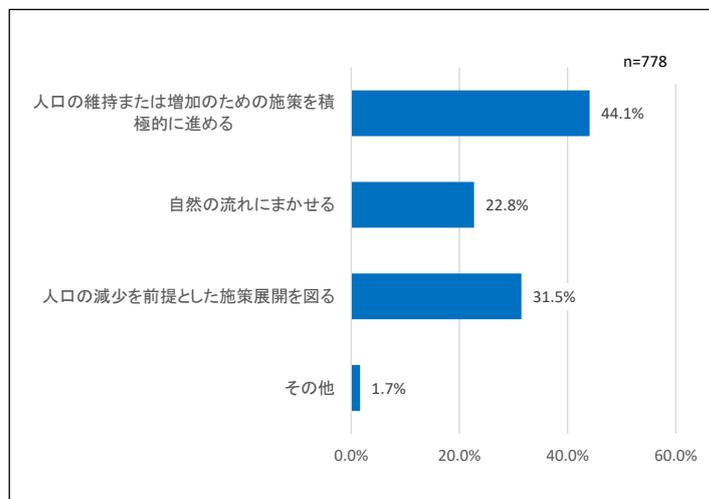
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	45～49歳	自転車の走れるところは少ない
女性	18～24歳	大きい物を運べない
女性	70～74歳	高齢者には危険
女性	18～24歳	楽しい
男性	60～64歳	自転車道や歩道の整備が悪いため、ほかの交通の妨げとなっている
女性	60～64歳	自動車免許証を返納した時の交通手段だが、危険かつ迷惑
女性	70～74歳	景観を楽しめる
女性	40～44歳	気分転換になる
女性	50～54歳	近所に行くには便利
女性	70～74歳	走行ルールを守らない人がある
男性	40～44歳	体力を使わずに簡単に移動出来る

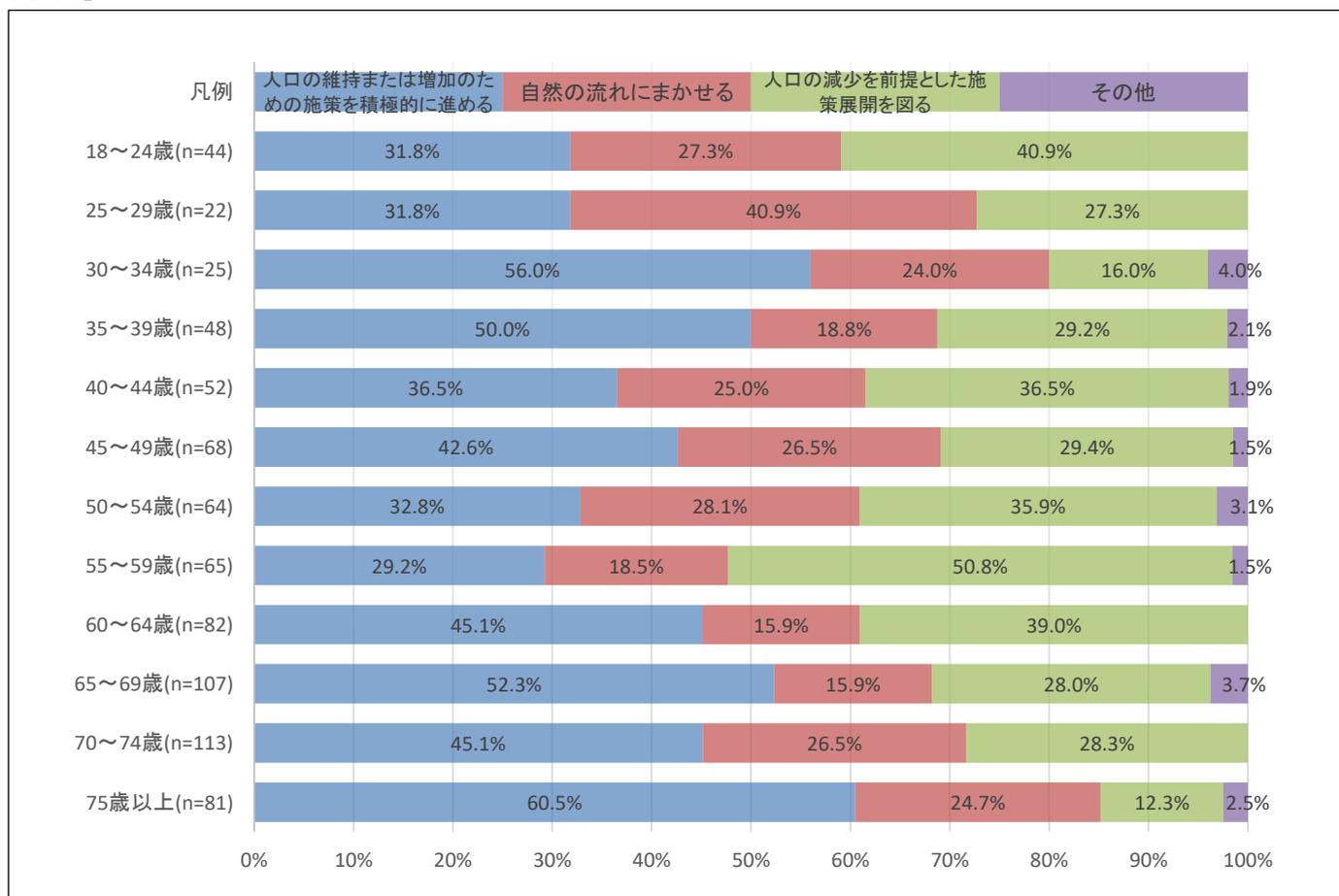
9 「人口減対策」について

問3-1 安曇野市の人口は近年減少に転じていますが、市の施策の今後の望ましい方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	人数	割合
人口の維持または増加のための施策を積極的に進める	343	44.1%
自然の流れにまかせる	177	22.8%
人口の減少を前提とした施策展開を図る	245	31.5%
その他	13	1.7%
合計	778	100.0%



【年代別】

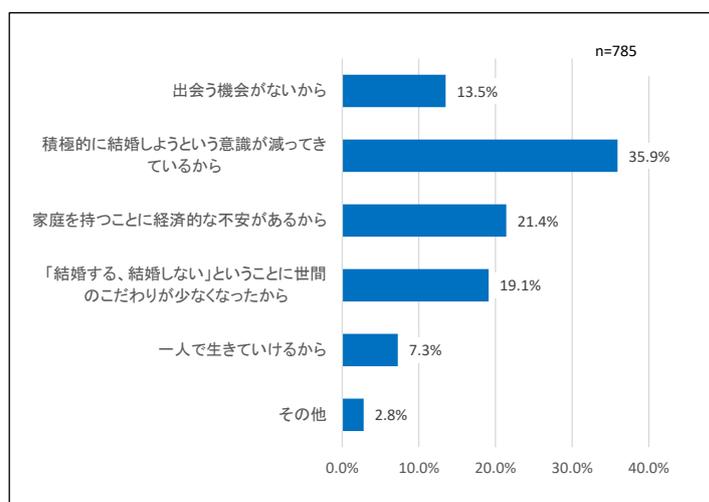


■ 「その他」の主な意見等

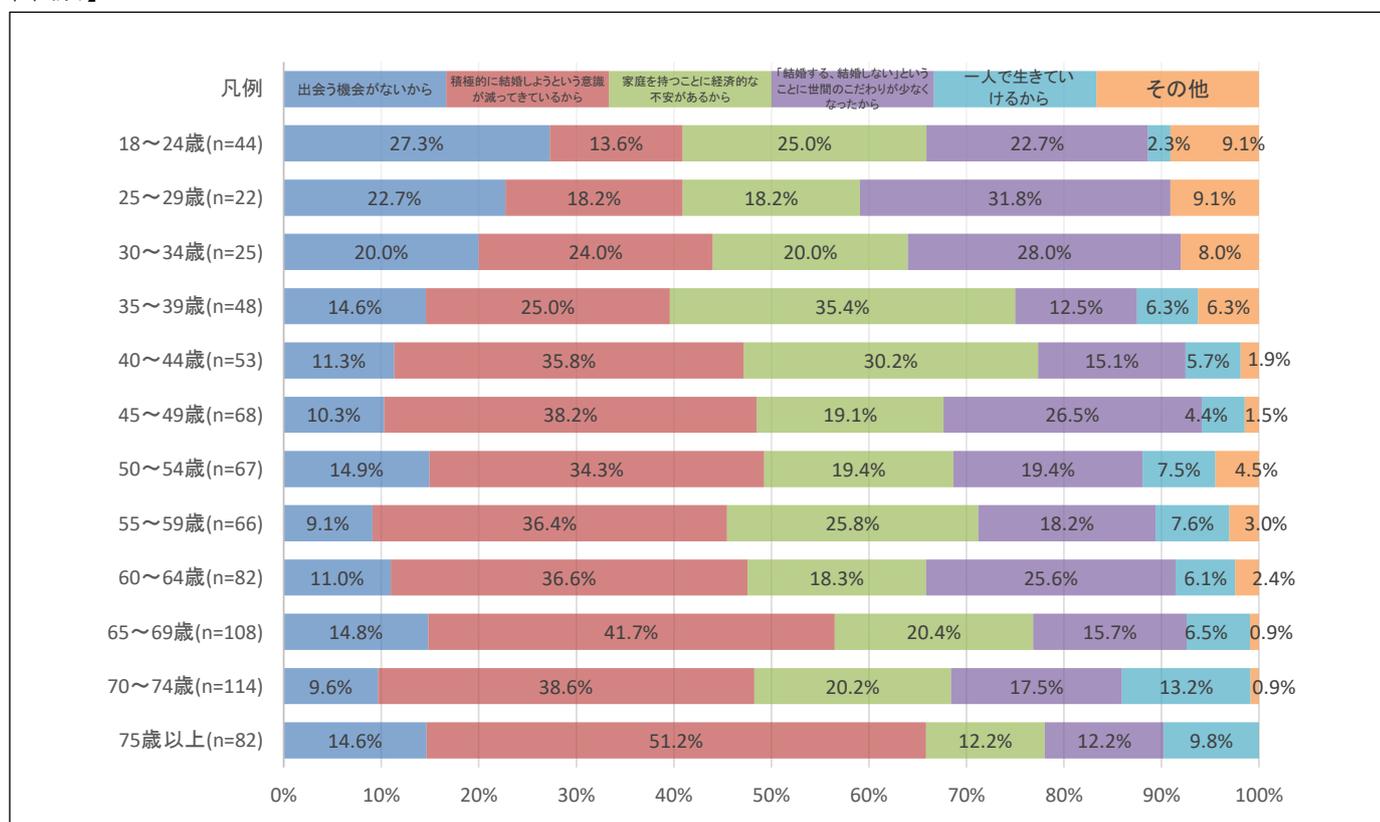
性別	年代	主な意見等
男性	50～54歳	日赤で分娩できるための医師の確保
女性	65～69歳	中学生や高校生に故郷の風土、文化の良さを伝える
女性	55～59歳	わからない
男性	65～69歳	子どもを育てやすい環境を作っていく
男性	45～49歳	外国人を積極的に受け入れる
男性	35～39歳	転入者への助成の充実
女性	65～69歳	企業誘致を進める
女性	30～34歳	子育て世代にもう少し手当があればうれしい

問3-2 人口減少、少子高齢化が止まらない要因の一つとして、未婚化、晩婚化が進んでいることが考えられますが、あなたは、未婚化、晩婚化の要因は何だと思いますか。

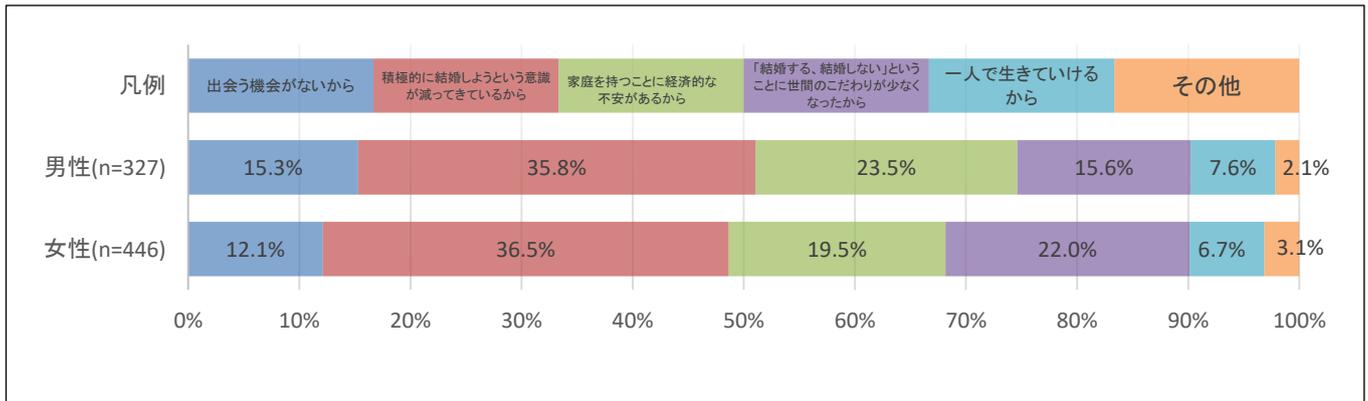
	人数	割合
出会う機会がないから	106	13.5%
積極的に結婚しようという意識が減ってきているから	282	35.9%
家庭を持つことに経済的な不安があるから	168	21.4%
「結婚する、結婚しない」ということに世間のこだわりが少なくなったから	150	19.1%
一人で生きていけるから	57	7.3%
その他	22	2.8%
合計	785	100.0%



【年代別】



【男女別】

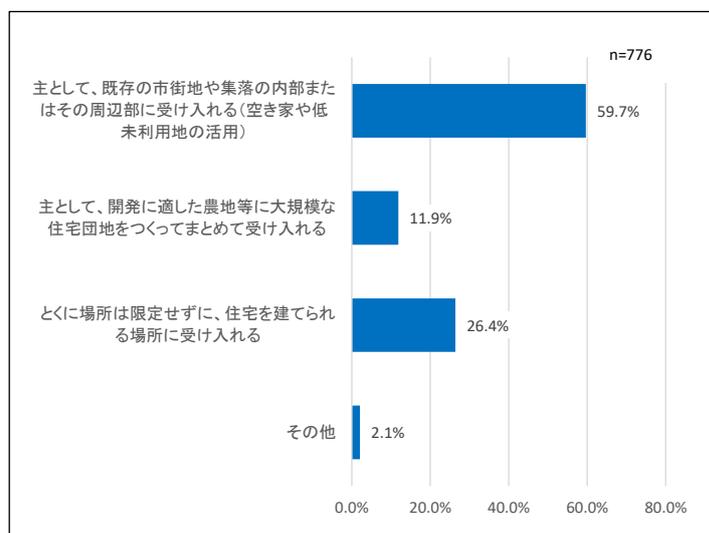


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	35～39歳	出産、子育てにお金がかかるから
女性	18～24歳	結婚するメリットがなさそうだから
女性	25～29歳	出会いもないけど、安心して結婚できる相手がいない
男性	30～34歳	昔のように結婚するのが当たり前ではなくなったこと。親戚や親などがお見合いを勧めなくなったから
男性	35～39歳	世の中の流れ
女性	25～29歳	休暇が取りにくかったり、育休に気を使うため
女性	50～54歳	結婚して幸せな夫婦を見てないから
男性	70～74歳	わからない
女性	18～24歳	子どものいる生活よりも、自分の自由な時間を大切にしたいと思う人が増えてきたから
女性	18～24歳	仕事におけるキャリア形成を考えると、若いうちに結婚するのは難しい
女性	45～49歳	親元にいるほうが楽だから
女性	50～54歳	結婚に対する価値観の変化（事実婚など）
男性	30～34歳	若者の働く場がない。一方で高齢者への支援は手厚い
男性	55～59歳	他者に合わせる能力が低いから
女性	40～44歳	自分優先になっているから。協力して家庭を築き、子育てをする意識が低い。また、結婚しても継続できない

問3-3 人口が減少する中であっても、転入や市内での転居など、今後も一定の宅地需要は見込まれます。安曇野市内における宅地需要について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	人数	割合
主として、既存の市街地や集落の内部またはその周辺部に受け入れる（空き家や低未利用地の活用）	463	59.7%
主として、開発に適した農地等に大規模な住宅団地をつくってまとめて受け入れる	92	11.9%
とくに場所は限定せずに、住宅を建てられる場所に受け入れる	205	26.4%
その他	16	2.1%
合計	776	100.0%

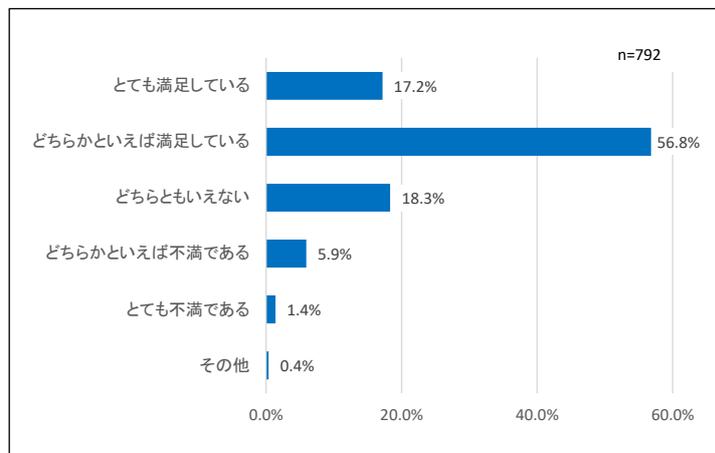


■ 「その他」の主な意見等

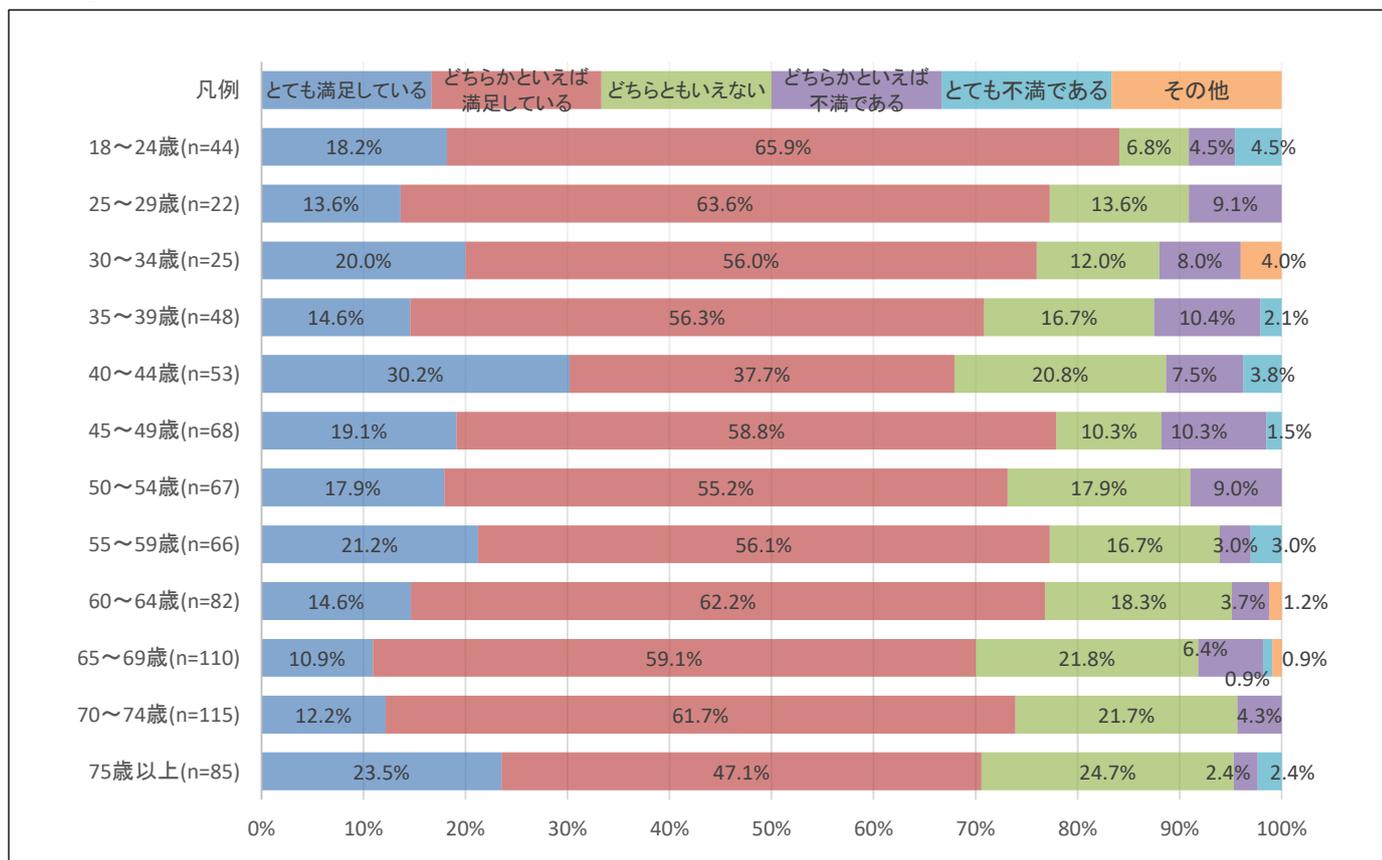
性別	年代	主な意見等
女性	65～69歳	農地を簡単に宅地化できるようにする
女性	35～39歳	家はあまり増えてほしくない
女性	70～74歳	先に道路を造ることが必要
女性	55～59歳	必ずしも受け入れなければならないとは考えていない
男性	35～39歳	条例が厳しすぎるため県外者が転入しづらい。もっと緩和すべき。宅地を増やして、魅力ある市にしてほしい
男性	45～49歳	わからない

問3-4 あなたは、安曇野市での生活にどの程度満足していますか。

	人数	割合
とても満足している	136	17.2%
どちらかといえば満足している	450	56.8%
どちらともいえない	145	18.3%
どちらかといえば不満である	47	5.9%
とても不満である	11	1.4%
その他	3	0.4%
合計	792	100.0%



【年代別】

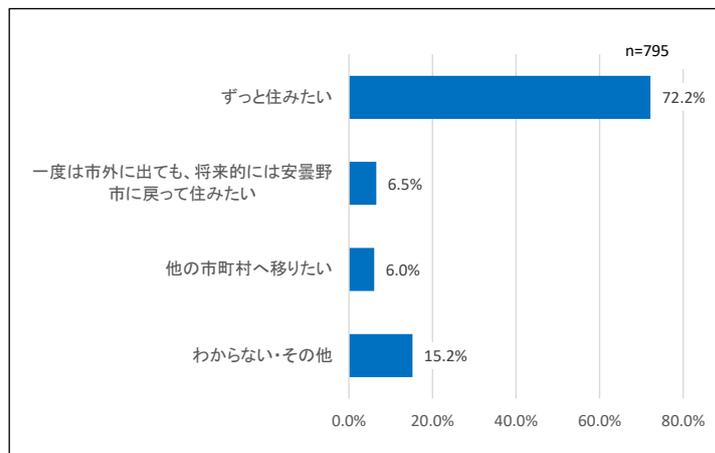


■ 「その他」の主な意見等

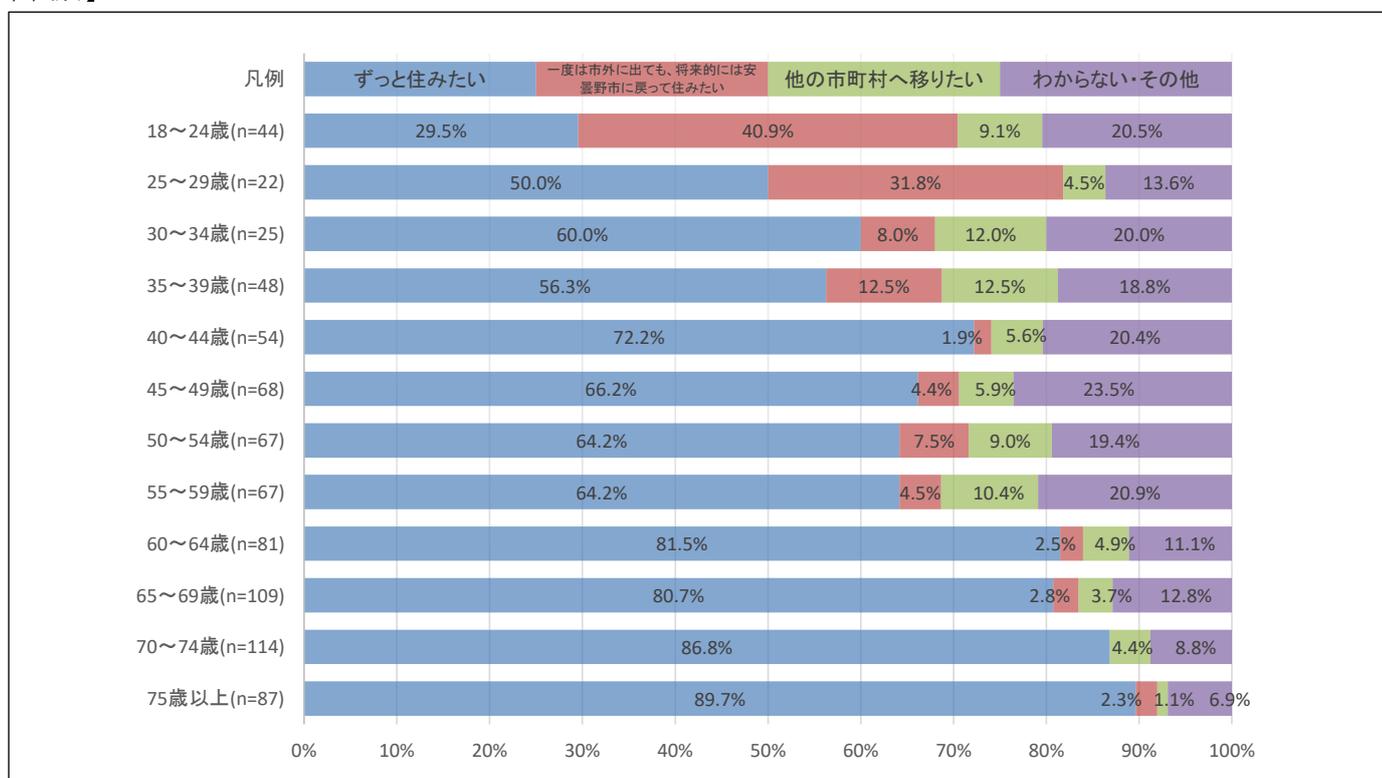
性別	年代	主な意見等
女性	60～64歳	今は満足だが、将来的に不安もある

問3-5 あなたは、これからも安曇野市に住みたいですか。

	人数	割合
ずっと住みたい	574	72.2%
一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい	52	6.5%
他の市町村へ移りたい	48	6.0%
わからない・その他	121	15.2%
合計	795	100.0%



【年代別】

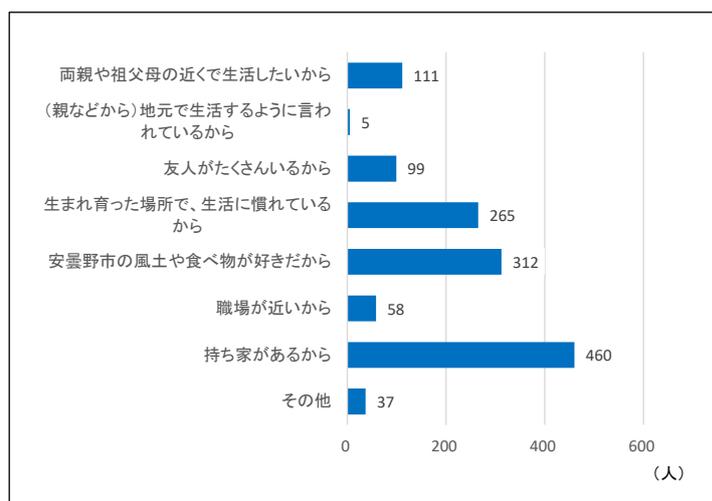


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	45～49歳	複数の拠点をもって生活してみたい
男性	30～34歳	ずっと住みたいと思うが、心の底からは思えないので、より良い安曇野市を目指し、実現させてほしい
女性	65～69歳	連れ合いを亡くし一人になった時は、子どものいる他県で暮らしたい
女性	30～34歳	子育ての時は住みたい
女性	45～49歳	市外に出たくてもリンゴ農家なので出れない
女性	40～44歳	ここに住む以外に選択肢がない
女性	65～69歳	持ち家があるから仕方がない
男性	30～34歳	ずっと住みたいが、運転免許を返納したときのことを考えると、交通の便の悪さが気になる
女性	65～69歳	冬の生活が金銭的にも体力的にも大変。交通も、車がなければ思い通りの行動がとれずに不便
女性	55～59歳	老後は都会に住む親族の近くに移る可能性もある

問3-6 【問3-5で、「1. ずっと住みたい」、「2. 一度は市外に出ても将来的には安曇野市に戻って住みたい」を選んだ方にお伺いします。】安曇野市に住みたい理由を教えてください。(複数回答(3つまで))

	人数
両親や祖父母の近くで生活したいから	111
(親などから) 地元で生活するように言われているから	5
友人がたくさんいるから	99
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	265
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	312
職場が近いから	58
持ち家があるから	460
その他	37

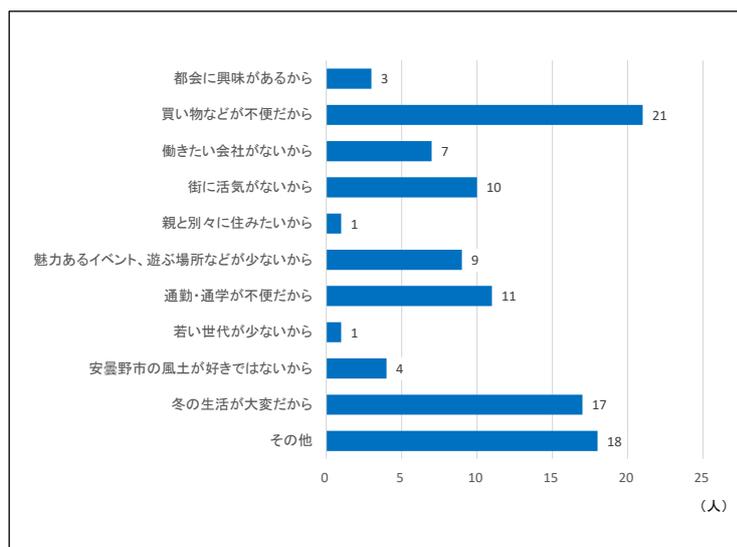


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	30～34歳	自然の中で子育てできるから
男性	50～54歳	景観と環境が良いから
男性	40～44歳	自然環境が良いから
女性	18～24歳	自然が豊かで、お店もたくさんあってちょうどいいから
男性	70～74歳	文化活動が盛んで、スポーツジムが近くにあるから
男性	70～74歳	災害が少ないから
女性	75歳以上	病院やホームセンター、食料品店などが近くにあり便利だから
男性	60～64歳	移住して30年が経ち、生活環境に慣れているから落ちつく
女性	75歳以上	子どもの頃に育った所に似ているから
男性	75歳以上	衣・食・住環境に恵まれているから
女性	55～59歳	住みやすい土地だと思っている。適度に田舎で、適度に便利
男性	70～74歳	常念岳が好きだから
女性	35～39歳	子どもが小学校に入学し、これから地域に根ざしていく時期だから
女性	70～74歳	風景が美しく、空気や気候が良い。また災害が少ない
男性	75歳以上	水がおいしい。山も見えて最高
女性	70～74歳	大自然に満足している
女性	40～44歳	主人が長男で家をとる人だから
男性	65～69歳	両親が生まれ育った所だから
男性	25～29歳	山が美しいから
女性	45～49歳	知らない所で新たに生活を始めるのが大変だと思うから
女性	45～49歳	環境が良く、生活に不便を感じないから
女性	45～49歳	温泉があり、田園風景も美しいから
女性	65～69歳	安曇野の風景に惹かれて引っ越してきた

問3-7 【問3-5で、「3. 他の市町村へ移りたい」を選んだ方にお伺いします。】安曇野市に住みたくない理由を教えてください。(複数回答(3つまで))

	人数
都会に興味があるから	3
買い物などが不便だから	21
働きたい会社がないから	7
街に活気がないから	10
親と別々に住みたいから	1
魅力あるイベント、遊ぶ場所などが少ないから	9
通勤・通学が不便だから	11
若い世代が少ないから	1
安曇野市の風土が好きではないから	4
冬の生活が大変だから	17
その他	18



■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	35～39歳	子育て世帯には優しくないから
女性	55～59歳	足が悪くなった際、駅にエレベーターがなく利用できないため
男性	35～39歳	海が好きだから海の近くに住みたい
女性	50～54歳	田舎独特の習慣があり、転入者はよそ者扱いされる
女性	55～59歳	交通の便が悪いから（バスなど）
男性	18～24歳	まちづくりに対する市民の積極性がないから
女性	55～59歳	車が無いと生活できないから
男性	35～39歳	猿害があるから
女性	70～74歳	区などの役が多すぎるから
女性	50～54歳	出身地である他県に戻りたいから
女性	50～54歳	車の運転免許を返納すると生活できないから。車がなければゴミ出しに行くことも困難。また、今のデマンド交通では不便

市政全般に関する市民意識調査への協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成30年度から「第2次安曇野市総合計画」をスタートさせ、福祉や教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野の推進、充実に取り組むこととしています。

こうした市の事業や施策の推進に、市民の意見や考えを反映するため、市民意識調査を実施することにいたしました。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上（令和2年3月1日時点）の2,000人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、是非、ご回答をいただきますようお願い申し上げます。

令和2年3月 安曇野市長 宮澤 宗弘

<ご記入にあたってのお願い>

- 本調査は無記名でお答えください。調査結果は統計的に処理し、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されることはありませんので、率直なお気持ちをご回答ください。
- 必ず「宛名のご本人」様がお答えいただくようお願いいたします。このため、ご病気等によりご回答いただけない場合は、廃棄等していただいてもかまいません。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和2年4月10日(金)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。

<この調査のお問い合わせ先>

安曇野市 政策部 政策経営課 企画担当

電話：0263-71-2401（直通）※平日の8:30~17:15

FAX：0263-71-5155

Eメール：seisakukeiei@city.azumino.nagano.jp

1 あなたやご家族のことについて

問1-1 あなたの性別をお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問1-2 あなたの年齢をお答えください。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

問1-3 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業） | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人（パート・アルバイト、派遣等） | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他（ ） | |

問1-4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. 豊科南穂高 | 2. 豊科光 | 3. 豊科田沢 | 4. 豊科高家 |
| 5. 豊科 | 6. 穂高有明 | 7. 穂高北穂高 | 8. 穂高 |
| 9. 穂高柏原 | 10. 穂高牧 | 11. 三郷明盛 | 12. 三郷温 |
| 13. 三郷小倉 | 14. 堀金烏川 | 15. 堀金三田 | 16. 明科東川手 |
| 17. 明科中川手 | 18. 明科光 | 19. 明科七貴 | 20. 明科南陸郷 |

問1-5 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居（親一子） |
| 4. 三世帯同居（親一子一孫） | 5. その他（ ） | |

問1-6 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|------------|-----------------|
| 1. 65歳以上～74歳以下の方 | 2. 75歳以上の方 | 3. 障害者手帳を持っている方 |
| 4. 介護認定を受けている方 | 5. いずれもない | |

問1-7 令和2年4月1日時点で、同居しているあなたのお子さんに以下の方はおられますか。

(○はいくつでも) また、【カッコ】内には、その人数を記載してください。

- | |
|--|
| 1. 未就学児【 人】（そのうち、幼稚園・認定こども園等に通っている子ども【 人】） |
| 2. 小学生の子ども【 人】 |
| 3. 中学生の子ども【 人】 |
| 4. 上記の子どもは、いずれもない |

問1-8 あなたは、1年以内に以下の活動へ参加されましたか。(〇はいくつでも)

1. 趣味や教養、スポーツなどの活動	2. 審議会など公的委員活動
3. 地域活動(区、消防団など)	4. 福祉・ボランティア活動
5. 地域活性化の活動	6. その他()
7. この中に参加している活動はない	

II 安曇野市の行政に関すること(総合計画の施策分野ごと)

(1) いきいきと健康に暮らせるまちについて(健康・福祉分野)

あなたは、次の市の取組状況についてどのように感じていますか。

(それぞれ1つに〇)つ

			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
【設問番号】 (記入例)			1	2	3	4	0
健康	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1	2	3	4	0
	2	地産地消や家族での食事を推進するなど、食育が行われている	1	2	3	4	0
高齢者	3	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	1	2	3	4	0
	4	高齢者が住み慣れた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	1	2	3	4	0
子育て	5	出産・子育てしやすい地域である	1	2	3	4	0

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。(行動)

(それぞれ1つに〇)つ

			積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
【設問番号】						
健康	6	日常的な健康づくりをしている(検診・食事・運動・ストレス解消など)	1	2	3	4
	7	食の大切さを理解し、健全な食を実践したり、地産地消を心がけている	1	2	3	4
子育て	8	子育て家庭へのサポートをしている	1	2	3	4

あなたは、次のことを知っていますか。（認知度）

（それぞれ1つに○）で

【設問番号】			知っている	知らない
健康	9	ストレスや悩みを抱えたときに市や各種機関で相談ができること	1	2
	10	安曇野市で歯科口腔保健条例を制定し、市民の歯と口腔の健康づくりに取り組んでいること	1	2
子育て	11	安曇野市の全公立認定こども園が信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度で認定を受けていること	1	2
	12	『男女共同参画』という言葉	1	2

問1-13 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で知っているものはどれですか。

（○はいくつでも）

1. 健康診査（特定健康診査・がん検診など）
2. 保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）
3. 子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）
4. 市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操
5. 健康づくりのための運動・栄養の講座
6. 健康づくり推進員活動

問1-14 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で参加（受診等）したことがあるものはありますか。（○はいくつでも）

（○はいくつでも）

1. 健康診査（特定健康診査・がん検診など）
2. 保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）
3. 子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）
4. 市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操
5. 健康づくりのための運動・栄養の講座
6. 健康づくり推進員活動

問1-15 あなたは、市民の健康をサポートするため、市はどのような取組を行うべきとお考えですか。（1つに○）

1. 家庭や職場でもできる健康づくりの情報提供
2. 健康づくりのための運動・栄養の講座
3. 日常的に身体を動かすことができる施設の整備
4. 健康診査結果に基づいた個別の保健指導
5. その他（）

問1-20 市が実施している高齢者福祉事業で、あなたが、知っているものはどれですか。

【①在宅高齢者福祉サービス】(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 配食サービス | 2. 緊急通報サービス |
| 3. 高齢者通院等支援サービス (タクシー券交付) | 4. 軽度生活援助サービス |
| 5. 訪問理美容サービス | 6. 住宅改良の補助・アドバイス |
| 7. 知っているものはない | |

【②高齢者の生きがいづくり支援サービス】(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 高齢者の生きがい講座支援事業 (地域での学習活動を通じ、健康づくり・生きがいづくりを促進する団体への支援) |
| 2. 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 (高齢者が主体的に活動する地区公民館事業への補助) |
| 3. 老人大学講座 (仲間づくりをしながら実施する、教養・技能講座) |
| 4. アクティブシニアがんばろう事業 (健康増進や介護予防のために健康づくり活動を定期的に行う団体への支援) |
| 5. 知っているものはない |

問1-21 あなたは、今の仕事を辞めたあと、やりたいことはありますか。また、既に辞められている方は、どのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 再雇用等で勤め続ける | 2. 市等の実施する事業へ参加する |
| 3. 個人の趣味を楽しむ | 4. ボランティアなど社会貢献をする |
| 5. 野菜作りやコメ作りなど農業をする | 6. 仲間とサークル活動をする |
| 7. 特にない、わからない | 8. その他 () |

(2) 魅力ある産業を維持・創造するまちについて (観光・農業分野)

問2-1 あなたは、安曇野市の魅力を市外の友人や知人に紹介していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 積極的に紹介している | 2. まあまあ紹介している |
| 3. あまり紹介していない | 4. 紹介していない |

問2-2 あなたが市外の友人等に誇れる「安曇野市の魅力」は何ですか。(1つに○)

- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| 1. 自然環境 | 2. 人のつながり | 3. 豊かな水 | 4. 働く環境 |
| 5. 生活環境 | 6. 多彩なイベント | 7. 子育て環境 | 8. 災害の少なさ |
| 9. その他 () | | | |

問2-3 安曇野市に特に必要な観光振興施策について、あなたの考えに近いものはどれですか。

(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 自然や歴史、文化、農業などを活用した体験メニューや観光モデルコースの作成
2. 食の魅力づくりや、特産品、土産物等の開発
3. イベントなどの充実や地域住民との交流機会
4. 情報発信（観光キャンペーンやホームページなど）の充実
5. 交通の利便性向上や公衆トイレなどのインフラ整備
6. 観光に関わる人材の育成やサービスの向上
7. その他（)

問2-4 あなたは、安曇野市を訪れる観光客とどのように関わりたいと考えますか。

(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 自身の日常の業務・業種を通して関わっていききたい
2. 観光ガイドやイベント運営スタッフ・ボランティアなどで観光客と接したい
3. 自身のコレクション・家屋・庭などを観光客に一般公開したい
4. 日々の生活の中で、観光客への道案内等や、地域の美化活動等に取り組みたい
5. 関わりたくない
6. その他（)

問2-5 あなたは、外国人観光客の来訪についてどう思いますか。(1つに○)

1. ぜひ来てほしい
2. 来てほしい
3. どちらともいえない
4. あまり来てほしくない
5. 来てほしくない

問2-6 あなたは、日頃、地元産農産物を購入しますか。(1つに○)

1. 積極的に購入する
2. どちらかと言えば購入する
3. 意識して購入することはない
4. その他（)

問2-7 あなたが、市内の直売所・加工所に求めることはなんですか。(1つに○)

1. 新鮮な地元野菜があること
2. 値段の安さ
3. 品ぞろえの豊富さ
4. 家の近くにあること
5. その他（)

問2-8 あなたが、利用したことのある直売所・加工所を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 豊科旬彩市 | 2. Vif 穂高 |
| 3. ほりがね物産センター | 4. 三郷サラダ市 |
| 5. プラザ安曇野新鮮市 | 6. 豊科農産物加工交流センター |
| 7. 穂高農産物加工所 | 8. 明科農産加工交流施設 |
| 9. この中に利用したことのある施設はない | |

■有機農産物について

農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業（環境にやさしい農業）が注目されています。

※有機農業・・・「有機農業推進法」において、「農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した生産方法を用いて行われる農業」と定義。

※有機農産物・・・播種又は植付け前2年以上化学肥料や化学合成農薬を農地に使用しないなど、「有機農産物の日本農林規格」の基準に従って生産された農産物。

問2-9 あなたは農業（専業・兼業を問わない）に携わっていますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 携わっている ⇒問2-12へ | 2. 携わっていない ⇒問2-10へ |
|-------------------|--------------------|

問2-10 【問2-9で、「2. 携わっていない」を選んだ方にお伺いします。】

あなたは、普段有機農業により生産された農産物を購入していますか。(1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 購入している |
| 2. 購入していないが、今後は購入してみたい |
| 3. 購入していない |
| 4. 意識したことがない |

問2-11 【問2-10で「1. 購入している」または「2. 購入していないが、今後は購入してみたい」を選んだ方にお伺いします。】有機農業により生産された農産物を購入している(してみたい)理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 価格が高くて、安全だと思うから |
| 2. 販売している店等が近くにある、または購入方法を知っているから |
| 3. 健康に良いと思うから |
| 4. 通常の栽培方法のものより、おいしい(栄養がある)と思うから |
| 5. 環境保全に貢献したいから |
| 6. その他 () |

問2-12 【問2-9で「1. 携わっている」を選んだ方にお伺いします。】あなたは今後、有機農業（有機農産物の栽培）に取り組んでみたいですか。（1つに○）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 既に取り組んでいる | 2. 取り組んでみたい |
| 3. 取り組まない | 4. わからない |

問2-13 【問2-12で「3. 取り組まない」を選んだ方にお伺いします。】有機農業に取り組まない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 安定して栽培できる技術（知識）がないから |
| 2. 労働力の確保ができないから |
| 3. 農薬等の飛来・流入対策など、農地の土壌管理等が大変だから |
| 4. 販路の確保ができないから |
| 5. 他人の農地に迷惑がかかるから（病虫害の発生・雑草の管理等） |
| 6. 魅力（必要性）を感じないから |
| 7. 現状の農業の方法で十分だから |
| 8. その他（ ） |

（3）安全・安心で快適なまちについて（景観・防災・住環境等の分野）

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。（行動）

（それぞれ1つに○）つ

【設問番号】つでも

		積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	
景観	1	市街地の緑化や美化活動	1	2	3	4
	2	家のまわりの手入れを行うなど、美しい景観を守ること	1	2	3	4
防災	3	地震や台風などの災害への備え	1	2	3	4
	4	地域の自主的な防災活動への参加	1	2	3	4

問3-5 あなたは、お住まいの地域の治安について、どう感じていますか。（1つに○）

- | |
|--------------------|
| 1. 不安を感じない |
| 2. どちらかといえば不安を感じない |
| 3. どちらかといえば不安を感じる |
| 4. 不安を感じている |
| 5. わからない |

問3-6 あなたは、犯罪のない安全・安心なまちづくりに必要なものは何だと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1. 行政・警察からの犯罪・防犯情報の提供や注意喚起
2. 警察によるパトロール
3. 地域の自主防犯活動（防犯パトロール、子どもの見守り活動）
4. 防犯講座や啓発活動の充実
5. 街頭の防犯カメラの設置
6. 防犯灯の設置・増設
7. 自主防犯活動団体の育成・支援
8. 見通しの悪い場所の改善など防犯上の環境改善
9. その他（ |) |
|---|---|

問3-7 あなたは、市で実施している住宅関係の助成制度について、知っていますか。

また、利用したことがありますか。(それぞれ1つに○)

	知って いる	知ら ない	利 用 し た こ と が あ る	利 用 し た こ と は な い	今 後 利 用 し た い
(記入例)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3
住宅耐震改修促進事業	1	2	1	2	3
住宅用太陽光発電システム設置補助金	1	2	1	2	3
緑化推進記念樹等交付	1	2	1	2	3
生垣設置等補助金	1	2	1	2	3
住宅用雨水貯留施設設置補助金	1	2	1	2	3

問3-8 あなたは、平成23年4月から施行されている「安曇野市の適正な土地利用に関する条

例」や、それに基づく「安曇野市土地利用基本計画」を知っていますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 内容まである程度知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容まで知らない
3. 名前すら聞いたことがない |
|---|

問3-9 安曇野市の土地利用をコントロールするルール（主に新たな開発等に対する規制）の現状と今後のあり方として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つに〇）

- | |
|--|
| 1. 良好な景観や環境の保全が図られていない面があるので、いまよりもルールを厳しくすべき |
| 2. 良好な景観や環境はある程度守られているので、いまのルールを維持すべき |
| 3. いまのルールが人口増加や産業の振興等を妨げている面があるので、もっと緩めるべき |
| 4. 土地利用をコントロールするルールと言われても、いまいちよくわからない |
| 5. その他（
） |

（4）学び合い 人と文化を育むまちについて（教育・生涯学習・交流活動等）

あなたは、次の市の取組状況についてどのように感じていますか。

（それぞれ1つに〇）つ

【設問番号】つでも）

			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
教育	1	小中学校での教育	1	2	3	4	0
	2	小中学校と地域の連携	1	2	3	4	0
生涯学習	3	年代に関わらない、学びの機会の提供	1	2	3	4	0
	4	スポーツを楽しめる環境	1	2	3	4	0

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。（行動）

（それぞれ1つに〇）つ

【設問番号】つでも）

			積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
教育	5	地域の子どもの健全育成	1	2	3	4
生涯学習	6	公民館などで学んだ知識の地域づくりへの還元	1	2	3	4
	7	生涯学習への取組み（過去5年間）	1	2	3	4
交流	8	国際交流イベントへの参加	1	2	3	4

問4-9 あなたは、特色ある学校づくりのため、市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（1つに〇）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 英語教育 | 2. スポーツ・体力増進 |
| 3. 学力の向上 | 4. 地域の伝統・文化の継承 |
| 5. その他（
） | |

人口減少、少子化が進行しつつある安曇野市において、市教育委員会では市立小中学校がこれから先も活気に満ちた学校であり続けるため、検討を始めています。

問4-10 あなたが期待するこれからの安曇野市の小中学校の姿はどれですか。

(○はいくつでも)

1. 地域住民、児童生徒や教職員の願いや思いが大切にされ、創意工夫を凝らした独自の特色ある教育活動を展開する学校
2. 保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させたり、学校の様々な課題解決に地域住民が積極的に参加したりして、地域とともにつくっていく真に開かれた学校
3. 一定数の児童生徒がともに生活する学校で、多様な考えをもつ人間が触れ合い学び合って、切磋琢磨しながら個性や能力を高めていく学校
4. 地域の豊かな自然・歴史・文化・産業資源に着目した体験的な活動を多く取り入れ、郷土への愛着や誇りを育む学校
5. 現在ある小学校と中学校を組み合わせ一貫教育を行う「小中一貫教育」の導入、小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して一体的に行う「義務教育学校」の創設など、学校(区)ごとに理念や方針を明確にした魅力ある学校
6. その他 ()

問4-11 あなたは、生涯学習としてどんなものに参加していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 自主的な集まりやサークル活動 | 2. 個人的な趣味の活動 |
| 3. 各種団体や企業の講座・講習・教室等 | 4. 市主催の講座・講習・教室等 |
| 5. 自らが主催者側で係わる活動 | 6. いずれも参加していない |
| 7. その他 () | |

問4-12 あなたは、どの程度の頻度で運動・スポーツをしていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3回程度 |
| 3. 週に1～2回程度 | 4. 月に1～3回程度 |
| 5. 年に1～3回程度 | 6. その他 () |

問4-13 あなたは、安曇野市が、東京2020オリンピック・パラリンピックでオーストリアのカヌーチームのホストタウンとなっていることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(5) 広報・広聴について（基本計画推進に当たっての経営方針）

問5-1 あなたの市政情報の入手先として、それぞれの媒体をどの程度利用しているか教えてください。（それぞれ1つに○）

	頻繁に 利用	たまに 利用	利用 しない	知ら ない
(記入例)	1	2	3	4
市報（広報あづみの【通常版】） ※カラー表紙 毎月第3水曜発行	1	2	3	4
市報（広報あづみの【お知らせ版】） ※2色刷り 原則第1水曜発行	1	2	3	4
市のホームページ	1	2	3	4
区配布の回覧文書	1	2	3	4
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）	1	2	3	4
市のツイッター	1	2	3	4
あづみ野テレビ	1	2	3	4
一般の新聞・テレビ・ラジオ	1	2	3	-
一般のウェブサイト（ホームページ）	1	2	3	-
友人・家族からの口コミ	1	2	3	-
その他（ ）	1	2	3	-

問5-2 あなたの市の広報媒体の満足度を教えてください。（それぞれ1つに○）

	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わから ない
市報（広報あづみの【通常版】） ※カラー表紙 毎月第3水曜発行	1	2	3	4	5
市報（広報あづみの【お知らせ版】） ※2色刷り 原則第1水曜発行	1	2	3	4	5
市のホームページ	1	2	3	4	5
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）	1	2	3	4	5
市のツイッター	1	2	3	4	5

問5-3 あなたが市に意見や問い合わせをする際、使ったことがある手段は何ですか。

あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

1. 直接来庁	2. 電話
3. 手紙	4. ファクス
5. 電子メール	6. 市ホームページ（お問い合わせフォーム）
7. 市長への提案用紙	8. パブリックコメント（意見公募）
9. 区等の団体による調書	10. 市民説明会
11. 問い合わせしたことがない	12. その他（ ）

Ⅲ 安曇野市の行政に関すること（個別テーマ）

（１）水道水について

安曇野市の水道はすべて、北アルプスに育まれた豊富で清浄な地下水を水源としています。一般に地下水は河川水に比べて水量、水質、水温が安定した良質の水源とされています。市では、市内32箇所の水源において、地下100～130mから水をくみ上げ、取水をしています。

問1-1 あなたは、安曇野市の水道水質に対して、どのようなイメージをもっていますか。

（1つに〇）

1. 安心できる
2. どちらかというと安心できる
3. どちらかというと不安である
4. 不安である
5. わからない

問1-2 あなたは、安曇野市の水道水はおいしいと思いますか。（1つに〇）

1. おいしい
2. まあまあおいしい
3. ふつう
4. あまりおいしくない
5. おいしくない
6. わからない

問1-3 市のホームページで水道水の水質検査の結果（毎月更新）を閲覧することができますが、あなたはこのことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問1-4 台風等による災害で、ライフラインである水道が長期間使用できない状況になることも考えられますが、あなたは災害時に備えた飲料水を備蓄していますか。

1. 備蓄している
2. 備蓄していない

問1-5 【問1-4で「1. 備蓄している」を選んだ方にお伺いします。】

あなたは、何日分の飲料水を備蓄していますか。(1つに○)

(参考：災害時、飲料用として1人1日3リットルの水が必要とされています。)

- | | |
|--------|---------|
| 1. 1日分 | 2. 2日分 |
| 3. 3日分 | 4. 4日分 |
| 5. 5日分 | 6. 6日以上 |

問1-6 今後の水道事業の取組について、優先的に取り組むべき事業は何だと思えますか。

(1つに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 安全で安心な水道水の供給 |
| 2. 災害に強い水道管の耐震化 |
| 3. 近隣市町村との広域化の推進 |
| 4. サービスの向上 (申請手続等の簡素化・電話対応・検針時の対応) |
| 5. その他 () |

(2) 自転車活用について

問2-1 あなたは、普段どの程度自転車を利用していますか。(1つに○)

- | | | | |
|----------------------|---------------|-----------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に数回以上 | 3. 週に1回程度 | 4. 月に1回程度 |
| 5. 持っているがほとんど利用していない | 6. 自転車は持っていない | | |

問2-2 【自転車を利用している人(問2-1で1~4を選んだ方)にお伺いします。】

あなたは、自転車をどのような目的で利用しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 通勤・通学(最寄りの駅まで) | 2. 通勤・通学(職場・学校まで) |
| 3. 買い物 | 4. 通院 |
| 5. サイクリング・ツーリングなど | 6. その他 () |

問2-3 あなたの自転車に対するイメージで当てはまるものを教えてください。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|--------------|--------|----------|-------------|
| 1. 小回りがきく | 2. 経済的 | 3. 健康に良い | 4. 気候に左右される |
| 5. 地球環境に優しい | 6. 危険 | 7. 疲れる | 8. さわやか |
| 9. 非常時に利用できる | 10. 便利 | 11. おしゃれ | 12. 邪魔 |
| 13. その他 () | | | |

(3) 人口減対策について

問3-1 安曇野市の人口は近年減少に転じていますが、市の施策の今後の望ましい方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

1. 人口の維持または増加のための施策を積極的に進める
2. 自然の流れにまかせる
3. 人口の減少を前提とした施策展開を図る
4. その他 ()

問3-2 人口減少、少子高齢化が止まらない要因の一つとして、未婚化、晩婚化が進んでいることが考えられますが、あなたは、未婚化、晩婚化の要因は何だと思えますか。(1つに○)

1. 出会う機会がないから
2. 積極的に結婚しようという意識が減ってきているから
3. 家庭を持つことに経済的な不安があるから
4. 「結婚する、結婚しない」ということに世間のこだわりが少なくなったから
5. 一人で生きていけるから
6. その他 ()

問3-3 人口が減少する中であっても、転入や市内での転居など、今後も一定の宅地需要は見込まれます。安曇野市内における宅地需要について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

1. 主として、既存の市街地や集落の内部またはその周辺部に受け入れる (空き家や低未利用地の活用)
2. 主として、開発に適した農地等に大規模な住宅団地をつくってまとめて受け入れる
3. とくに場所は限定せずに、住宅を建てられる場所に受け入れる
4. その他 ()

問3-4 あなたは、安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

1. とても満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満である
5. とても不満である
6. その他 ()

問3-5 あなたは、これからも安曇野市に住みたいですか。(1つに○)

1. ずっと住みたい
2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい
3. 他の市町村へ移りたい
4. わからない・その他 ()

問3-6 【問3-5で、「1. ずっと住みたい」、「2. 一度は市外に出ても将来的には安曇野市に戻って住みたい」を選んだ方にお伺いします。】

安曇野市に住みたい理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 両親や祖父母の近くで生活したいから
2. (親などから) 地元で生活するように言われているから
3. 友人がたくさんいるから
4. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから
5. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから
6. 職場が近いから
7. 持ち家があるから
8. その他 ()

問3-7 【問3-5で、「3. 他の市町村へ移りたい」を選んだ方にお伺いします。】

安曇野市に住みたくない理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから |
| 7. 通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. その他 () | |

以上でアンケートは終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。